

**芸能・メディア分野における  
ハラスメントや圧力問題についての実態調査報告書**

**一般社団法人社会調査支援機構チキラボ**

# 芸能・メディア分野における ハラスメントや圧力問題についての実態調査

## 概要

### 本調査の目的

2023年、芸能やメディアの分野において、出演者、事務所、そのほか社員やスタッフ間における、ハラスメントや圧力・忤度の問題が大きく報じられた。特に、特定の事務所や団体、分野におけるハラスメント構造が着目された。ただし、ハラスメントの改善について考えた場合、現時点で全ての事例が把握されているわけでもなければ、あらゆる分野の問題が可視化されたわけではない。

また、旧ジャニーズ事務所における性暴力の問題については、NHK および民放各局がそれぞれ調査や報道を行ったが、他の事務所などとの問題や、圧力や忤度、有害な商慣行についての調査は行われていない。

そこで今回の調査では、より広くメディア業界および芸能分野に呼びかけ、ハラスメントおよび圧力などの実態調査を行うことにした。

なお、本調査に先駆けては、一般社団法人民間放送連盟、日本放送協会、一般社団法人雑誌協会、一般社団法人新聞協会、一般社団法人音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人マスコミ倫理懇談会全国協議会、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本映画製作者連盟、株式会社 SMILE-UP、放送倫理・番組向上機構、宝塚歌劇団、阪急電鉄株式会社宛に、横断調査を主体的に行うよう要望を行ったが、いずれも回答は消極的なものであったか、無回答であった。

### 調査期間

「芸能・報道分野におけるハラスメントや不当な営業行為、商行為についての調査」として、Google form で作成した質問紙を2023年11月7日から2024年1月19日の期間にウェブ上で実施した。

調査は、2つのフォームで行われた。一つは、メディア関係者や芸能関係者にメールでフォームを送る調査1、もう一つは、ウェブ上でフォームを拡散する調査2である。

調査1は2023年11月7日から、2回目の調査は2024年11月15日から開始された。回答締め切りはいずれも2024年1月19日とした。

### 質問紙の構成

質問紙は年齢層や性別、活動分野、立場といった参加者自身の属性を尋ねる「A. フェイスシート」、出演禁止や報道禁止、不当な接待や身体的暴力など、ハラスメントや不当な営業行為、商行為の経験を尋ねる「B. ハラスメントや不当な営業行為、商行為の経験」、そして最近の芸能界や報道業界における問題提起や検証報道、不当な慣習だと思っていることや、今後改善してほしいことを自由記述で尋ねる「C. 意見・感想」の3つの質問群で構成されていた。

## 調査1と調査2の調査の違い

1回目と2回目の調査の内容はほぼ全て同じ内容であったが、調査2ではウェブ上で拡散する公募型調査ということもあり、質問文をきちんと読んでいるかの確認（サティスファイサーの検出）のため、回答指示を含む確認項目が質問紙の後半に1問追加されていた（「この質問については、「わからない」にチェックしてください」）。

また、この確認項目の結果によって分析の除外対象となる可能性があったため、調査2においては、データを使用しない可能性があることについての同意を確認する質問が「A. フェイスシート」の最後に追加された。具体的な同意確認文は次のようなものであった：「回答者本人の経験について尋ねています。「なりすまし」「回答操作」の疑いがある場合はデータを使用せず、また必要に応じた対処を行う場合があります。この点について同意いただける方のみ、「同意する」を選んでください」。

## 共通の注意事項

調査対象者には、次のような説明を明示した上で、同意した人のみ、回答をおこなうよう求めている。

---

これは、芸能・報道分野において起きた、出演者、事務所、メディア企業の間での「圧力」や「ハラスメント」について調査し、改善に活用するためのアンケートです。

このアンケートは、「ジャニー喜多川氏による性加害問題」に対する各メディアの対応を受けて行うものですが、「ジャニーズ事務所」関連の事象に限定して行う調査ではありません。また、実態把握と改善のために行うものであり、個人や個別団体などを追及するためのものではありません。

対象者は、芸能や報道分野、メディア分野に仕事として携わるすべての人です。媒体の種類や活動の範囲、事務所の大小は問いません。また、特定のジェンダーや年齢、立場を想定した調査ではありません。

このアンケートは、ご自身が「圧力」や「ハラスメント」を経験したことがある／ない、目撃したことがある／ないに関わらず回答いただけます。内容に関するすべての質問は無記入のまま送信ができますので、可能な範囲でお答えください。

また、この調査は個別の問題について直接に解決を目指すためのものではなく、芸能や報道に関わる社会一般の現状を把握し、改善に活かすためのものです。

### ◇所要時間

15～20分程度

### ◇お願いと注意

- ・回答は18歳以上の方が対象です。
- ・回答はお一人につき一回限りでお願いします。
- ・スマートフォンですと、横に広がった選択肢を見逃す可能性があるため、ご注意ください。
- ・この調査は、業界風土を把握するためのものです。個人や団体が特定されるような情報は書かないようにしてください。

\*

●調査結果は上記の目的のために「社会調査支援機構チキラボ」などのウェブサイトへの掲載、会見、プレスリリース、研究、出版、報道、政治家やメディア関係者などへの要望の場面など、さまざまな情報発信に活用します。その際には、個々人の回答をそのまま公開するのではなく、回答者が特定され不利益を被ることがないように配慮いたします。

●調査には年代や性別などの個人属性を伺う質問は含まれますが、お名前は伺いませんし、調査者が回答者を特定しようと試みることもございません。その上で、万が一調査者に特定されることを懸念される場合（例えばその分野において珍しい年齢・性別の方である場合など）には、一部項目で「答えたくない」を選択し、特定が不可能なようにしていただいて結構です。

●この調査ではジェンダーやハラスメントなどに関する、デリケートな質問をしております。そのため、全ての項目に「答えたくない」といった選択肢も設けております。また、ストレスなどを感じた場合、ご自身の心理的安全性を優先し、アンケートを中断してくださって構いません。中断した場合、それまで入力した回答が使用されることはありません。

---

また、各項目には、「※この項目は、無回答でもかまいません」「※個人や団体が特定されるような情報は書かないようにしてください」と記した。そのため、各自由記述欄には、詳細な文言が並ぶこともあったが、特定の名前は削除した上で、状況などについてはなるべくそのままの掲載とするようにした。

## 調査参加者

調査対象者は、媒体の種類や活動の範囲、事務所の大小問わず、芸能や報道分野、メディア分野に仕事として携わるすべての人であった。調査1と調査2、あわせて278名が調査に参加した。

参加者のうち、確認項目で回答指示に従わなかった参加者は22名であった。確認項目で回答指示に従わなかった参加者は質問文をしっかりと読まずに回答している可能性があるため、分析の対象外とすることが通例だが、本調査は質問項目が多く、異なる経験について同じ形式で繰り返し尋ねるような形式であり、また参加者自身の経験の自由記述を求める形式であったことから、質問紙の後半で集中力が落ちてしまうのもある程度仕方がないと考えられた（事実、回答指示に従わなかったほとんどの参加者の自由記述の文量および内容は、従った人と比べても遜色ないものであった）。

これらを踏まえ、本調査においては、データを使用しない可能性があることについての同意が得られなかった参加者、および調査2で確認項目の回答指示に従わなかった参加者のうち自由記述の回答がすべて同じ、もしくは無回答の参加者を分析の対象外とした（N=3）。その他の確認項目の回答指示に従わなかった参加者（N=20）は、「B. ハラスメントや不当な営業行為、商行為の経験」においてのみ、分析から除外することとした。

最終的な分析対象者は275名（男性97名; 35.3%、女性161名; 58.5%、その他12名; 4.4%、答えたくない5名; 1.8%）であった。また、「B. ハラスメントや不当な営業行為、商行為の経験」の分析対象者は255名（男性85名; 33.3%、女性153名; 60.0%、その他12名; 4.7%、答えたくない5名; 2.0%）となった。

## 倫理的配慮

本調査は芸能・報道分野において起きた、出演者、事務所、メディア企業の間での「圧力」や「ハラスメント」の実態を把握し、改善に役立てることを目的としていたため、質問紙には圧力をかけられたり、ハラスメントを受けたりした経験があるかを具体的に尋ね、その経験の内容の記述を求める質問が含まれていた。そのため、回答に際して参加者にそれらの経験の想起に付随した否定的な感情が引き起こされる可能性があったため、本調査の実施には参加者の安全性の確保（いつでも調査をやめることができる、無回答を選ぶこともできる等）として、倫理的な配慮が必要不可欠であった。本調査で行った倫理的な配慮を以下に示す。

まず、研究の目的と内容の十分な説明を行った。質問紙冒頭のページにおいて、本調査の問題意識の背景として「ジャーニー喜多川氏による性加害問題」があることを説明し、「旧ジャニーズ事務所」関連の事象に限定した調査ではなく、個人や個別団体などを追及するためのものではないこと、また、個別の問題について直接に解決を目指すためのものではなく、芸能や報道に関わる社会一般の現状を把握し、改善に活かすための調査であることを説明した。

次に、調査結果および個人情報の取り扱い、調査参加の任意性について同様に調査冒頭のページにおいて説明した。1つ目に本調査の結果は回答者が特定され不利益を被ることがないように配慮した上でウェブサイトへの掲載、会見、プレスリリース、研究、出版、報道、政治家やメディア関係者などへの要望の場面など、さまざまな情報発信に活用される可能性があることを説明した。

2つ目に調査には年代や性別などの個人属性を何う質問は含まれるが氏名は含まれないこと、調査者が回答者を特定しようと試みることもないこと、その上で、万が一調査者に特定されることを懸念

される場合（例えばその分野において珍しい年齢・性別の方である場合など）には、一部項目で「答えたくない」を選択し、特定が不可能なようにしてもらって良いことを説明した。

3つ目に本調査ではジェンダーやハラスメントなどに関する、デリケートな質問が含まれること、そのため全ての項目に「答えたくない」といった選択肢が用意されていること、また、ストレスなどを感じた場合、ご自身の心理的安全を優先して、アンケートを中断することが可能であり、中断した場合、それまで入力した回答が使用されることはないことを説明した。

質問紙の設計の際、すべての質問において参加者が無回答を選択可能なように設定し（「答えたくない」の選択肢を入れる、もしくは回答必須の条件を付けなかった）、「B. ハラスメントや不当な営業行為、商行為の経験」の自由記述の質問では、毎回、無回答でも構わないことと個人や団体が特定されるような情報は書かないようにということを付記し、繰り返し示した。

最後に、連絡先として調査主体のメールアドレスを概要ページの最後と回答送信後の画面に表示することで問い合わせおよびフィードバックの手段とした。

# 結果

## A. フェイスシート

本研究の目的は芸能・報道分野において起きた、出演者、事務所、メディア企業の間での「圧力」や「ハラスメント」の実態を把握することを目的であった。そのために、まず参加者の基本的な属性情報として年齢層と性別、活動分野と立場を尋ねた。

### 年代(age)

本調査にはジェンダーやハラスメントなどに関する、デリケートな質問が含まれていることから18歳以上を対象としていた。これを踏まえ、一番下の年齢層の選択肢は「18歳以上」とし、「10代」から「80代」まで8段階、一番上の選択肢は「90歳以上」とする質問への回答を「あなたの年齢層を教えてください」という教示によって求めた。本調査における参加者の年齢層の結果を図1に示す。

本調査における参加者の年齢層の最頻値ならびに中央値は40代であり、全参加者の約3割がこの年齢層に分布しており（85名,30.9%）、続いて30代（77名,28.0%）、50代（72名,26.2%）の回答者が多かった。

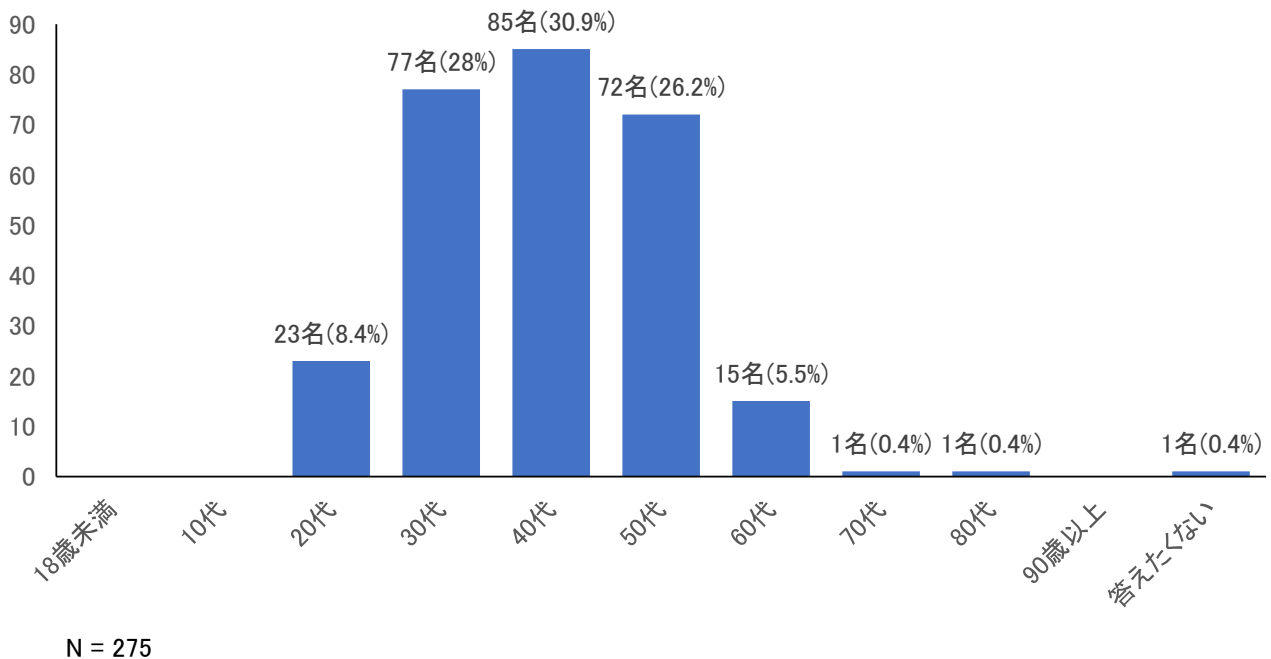


図1. 参加者の年齢層ごとの人数と全体割合のヒストグラム

## 性別 (gender)

本調査では参加者の性別を尋ねる質問の選択肢を「男性」、「女性」、「その他」、「答えたくない」とし、「あなたの性別を教えてください」という教示によって回答を求めた。本調査における参加者の性別ごとの人数と割合を図2に示す。

参加者のうち、男性が35.3% (97名)、女性が58.5% (161名)、その他と回答した人が4.4% (12名)、答えたくないと回答した人 (無回答) が1.8% (5名) であった。

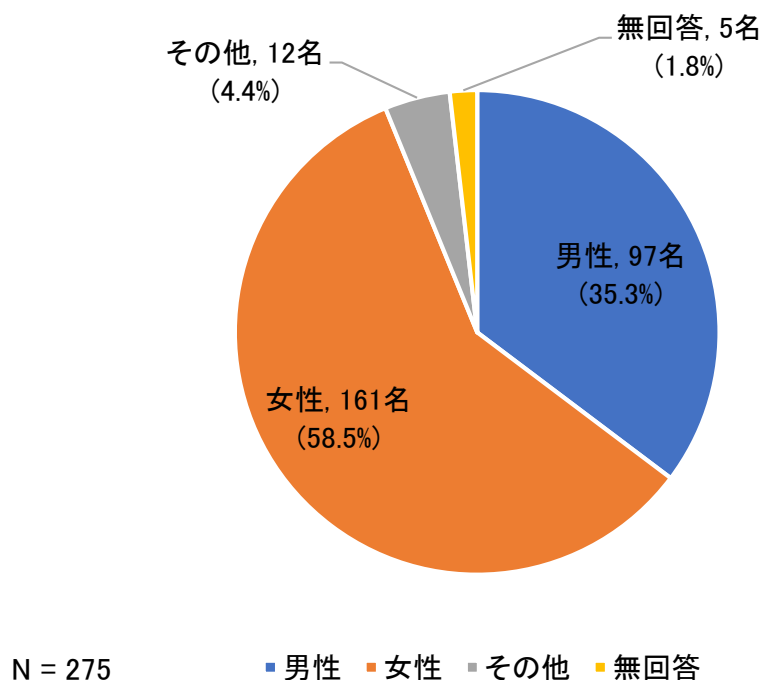


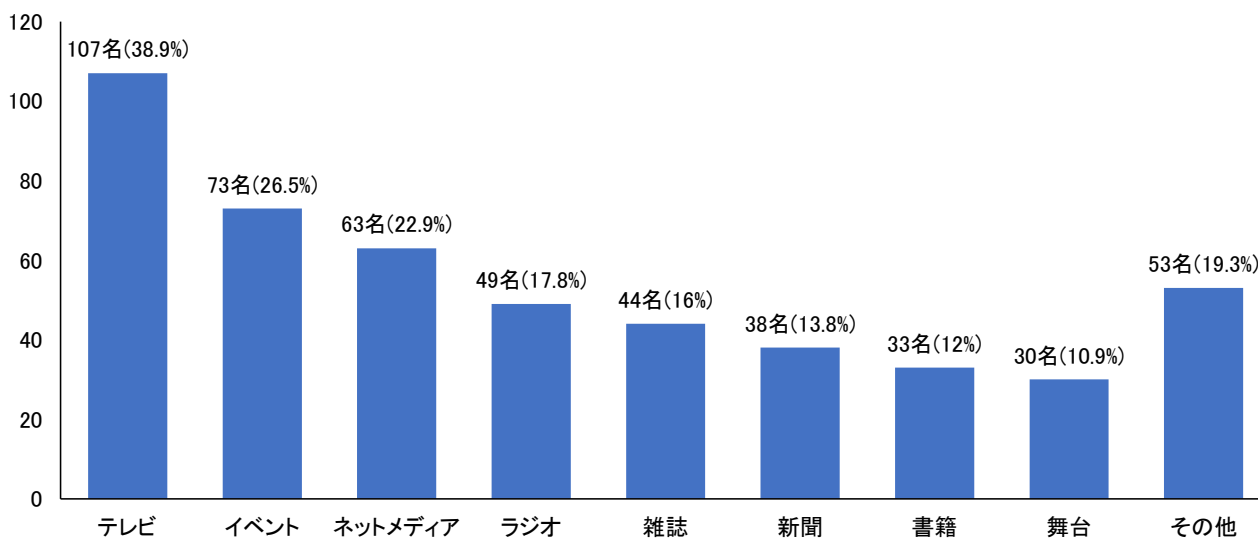
図2. 参加者の性別ごとの人数と割合



## 活動分野(field)

参加者の主な活動分野を確認するために、主要なメディアを選択肢とする質問への回答を「あなたが主に活動している分野を選んでください。※横断的に活動しているという方は、該当する活動領域をすべて選択してください。」という指示によって求めた。複数回答が可能であり、回答として「その他」を選択した場合、自由記述で回答ができる設定であった。主要なメディアとしてテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、書籍、ネットメディア、イベントの7つを挙げた。「その他」の自由記述回答で、「舞台」「映画」「音楽関係」「演劇」比較的多く見られ、とくに「舞台」は全体の12%（33名）と顕著に多かったため、再カテゴリー化して集計を行った。本調査における参加者の活動分野の結果を図3に示す。

活動分野に「テレビ」を選択した参加者が最も多く（重複回答あり）、全体の約4割だった（107名, 38.9%）。



注1) 重複回答あり。

注2) 「その他」で件数の多かった「舞台」は調査終了後に再カテゴリー化して集計を行った。

N = 275

図3. 参加者の活動分野ごとの人数と全体割合のヒストグラム

## 立場(position)

参加者のそれぞれの仕事、活動における立場を確認するため、立場をメディア関係者、出演者、イベント関係者、事務所関係者、ファンの5つに大別し、選択肢を用意した上で「あなた自身はどのような立場ですか。もっとも近いものにチェックしてください」という指示によって回答を求めた。なお、回答として「その他」を選択した場合、自由記述で回答ができる設定であった。本調査における参加者の立場の結果を図4に示す。

参加者のうち、メディア関係者の参加者が最も多く、全体の半分近くを占めていた(124名, 45.1%)。

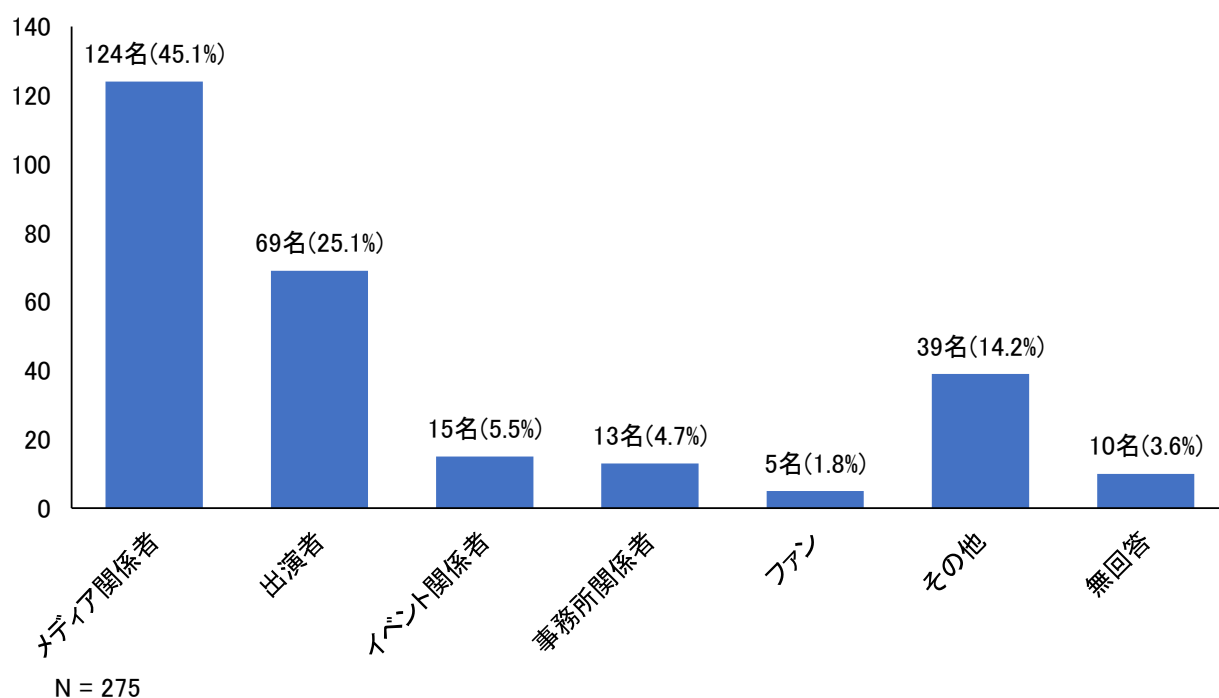


図4. 参加者の立場ごとの人数と全体割合のヒストグラム

## B. ハラスメントや不当な営業行為、商行為の経験

芸能・報道分野において起きた、出演者、事務所、メディア企業の間での「圧力」や「ハラスメント」の実態を調査するため、ハラスメントや不当な営業行為、商行為の経験の有無とその内容について尋ねた。本調査では代表的な圧力やハラスメントとして、以下の Q1～Q9 を挙げた（Q10 には「その他の経験」として自由記述の質問のみを設置した）。

### Q1. 出演・取引禁止に関する経験

例 「出演・取引の禁止（いわゆる「干す」）などの「圧力」をかけられたことがある」

### Q2. 報道規制の圧力に関する経験

例 「不都合な内容についての報道規制の要求などの「圧力」をかけられたことがある」

### Q3. 自粛や忖度に関する経験

例 「明示的に要求されたわけではないが、特定の個人や組織、団体に対して過度な配慮（自粛や忖度）をしたことがある」

### Q4. 過剰な接待に関する経験

例 「必要以上に豪華な、相場を大きく上回る過剰な接待を要求されたことがある」

### Q5. 不当な接待に関する経験

例 「急な呼び出しや無茶な命令の強要など、強制的で不当な接待を要求されたことがある」

### Q6. 性的接待と物品やサービスの供与に関する経験

例 「性的接待を要求されたことがある」

「仕事あっせんなどの見返りとして物品やサービスを供与したことがある」

### Q7. 不当な提案や理不尽な要求の経験

例 「バーターの押し付け」や「特定事務所の排除」など、不当な提案や理不尽な要求を受けたことがある」

### Q8. 身体的な暴力に関する経験

例 「身体的な暴力の被害を受けたことがある」

### Q9. セクハラや性暴力に関する経験

例 「セクハラや性暴力の被害を受けたことがある」

### Q10. その他の経験

上記 Q1～Q9 それぞれについて、基本的には「された経験」「した経験」「目撃した経験」「事例を聞いた経験」の4つの経験の有無を、「あなたは芸能・報道分野の仕事に携わる中で、以下のような経験をしたことがありますか」という教示によって尋ねた。

ただし、接待に関する経験の質問（Q4～Q6）については、「した経験」「された経験」に加え、「要求された経験」「要求した経験」も考えられたため、質問に加えた。また、上記の4点を詳細に聞き、項目数が徒に増えるのを避けるため、接待に関する経験の質問（Q4～Q6）においては「目撃した経験」と「事例を聞いた経験」は「見聞きした経験」の1項目で尋ねた。

いずれかにおいて経験が「ある」と回答した場合、その経験の内容の自由記述を求めた（教示：「上記のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください」）。

## 結果について

以下、調査結果を分析していく。質問項目ごとに集計し、自由記述を紹介していくが、自由記述については、以下のような理由と方針で一部編集を行った。

- ・本調査は特定の個人や団体を非難するためのものではなく、業界風土の改善のために行うものである。質問時においても、団体名や個人名は記載しないよう求めた。それでも、複数の団体や個人の名前が記入された回答が含まれていたため、それらの名前をマスクした。

- ・マスクは、一定のルールに統一する。マスクした箇所には、「●●※団体名」「●●※グループ名」「●●※個人名」などと記す。

- ・マスクでは不十分な場合は、「特定可能性が高い記述を一文削除」などと明記したうえで削除することとした。

- ・明らかな誤字は修正を行う

編集についての説明は以上となる。以下、各項目について詳細を見ていく。

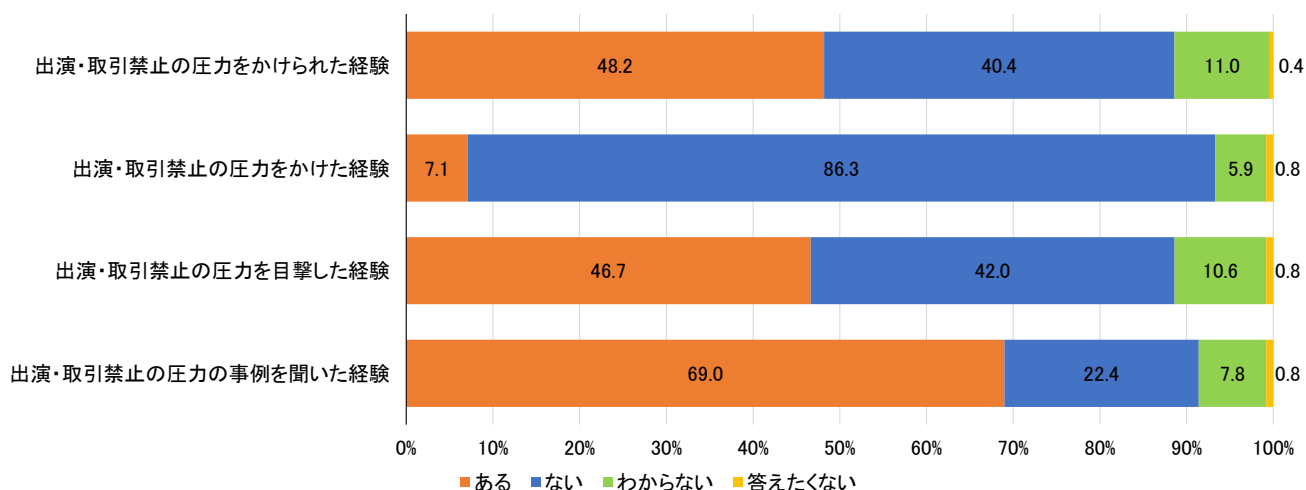
## Q1. 出演・取引禁止に関する経験

例「出演・取引の禁止（いわゆる「干す」）などの「圧力」をかけられたことがある」

Q1. 出演・取引禁止に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
出演・取引禁止の圧力をかけられた経験	123名(48.2%)	103名(40.4%)	28名(11%)	1名(0.4%)
出演・取引禁止の圧力をかけた経験	18名(7.1%)	220名(86.3%)	15名(5.9%)	2名(0.8%)
出演・取引禁止の圧力を目撃した経験	119名(46.7%)	107名(42%)	27名(10.6%)	2名(0.8%)
出演・取引禁止の圧力の事例を聞いた経験	176名(69%)	57名(22.4%)	20名(7.8%)	2名(0.8%)

N = 255



「上記の（１）～（４）のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。

それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください。」

20年前(80代男性・事務所関係者)
外国の大統領選挙の関係で日本の野党系と近い専門家の出演をNGされた。
2015年安保で番組ゲストが5回延期させられた。(40代男性・メディア関係者)
20年程前に、ちょっとしたトラブルから沖縄に二度と来れないようにすると言われました。また、弊社店舗の店長が、業界の先輩に燃やすぞと脅迫されました。(50代男性・事務所関係者)
自分自身の経験としては、少なくとも7年以上は前になるが、会社勤めの社員記者だったとき、基本的にはずっと芸能と関係のない媒体にいた。しかし、ごくたまに芸能人相手の取材があった。そのごくたまの機会でも、異様なチェックや圧力、あり得ない暴言をマネージャーなどからあびせられるほか、何かしら、他の取材対象では経験したことのないレベルのことが毎回あった。そのため、取材相手として最も厄介かつ最悪なのは、芸能関係という印象を今でも持っている。エンタメ系媒体には絶対、異動したくないともよく思った。「記者として、確実に死ぬ」のが予想できたからだ。会社勤めである限り、他の媒体でも仕事は選べないが、エンタメ系媒体ではより一

<p>層、記者でいることができない。書きたくないこと・やりたくないことをやらされるのが容易に予想できた。</p> <p>フリーの立場になった今のほうが、取材対象も仕事も書き方もよほど選べると感じる。会社勤めするとき、エンタメ系の媒体の記者が目前で、某事務所の偉い人から電話でいびられているのを実際に見たこともある。現在も、他社の記者やデスク、ライターからも芸能事務所のヤクザ的在り方については常々よく耳にする。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2016年、「●●※グループ名」解散時に事務所離脱者を出演させないように圧力があつたと聞きました(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>90年代～タレントの独立に関して。(50代男性・その他)</p>
<p>40年前ぐらいからつい最近まで、ある事務所のタレントに競合する他社の男性アイドルグループを共演NGなどの方法で番組に出さないよう圧力をかけていた。(60代男性・事務所関係者)</p>
<p>政権批判のコメンテーター切れと言う報道幹部と会社トップの指令(50代女性・イベント関係者)</p> <p>つい最近、ただ舞台の宣伝に他の出演者と「●●※テレビ局名」のワイドショーのVTRを撮影したら、私が政治的発言をしているからと、他の出演者と差し替えになり、取り直しをさせられました。(60代男性)</p>
<p>2017年頃 番組出演者として「●●※事務所名」から独立したばかりのタレントにオファーしようとしたら、局内から「1年は待った方がよい」とストップがかけられた。また、別の大手事務所から独立したタレントに関しても、同僚が出演を提案したが上司からストップがかかった。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」または大手事務所のタレントとスキャンダルになった女優は干される、という話を聞いたことがあります。(40代男性・出演者)</p>
<p>レコード会社のA&amp;Rや、プロデューサーが売り込みを条件に性的関係を迫った(50代男性・出演者)</p>
<p>2018年、元「●●※グループ名」メンバーのテレビ出演 元報道キャスターのテレビ出演 「●●※事務所名」事務所のタレントと熱愛報道がでた女優さんの出演、「●●※俳優名」さんのテレビ出演、他多数(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>多数回ありますが、特に影響が甚大だったものを3件挙げます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2014年 書籍の出版差し止め</li> <li>2. 2018年 ネットメディアの契約解除</li> <li>3. 2021-2022年 ネットメディアでの嫌がらせおよび記事掲載停止(50代女性・メディア関係者)</li> </ol>
<p>「以前、結婚出産を機にアナウンス部から異動をさせられた女性アナの事例がある」と話を聞いた。聞いたのは2023年10月だが、事が起こった時期は不明。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>キャスターの気に入らないコメンテーターを番組が呼んだとき。(70代男性・出演者)</p>
<p>私は出版業なので、作者が著作権引き上げという脅し文句で圧力をかけてくるのは日常茶飯事です。つい先月も私自身がこのような脅しをかけられました。実際に著作権を引き上げられたことはありませんが、周りではときどき耳にします。あと、担当を変えろと言ってくる人。問題があるのならお互いに解決するのが社会人として当たり前なのに、嫌だから変えろというのはどうなのでしょう。60をとっくに過ぎた男性が普通にやってきます。ただのパワハラとしか思えません。(40代女性・メディア関係者)</p>

<p>大手プロダクションを辞めたタレントは、そのプロダクションの怒りを買わないため出演を控える。それは圧力の場合もあり、勝手に忖度している場合もある。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>25、6年ほど前(1998年ごろ) 地方局のアナウンサーから東京でフリーランスになったばかりのころ、友人(以前の仕事では私の番組にとってのスポンサーの営業ウーマン達)が関東のFM局の営業部長を紹介してくれた際、はっきりと「俺と寝る人には仕事をあげている。〇〇という番組の〇〇さんもそうだ」とその友人達の前で言われた。(50代女性・出演者)</p>
<p>政治家による出入り禁止(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2015年の安保法制改正成立の際にデモに参加した「●●※個人名」さんや「●●※個人名」さんを避けるように暗に示唆された。建前としては選挙に立候補する可能性があるため。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>1981年頃、芸能プロダクション関係者から「●●※事務所名」事務所が主に「●●※媒体名」・「●●※媒体名」などの雑誌媒体に圧力をかけて他の事務所の男性アイドルを潰していると聞いた。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>2011年、子どもが小さいのに過酷な現場の仕事に無理やり付けられ、結局退職した。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>8年ほど前、ある会食に"参加しないとテレビに出られなくなるぞ"と上司に言われた。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>2016年頃。取材、掲載等できなくなりました。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>25年前、例えば、写真週刊誌がタレントの記事を出した場合、その出版社の出す情報誌、テレビ雑誌などすべての媒体には、テレビ番組関連の写真ですら掲載できなかった。番組がらみでも取材はできなかった。ドラマの発表会見ですらしめ出し。(50代女性・その他)</p>
<p>2022年ごろ。あるタレントが活動自粛をし、しばらく経ってから、そろそろ良いかということでBSのテレビ番組にキャスティングした。しかし、同局の他部署ではまだ出演禁止が解けておらず、局内からクレームがあり、それ以降再びキャスティングを見合わせる事となった。(20代・メディア関係者)</p>
<p>ある組織の中で、ある時、何も連絡もなく、私がグループから外された。また、私以外が参加するグループがスラックに作られ、私の知らないところで私だけ外された状態でやりとりがあった。</p> <p>「出演や取引の禁止」は、概念をしっかり定義すべきと考えます。自分の場合は、先輩が身の回りの性加害を隠蔽していたので、「もうそう言った人とは仕事はできません」と言ったら、「業界から干す行為だ、違法だ」と逆に揚げ足を取られ、責められた。</p> <p>問題を起こしている人やそれを黙認する人と取引をしない、いわゆるキャンセルカルチャーと、「出演・取引の禁止」がどのように違っているのか、しっかり説明した上でこの調査を実施しなければ、曖昧な回答となる懸念を感じている。私の立場は、問題を抱える個人や企業との取引を禁止することは、キャンセルカルチャーであるので、問題ないと考えている。よって、(2)の質問が何を指すのか、分からない。(30代男性・その他)</p>
<p>所属先以外の、外部出演の妨害。外部出演をした者へ仕事を与えないようにする等。(30代女性・出演者)</p>



<p>2002以降に耳に入った 超優秀な子役上がりの女子が10代になりマネジメント会社とうまくいかず自殺 (40代女性・出演者)</p>
<p>私的な感情、プライベート事情を理由とする強い圧力は、年次を問わず、常態的に存在します。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>テレビ制作会社勤務だった2010年ごろ、出演者からの飲み会でのセクハラ紛いの言動を拒んだところ、そのプロジェクトから突然外された。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2010～2020年代、特定の事務所からの指示に従わない場合、仕事をバラす（なかったことにする、中止、キャンセルする）という脅しを日常的にかけられたり、同じ事務所の中でされているのを見聞きした。(40代・出演者)</p>
<p>1998年頃、レコード会社関係者に失礼なことをしたデザイン事務所が出禁になった(50代女性・その他)</p>
<p>今から10年くらい前、私自身、性的関係を持たなければ仕事はやらないと言われました。そのままホテルへ半ば拉致されました。 (40代女性・その他)</p>
<p>30年くらい前、最初に働いたラジオ局を退社する時「この業界で仕事ができないようにしてやる」と、その局の社員に言われた。(50代女性・その他)</p>
<p>市の顧問弁護士から、弊社のみ取材拒否すると言われ、答えてもらえなかった（記録閲覧請求によりぎりぎり取材が成立した）(20代男性・メディア関係者)</p>
<p>2.3年前、某テレビ局の喫煙所にて、ドラマのプロデューサー(1番偉い立場の方)が大手事務所のマネージャーか社長？に「あと10人はうちから使ってもらわないと、〇〇はもう使わせませんよ」みたいな会話をしていた。(30代女性・事務所関係者)</p>
<p>2013年頃 某宗教団体の新聞社のスポンサー枠を断ったところ、出演番組枠を大幅に減らされた。(40代女性・出演者)</p>
<p>2017年(30代女性・出演者)</p>
<p>80年代から現在まで(60代男性・イベント関係者)</p>
<p>私は1989年より今の業界におりますが、大手事務所への付度や、それに付随する干すという話は今でもあると聞いています。大手事務所の意向にそわない番組を制作してその圧力により飛ばされたプロデューサー、独立後に干されるタレント、歌手などある種当たり前の話です。(50代男性・その他)</p>
<p>2000年代前半(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2010年代、三十代の時、女性のフリー演出家として、かなり大きめの演劇の舞台で、演出と制作をやった。 主演俳優が人気のある人で、最初その事務所の社長に気に入られて話が始まったのだが、制作途中で、彼女のあるミスを私の責任にされ、否定するとそれ以来、全く協力的ではなくなった。俳優と事務連絡をまともに取り次いでもらえないまま本番を迎えなければならなくなり、終わってからも最初の話と違う出演料を何度も要求された。 また2000年代、20代の時、文筆業者として作家エージェントに所属していた。エージェント社長の</p>

男性に才能があるから所属してほしいと言われ、宣伝やマネジメントをしてもらっていた。しかし打ち合わせの帰りに夜道で手を握られ、ホテルに誘われ、断って逃げると、次の日から対応が冷たくなり、宣伝など全くしてもらえなくなった。仕事しても文章への執拗なダメ出しが始まり、しばらくしてやめた。怖くて何年も何も書けなくなった。

2015年ごろ、30代の時に、大手文芸誌の編集者にまた才能がある云々言われ、小説を書いて欲しいと頼まれた。かなり長いものを書いたりして打ち合わせを重ねていたが、彼が私に個人的に好意を持っていることを示すようになった。

ある日当時私の働いていたバーに先輩編集者をつれて、やってきた。その先輩の男性が、煽るように「女性作家は編集者と寝ないとだめだ。いいものが書けない」と言い出し、私の担当も「そうです、この人だってxx先生と寝てるし」と有名女性作家の名前を出し、その後、編集者と関係を持ったという女性作家の名前を列挙し出した。そのあとも担当編集者に打ち合わせの後の食事でも体を触られるといったことがあり、それを拒否すると、やはり仕事を貰えなくなった。

信じられないのだが、最近も、仕事をくれた昔からの知人の雑誌編集者から、打ち合わせの帰りに酒を飲んで、油断していたところで手を握られた。ハラスメントだからもう仕事できないと伝えると、彼から編集部へ報告してほしいと言われ、代わりに連載数回分のギャラを個人的に振り込む、という話になった。

悩んだが、相談する相手もないし、その編集者は他でも失敗をしていて、家庭もあるからおおっぴらにしたいようだった。結局数万円のお金をもらったが、書ける場所を失ったことには変わりない。芸能界というより、出版界の話が多くなってしまったのですが、すみません。

(40代女性・メディア関係者)

2019年ごろ、報道番組にて。アナウンサーでも記者でもない身内の管理職を出演者に起用する事について、異議を申し立てたところ、担当番組を下ろされた(40代女性・出演者)

近年にも。若手の悪評を利害関係のある会社に吹聴する、5、6年前の事例ではキャスティングディレクターがセクハラを容認しなかったことにより「ノリが悪い」という理由で仕事を振ることを止める等。(40代男性・その他)

2010年代～2020年代、芸能事務所を独立したタレントの起用に事務所側が不快感を示し、以後の起用が抑制された。(40代男性・メディア関係者)

10年ほど前、テレビ局にて政治的意見で局のデスク、及びプロデューサーと相違した話をしたあと仕事が来なくなった。1回ではない。(50代男性・メディア関係者)

「●●※事務所名」事務所出身タレントへの出演依頼を提案したが通らなかった。「●●※事務所名」事務所の取次を行う代理店を刺激したくないとの忖度がはたらいた。退所したタレントの出演を代理店側が許していないと伝えられた。(40代男性・メディア関係者)

自分のこと。当時所属していた芸能事務所の社長から、性的な関係を結ばないならば売り込まないと言われたこと。マネージャーから、恋人になるのであれば守れる(そうでなければ守れないから他の人からハラスメントを受けても仕方がない)と言われたこと、映画監督からの命令(聞かなければ役に響く)されたいくつものこと、映画プロデューサーからの必要な飲みの誘い(断ったら仕事に響く)など多数。

聞いたり相談されたりしたこと

映画監督からの性的強要について複数。断ったら仕事がなくなる。ある女性俳優は断ったために、主演が決まっていたものを降ろされたと聞いています。(30代女性・出演者)
アイドルグループを擁する大会社の改名前の会社(名前は忘れましたが)が他の男性グループを共演させるならば出演しないと脅迫していた(50代男性・その他)
1980～1990年代「枕営業に対応できないのなら事務所をやめろ、引退しろ」(40代・出演者)
2013年頃に圧力(40代女性・出演者)
キャスティング担当をしていた。レギュラーのキャストに元大手事務所A所属の現在フリーランスの方が出ていた。1・2話のキャスティングをすべく毎年お世話になっているA事務所の窓口で電話をした際、「〇〇がレギュラーで出るんですよね？」と言われて電話をガチャ切りされた。(20代女性)
2005年ごろ。自分より上位のディレクターから「あいつは使うな」と、制作Pからきた仕事を後で撤回された。(50代男性・メディア関係者)
2022年、所属劇団にて、「次回公演に出演するかどうか」を団員全員が発表する場で、「出演したくない」と発言したところ「出演するべき」「出演しなくてはいけない」と全員に説得された。(30代女性・出演者)
政治報道において「●●※政党名」からの圧力や出演拒否は枚挙にいとまがない。(60代男性・メディア関係者)
近い友人の実体験として聞いた話です。おそらく2016年ごろ。音楽(マネジメント)事務所を辞めた後、これまでついていた名義での音楽活動を2年間の間制限するとの項目があり、実質的に活動停止せざるを得なかった。とのことでした。(出演者)
2000年以降、最近まで。某所から何度か「あの事務所を使うな」「あいつを使うな」と言われた。(40代男性・メディア関係者)
2013年、2019年、有らぬ疑いをかけられて外された(50代男性・メディア関係者)
2009年頃。音楽事務所でプロモーターとマネージャーをしていました。当時は所属アーティストの一部がとても人気でした。そのアーティストとの取引を続けたければ、それ以外のアーティストに出演などの機会を寄越せという物。(30代女性・その他)
2000年代(30代・その他)
テレビ局でよく見ていた。2000年頃(40代女性・事務所関係者)
2000年代初頭、所属事務所との折り合いが悪くなり移籍を希望したが、それ以降、仕事はブッキングされるものの報酬は一方的に支払われなくなった。(40代女性・出演者)
2019年、芸術祭において当初計画していた人物へのインタビュー取材についてリスク案件と見なされ一方的に中止を要請された(30代男性・メディア関係者)
2007年頃から数年某音楽番組に携わっていました。チーフPより更に上のPが現場に来て、「●●※事務所名」から〇〇を出すなど言われた旨の話をし、〇〇はデュオで大手事務所所属だった為か、苦肉の策でスタジオには入れず外のステージでの歌唱のみ、MCとも絡ませない、に変更になった。(30代女性・メディア関係者)
4年ほど前 「●●※団体名」(50代男性)
私は2009～2013年に「●●※事務所名」の舞台制作部門にいた。2010年頃、「●●※個人名」氏舞台によく出演していた「●●※個人名」氏をキャスティングできなくなった。「●●※個人名」さん

<p>のお気に入りだった「●●※個人名」さんに女性関係が発覚して、「●●※個人名」さんが裏切られたと感じているからだ、と噂を聞いた。「●●※個人名」氏の権力は絶大で、当時そのような噂は多かった。(30代女性・その他)</p>
<p>2003年 取引先配給会社からの恫喝(50代女性・その他)</p>
<p>2000年から2015年(50代女性)</p>
<p>2013年ごろに聞いたが、その内容自体はさらに十数年前の出来事のようにです 出演者が会社上層部と一悶着あり番組が終了、その後出入り禁止となった(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2022年 名誉毀損(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>2018年ごろ芸能プロダクションを辞めようとする俳優に対してのプロダクションからの発言(20代・出演者)</p>
<p>平成時代全般 共演 NGは大手タレント事務所の言いなり 「●●※団体名」での力関係でほぼ番組出演キャスティングが決定していた。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>2020-2022 出演に対して 振付に対して 活動に対して 規制されたことがある(40代男性・出演者)</p>
<p>私が大学生の頃、1年間授業に参加していたにも関わらず、担当の教授と折り合いが悪かった私はコンサートの当日、会場で出演を断られ、演奏することができませんでした。 出演するにあたりクラシック音楽界において、私に友人や先輩に起きた話で1980年代から2000年代ごろ。自宅レッスンを断っていたら、門下生のコンサートに出してもらえなかった、等。(50代女性・出演者)</p>
<p>ここ10年間で3回は自身の経験あり(30代男性・イベント関係者)</p>
<p>弟子が不義理にあった様で師匠がある人物の仕事は受けるなと関係者に言ったと言っていた。(50代男性・出演者)</p>
<p>2013年頃、映画関連 (40代女性・出演者)</p>
<p>常に。権力者の男達やその仲間の男達とセックスして回されないと干される。(20代女性・出演者)</p>
<p>2019年～2020年頃、私自身もメンバーの一員として話を進めていたプロジェクトから外された。(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>女性カメラマンへのセクハラで取引禁止にされたTVディレクター、理由はわからないが取り引き禁止にされた編集者は何人か知っている。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>知人から決まっている仕事を降りるようしつこく言ってきた。 その後用もないのに連絡がくるなど、執着されている危険を感じた。知人も同じ現場に関わるため、関係者に事情を説明し、仕事を降りた。自分の学び・キャリアに影響があった。(30代女性・その他)</p>
<p>妊娠を希望していたため、危険なことも多い現場作業の負荷を減らして欲しいとお願いしたら嫌がらせに遭い、虚偽の噂を流され上層部は噂の方を信じ、突然の予告のない給与未払い、自宅謹慎扱</p>

<p>いの後、精神的な病気扱いをされ、退職に仕向けられた。某「●●※店舗名」。他にも不当解雇やセクハラパワハラだらけです。(30代女性・その他)</p>
<p>2010年ごろ、事務所を移籍する際には干される期間があると聞かされた。(60代女性・出演者)</p>
<p>「●●※グループ名」メンバーにもなっている大学研究者から10年前性的被害に遭い公表したら研究の世界で生きられなくすると強迫された(50代女性・その他)</p>
<p>セクハラをかわすと仕事に呼ばれなくなり「なんで枕しないの？やらなければ干されるんだからやればいいのに」とベテランから言われた。6年ほど前。似たような体験談は周りからいくらかでも聞く。周囲に人がいても皆加害者の味方なので大勢いるなかで股間を触られた人も。(30代女性・出演者)</p>
<p>2020年以降。出演権の剥奪、共演の拒否、業界からの追い出し。(30代男性・出演者)</p>
<p>マネージャーの機嫌を損ねテレビドラマ関係の仕事は一切振られなくなった(40代男性・出演者)</p>
<p>2011年私は舞台本番中に共演者に顔殴られて警察署で口外したら演劇界から消すや降板したら4億請求するとか5時間恫喝されました(50代女性・出演者)</p>
<p>15年くらい前、芸能事務所所属者が事務所を辞める際、事務所関係者が引き止めるために圧力。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2018年ごろ、打ち合わせ中の雑談で最近大手事務所を独立した俳優さんを起用したくても事務所からの圧力があるので起用できないという旨を聞いた。(30代男性・その他)</p>
<p>イベント出展者で態度の悪い出展者を出禁にしました。(50代女性・事務所関係者)</p>
<p>2010～(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2016年ごろ、不祥事を起こした演出スタッフに対する懲罰行為として行われていた。(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>1992年ころ 女性アイドルの関係(60代男性・その他)</p>
<p>2000年前後で、事務所を辞めた場合に、半年の間、他での仕事を禁じられた。または、他団体での仕事について、誹謗された。(50代女性・その他)</p>
<p>歌舞伎界では、ある程度の地位になると、嫌いな役者は共演NGなど当たり前にかastingされています。ニュースにもなっていた、「●●※個人名」さんがお気に入りの「●●※職務名」さんにフラれたからといって干したのも事実です。役者同士だけではなく、大道具、衣装、床山など「NG」が出たらすぐに、担当はずされます。(30代女性・その他)</p>
<p>2022年に、ドラマのcastingで。(50代女性・イベント関係者)</p>
<p>20年以上前の話。研修生向けのレッスンの後ファミレスやカフェで話しているときに、指導者が「言うことを聞かないと…」とパワハラやセクハラのようなことをしている現場に居合わせたことが数度ある。研修生いじりのようなものがまかり通っていた。施設管理者が居ない場になればなるほど下ネタや露悪話が多くなり、個人的にそれが苦痛だった。また、下ネタが続いたときに話題を逸らそうとすると「空気を乱すな」と威圧され、ほとんど誘導のような形で枕営業の話になり、「相手を見極められないやつが悪い」というようなことを言われた。それにゾッとしてその事務所の研修生はやめた。レッスンの後、こうした場に参加し、「口利き」の機会を取りに行かなければならないことも苦痛だった。日本の芸能は実力ではないのでは？と疑問も持った。もしかしたらこのアンケートの趣旨とずれるかもしれないが、夢の階段は二種類あり、悪い階段の第一段目はこんな感じだと伝えたかったので書いてみた。趣旨にずれるようなら外してください。(40代・その他)</p>

<p>2018年ごろ、有名作品を手掛ける映画プロデューサーから、映画のプロット・脚本を書かせてあげると言われご飯に行く関係になり、その中で性的な会話が増え、ハプニングバーに連れて行かれた。断ると仕事がなくなると思い、3回ほど知らない人と sex をする場に連れて行かれ、行為をしてしまった。帰りのタクシーで口淫を強要された。陰部の写真を撮るよう強要された。(30代女性・その他)</p>
<p>1995年頃、大手事務所へ所属希望した際、紹介者である所属男性に肉体関係を求められ、応じないと以降の仕事を干された。</p> <p>1996年頃、執筆誌の副編集長に交際を求められ、断るも電話攻勢。「見る目が無い」「年上と付き合いべき」など。断り続けると仕事の依頼が無くなった。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>2014年頃、私が北関東にある某放送局に番組スタッフとして「勤務」していた(※ここでの「勤務」はいわゆる出入り業者=「フリーランスの番組契約」であり、局に雇われていたわけではない、ということをお断りさせていただきます)際、放送事故が頻発していた局の運営に対して改善するよう意見を申し上げたところ、ほかのスタッフは新番組に継続起用されたのにも拘わらず、番組終了とともに私だけ契約を切られた。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>これまで特定の人からハラスメント行為を受けてきた人が、その人との共演をNGとしたところ、2016年以降現在に至るまで、NGを出した側の人の仕事量が激減した。(30代女性・出演者)</p>
<p>SEXさせなかったので辞めさせる(50代女性・出演者)</p>
<p>1990年代からずっと(40代女性・出演者)</p>
<p>2008年終わり頃、「破門」をされました。(40代女性・その他)</p>
<p>思い返したくないことが多いですが、当時の業界内でかなりの権力を持った男性に、俺の悪口を言えば全部耳に入ってくる。この業界は繋がっている。などと言われた。言われたタイミングなどから、状況などから脅しに聞こえた。この事情を細かく第三者に話すと、「それは脅迫だよ」とほぼ100%の確率で言われます。(30代女性・出演者)</p>
<p>2020年ごろから「俺のから離れたら仕事はさせない」と脅されている女性がいます。現に仕事を邪魔され奪われたことがある。(50代女性・その他)</p>
<p>確証のない噂話として。「●●※個人名」さんの件(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>現在出演させないという圧力をかけられている。(50代女性・出演者)</p>
<p>1990年代後半(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>旧事務所から、辞めたタレントを使わないように、ライバル的なタレントを使わないようになど、口頭で依頼がありました。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>少なくとも私個人は所属タレントの才能や魅力を理解した上で、当初より見守ってきたという気持ちが強い。加害者と被害者の当事者間でしか解決できないのが問題の本質であり、決して看過してきたわけではない。</p> <p>だからこそ、「●●※事務所名」所属タレントが主演する舞台も取り上げさせてもらったりもした。それは「●●※事務所名」事務所への迎合や付度ではなく、あくまで個々のタレントの立場への配慮としてである。さまざまな内情や制約のあるなかで、努力をして芸能活動をしている姿を応援したいという想いからである。</p> <p>ただし、こちらがあくまで友好的・協力的であるつもりでも、先方(事務所に付度する業界)はそう思っておらず、逆に取材させてもらえなかったり、担当の舞台プロデューサーからハラスメン</p>

トを受けたりもしてきた（同業者の女性ライターには取材させることと引き換えにセクハラに遭ったという話も聞いている）。

逆に退所したタレントのインタビュー取材が私のところへ回ってくることもあった。しかし、たいていは「●●※事務所名」を取材しているメディアからは干されてしまっている。

面白い話がある。「●●※事務所名」所属のタレントが主演する舞台の記者会見で、ある演劇専門誌（現在は廃刊となっている）も取材に赴いたという。そこで事務所のマネージャーから、写真撮影の際に所属タレントをフレームアウトするよう強要されたという。主役なのだから集合写真の真ん中に並んでいる。それをフレームアウトしろというのは「写真を撮るな!」というのと同義である。カメラを構えると威圧的な態度でマネージャーが付いて回って、「撮ってないですよ!」と阻止したという。いったい何のための記者会見なんだか、わけがわからない。

こうしたメディアコントロールを普通に行えるのが「●●※事務所名」である。私にも経験がある。昔の●●※団体名」が「●●※事務所名」の買収によって「●●※団体名」となった時に、その公演を取り上げたことがある。通常なら事前に原稿をチェックすることなく済むのだろうが、後で何か言われるのを懸念して原稿をFAXで送ったところ、訂正が入った。電話口で確認すると、その舞台制作をしていた事務所員がのたもうた言葉は、とても興味深いものだった。「“買収”という言葉は印象が悪いのでやめてください!“再生”にしてください!」。しかし、一般の新聞などでは「買収」として報道されている。そう指摘すると、続けてこう答えた。「新聞はしょうがないけど、雑誌はダメなんです!」。いやいや、新聞であろうと雑誌であろうと、基本的にメディアを検閲するようなことはしちゃダメでしょうと思ったのだが、何を言っても理解されないだろうから、そのままに受け止めた。つまり、メディアはコントロールできるものだと思っているのである（それはおそらく「●●※事務所名」自体がそうなのだろう）。

メディア業界では、フォトチェックに厳しいことでも有名だった。テレビ誌をはじめ、雑誌の表紙に所属タレントが掲載されてもネット等では銀色に塗りつぶされていたことをご記憶の方も多だろう。

そんなこんなで取材拒否に会ったり、「●●※事務所名」を取材するのが面倒臭くなった芸能・エンタメ分野のメディアの中には、はじめから関わらないように離れていったメディアもある。そもそも演劇誌は数そのものが少ない上に、取り上げる舞台はたくさんある。演劇的に評価が低いとされている「●●※事務所名」所属のタレントの舞台を取材しないという選択肢がメディア側にあってもいい。

その一方で、「●●※事務所名」所属タレントの舞台が日本演劇の“トップ”であるかのように創刊された御用メディアもあったが、それだって編集の現場は気が気でないのだと思う。ただ、それだけのことだ。仮にあえて「共犯者」になろうとしても、一方的に拒否されたり、強制的に排除されたりして、報道規制されるのが実態なのである。

だから、一般の大手メディアがみんな鬼の首を取ったかのように叩き始めて、いまさら何を言っているのだという思いがある。性加害の問題を放置してきたのではなく、そもそも普通に芸能活動を報道したくてもできなかった状況を誰も考えていない。当事者に直接取材しないで、表層的な話題ばかりでバッシングするだけではSNSと変わらない。

芸能界もこれまでさんざん稼がせてもらったのだから、もし「●●※事務所名」がなくなったとしても、所属タレントやすでに退所したタレントを起用して、芸能活動が存続できるようにサポート

<p>していく義務があるだろうと思う。それが仁義というものだと思うのだが、仁義などそもそもないというのが興行の世界だったりもする。情けない。もう勝手にやっててくれという感じもする。ともかく、どういう着地点を見出せるのか、注視していきたい。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>半分冗談のような言い方で「そんなん言うならもう出さないよ」みたいな話は日常茶飯事にあり、本気なのか冗談なのかわからないようなものは常態化している。(40代男性・出演者)</p>
<p>ある男性から誹謗中傷を受けていてそれを Facebook で否定したら、「大人のすることじゃない」と言われて、「あなたのために」と出演を断られた 出演を禁止したこと：参加女性の身体を勝手に触った、女性に危害を加える発言をした (30代女性・イベント関係者)</p>
<p>2018年頃。芸能事務所から、このライターは使うなど圧力をかけられた。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>約6年ほど前に勤務していた芸能事務所で、イベント関係の仕事をしていました。事務所内の決定権限を持つ上司のパラハラが横行しており、社長に直談判しましたが結局改善されず転職しました。 パワハラ内容は、①機嫌が悪い時、何か質問などをすると威圧的な態度で対応される。 ②機嫌が悪いとすぐ物に当たる。(近くにあるゴミ箱を蹴ったりなど) ③飲み会などでのモラハラ、セクハラがひどくなる。(スタッフの乳首の色は何色かなど聞いてくる。演者に対してのボディタッチが激しくなる)(30代女性・事務所関係者)</p>
<p>10年以上前に3人組の男性グループのうち脱退した1人を編集で写さないようにするように指示された。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2005-2020年。ベテランや主催者から駆け出しや出演者へ。(40代女性・出演者)</p>
<p>2021年ごろ、ある企画でトラブルを起こした出演者をその後、会社全体で出禁にすることが決まりました。規約違反に対する処置、という意味では、仕方のないことなのかなと思っていましたので、これが「干す」に含まれるか正直判然としていません。(20代女性・イベント関係者)</p>
<p>性交渉を全力で断った時に、事務所に所属したいなら応じろ。出来ないなら芸能界にいられないようにしてやると言われた。(50代女性・出演者)</p>
<p>2013～コロナ禍前まで (30代女性・出演者)</p>
<p>特に大きな問題を起こしたわけでもないのに、演出していた舞台から俳優が辞退して、公演中止になった。(50代男性・その他)</p>
<p>平成2年～現在まで この条件を飲まない仕事あげないよ的な。(50代男性・その他)</p>
<p>30年以上前か。関西の放送作家の先生と「●●※個人名」さんの深夜ラジオで、女優業ではなく当時は他分野で活躍されていた女性が、テレビ局社長の奥さまの「あの●●※個人名が邪魔だわ」の一言で、ドラマ背景の●●※個人名が邪魔だと言った奥さまの言葉を女優の●●※個人名と勘違いした社長の判断で、出演が取り消されたのは有名な話よ等、話されていたように記憶している。相手の放送作家は「●●※数字」年生まれの●●※個人名さん。(50代女性・ファン)</p>
<p>③2018年 社長から性加害を受けたため会社に相談したらシフトがなくなった ③2019,2020年 それぞれ監督A氏B氏から性加害を受けたため、批判したり(2019・A氏)告発したら(2020・B氏)その監督だけでなく関係者からも仕事が来なくなった。</p>



<p>②2019～現在 ハラスメントをするスタッフがいたら注意し、なるべく現場に呼ばない判断をしている。酷いスタッフに関しては絶対に呼ばないようにしている。(30代・メディア関係者)</p>
<p>SNSで友達になっていたが、突然ブロックされたり、対応が余所余所しくなった。演劇関係者はせまいので、ハラスメント加害者である「●●※個人名」の差し金だと思う(推測だが)(30代男性・その他)</p>
<p>2017年頃、演劇界、契約など交わす前だったにもかかわらずある作品に出演するものと見なされており、その時期に別の作品に出演することが決まった旨を伝えたところ「私はさまざまな芸能事務所やキャスティング、ほか演劇界、芸能界のたくさんの人と知り合いであるため、その私の誘いを断るなら業界に居づらくなる」と言われた。(20代女性・その他)</p>
<p>昔のこと、かつテレビなど映像の話ではないので参考になるか分かりません。</p> <p>いまから10年以上前のことですが、就職活動をする際に知り合いづてに「●●※団体名」に関わる人と知り合う機会があり、聞いたことです。私は数年後、それとは全く別に別軸でメディアと多少関わり仕事をすることになりましたが、「●●※団体名」ではいかに女性がパラハラを受けているか、それに耐えられる人だけが入社した方がいい、それほどこの大手メディアでも同じだとの助言を受け、大手メディアはの就職活動はやめました。〇〇をしなければお前の案は通さない、等の内容だったかと思います。</p> <p>それとは別に自分のオンラインメディア、報道に関わる仕事に関しては、暗に〇〇をしてくれればあなたの仕事がしやすくなるよ、等の要求を受けた経験がありましたが、無視しました。(30代女性)</p>
<p>大衆演劇で、ある劇団から退団した人物について、劇団側が他の劇団で起用しないように呼びかけていた。(30代女性・出演者)</p>
<p>都内コミュニティFMの社長から新番組を立ち上げるよう言われ、企画から出演まで全て整えたところでノーギャラであることが発覚。半年耐えて辞める旨を伝えたところ「この世界で生きていけなくしてやる」と言われたと聞いた。15年ほど前の出来事。(40代女性・出演者)</p>

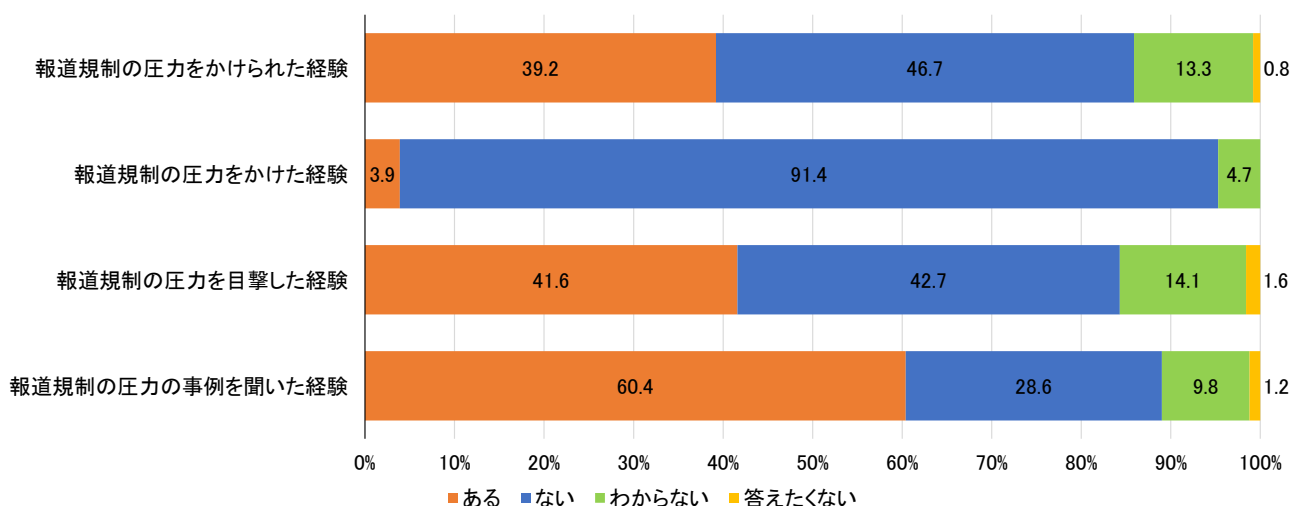
## Q2. 報道規制の圧力に関する経験

例「不都合な内容についての報道規制の要求などの「圧力」をかけられたことがある」

### Q2. 報道規制の圧力に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
報道規制の圧力をかけられた経験	100名(39.2%)	119名(46.7%)	34名(13.3%)	2名(0.8%)
報道規制の圧力をかけた経験	10名(3.9%)	233名(91.4%)	12名(4.7%)	0名(0%)
報道規制の圧力を目撃した経験	106名(41.6%)	109名(42.7%)	36名(14.1%)	4名(1.6%)
報道規制の圧力の事例を聞いた経験	154名(60.4%)	73名(28.6%)	25名(9.8%)	3名(1.2%)

N = 255



「上記の (1) ~ (4) のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。

それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください。」

通常のレベル以上の事実確認を求められ、記事化できない事例を耳にした。(40代男性・メディア関係者)
2004年の「●●※事務所名」性加害の最高裁認定で、同僚が芸能系の部局もあるのであまり書けないと話していた。(40代男性・メディア関係者)
某芸能事務所から、その事務所のアーティストと仕事をした事を口外するなど圧力をかけられました。(50代男性・事務所関係者)
前述のとおり。7年以上前のことだが、エンタメ系の媒体の記者が目の前で、某事務所の偉い人から電話でいびられているのを見た。現在も、他社の記者やデスク、ライターから芸能事務所のヤクザ的在り方については常々よく耳にする。(40代女性・メディア関係者)
2017年、米軍関係の事故のニュースを小さく取り扱うよう上層部から指示があったのを目撃した(30代女性・メディア関係者)
タレントの恋愛報道の規制。(50代男性・その他)

<p>数年前、ある事務所の広報担当が、他事務所のタレントと反社主催のイベントに出演したとき、自社の名前を出さないよう芸能マスコミ各社に圧力をかけた。(60代男性・事務所関係者)</p>
<p>政権批判されたことに対して          政権幹部、「●●※団体名」幹部が執拗かつ根拠なき圧力をかけて来ることに対して、放送局トップや報道幹部が、抗することもなく受け入れ、報道を止めるように指示する。「●●※個人名」政権になって日常茶飯事です。(50代女性・イベント関係者)</p>
<p>ニュース番組に出演していて、内容が気に入らなかったのか、知事になる前の「●●※個人名」氏からスタッフに電話がかかり、番組中で釈明させろと強要、翌日生電話のコメントが放送された。(60代男性)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年ごろ、同僚が制作した安全保障関連法案をあつかった番組が直前で放送延期になった。理由をはっきり説明されなかったように記憶している。</li> <li>・ニュース映像制作の際に、街頭インタビューの現場では圧倒的に「反対派」が多かったにもかかわらず、放送では「反対派」「賛成派」の意見をきっちり同じ秒数で放送するという指導があったりした。(30代女性・メディア関係者)</li> </ul>
<p>2001年、与党政治家から歴史認識の違いを巡り、番組および報道局に圧力をかけられ、大幅に内容を改変させられたと聞いた。          「●●※個人名」政権時代、放送内容を受け、記者クラブへ取材禁止(いわゆる出禁)を言い渡された。(40代女性・出演者)</p>
<p>「●●※作品名」の撮影中に、天皇に謁見して礼をするカットで、監督に「そんな浅い角度の礼では、オンエアみた右翼に君の家の前にウンコばら撒かれますよ！」と言われた。明治期の政治を取り扱うとなるとシーンの表現ひとつで過敏に反応する層の視聴者がいるようで撮影側もピリピリしているようだった。(40代男性・出演者)</p>
<p>男性アイドル事務所、女性アイドル事務所での性的、それ以外の不祥事(50代男性・出演者)</p>
<p>憲法改正への言及、特定のタレントの結婚についてのコメント、元「●●※グループ名」メンバーへの言及(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>直近の事例から。          2023年5月、日本政府の新型コロナ感染症への対応に対する他国研究者の批判を、記事に記載しないように明確に要求されました。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>イラク戦争やある芸能スキャンダルがテーマのとき、異論があるコメンテーターをキャスターが指名しない。(70代男性・出演者)</p>
<p>5年ほど前、担当している書籍の中の記述で、会社から削除を命じられました。2年前にも同様に削除を求められました。会社も上司も訴訟リスクを避けることしか考えておらず、失望しています。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」のタレントが不祥事を起こしたとき、局側がそのタレントを守ろうとした(カメラが及ばない場所に誘導しようとした)結果、撮影したい報道する側との対立が生まれたケース。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※媒体名」にいた時代。98年に掲載した「●●※個人名」の独占インタビューに関して、「●●※事務所名」がタイトルなどが気に入らないと激怒。その後10年以上にわたって、「●●※媒体名」は一切、「●●※事務所名」のタレントの取材ができませんでした。「●●※事務所名」以</p>

<p>外のタレント、俳優の取材でも、同じ会見などに「●●※事務所名」のタレントが出席していればその会見には出席できないというほど、厳しいものでした。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>2011年、震災直後、地震緊急放送体制が徐々に通常に戻り、担当していた東京のレギュラーのFMラジオ番組の放送が再開する時に、オープニングの挨拶の部分で、被災された方々にお見舞いの言葉を述べたいと番組ディレクターに話したところ、広告代理店含め、プロデューサー、ディレクター全員から、「それはやめて欲しい、原発の「げ」の字も口に出さないで欲しい。全く何もなかったように震災前と同じ放送をして欲しい」と言われた。ゲスト番組だったので、ゲスト候補に、放射線について詳しい教授や専門家を調べてリストにあげたが、誰一人として採用してもらえなかった。幼い子がいる母として心配事を話すことさえ禁じられ、口にガムテープを貼られて放送をしろと言われていたような気がし、スポンサーにしか向かっていない制作陣の姿勢が全く理解ができなかった。(50代女性・出演者)</p>
<p>政治家による不都合なニュースを流す事への圧力(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>数年前、「●●※事務所名」所属のタレントを使ったイベント取材で、紙面は写真掲載可だが、ネット上の記事は写真不可と主催者へ申し入れ。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>10年以上前(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>2015年の安保法制改正の際に番組が法案成立まで延期させられた。デモのコールもチェックされた。アメリカ大統領選挙でトランプ前大統領の就任直後は言動や思想を批判し放題であったが、安倍晋三が日米会談で媚を売って以降は、トランプ前大統領の批判をするトーンを抑制するように指示があった。国会議員の不祥事があっても、ニュースのオーダーを下げ、放送後に当該議員の派閥の領袖に電話して自分の功績を誇示する政治部長がいた。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2005年ごろ、中部地方のある民間企業が意に沿わない記事を書いたある新聞社の取材をしばらく拒否(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>安倍政権が関わる問題で、現場の記者が上層部から報道を潰された事例(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>昨年、こんなことを記事にしたらどうなるかわかりませんよ、と役所の人に言われたが無視した。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>1994年、伊方原発沖の中央構造線が活断層であるとの記事を月刊誌に掲載した後、所属する社の上層部や「●●※団体名」から「圧力」を受けた。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>2000年代前半、ジェンダーや性教育にかかわるリベラルな発信をすると番組がつぶされる恐れがあると専門家から指摘され、企画を見送った(統一教会などの影響を受けた自民の超保守勢力への配慮)(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>2010年代、自治体が行っている補助金について報道しようとした際、他自治体と比較すると補助率が非常に高い点が問題になるとまずいので書くなと言われた。同じ時期、別の自治体でも、自治体内の問題を書こうとした際にかなりの圧力があつた。また、2023年にも、表に出ている情報なのに報道されると注目されてハレーションが起こる可能性があるのでは細かいことは書かないでほしいとかなりの圧力で言われている同僚がいた(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>政治家による会社幹部を通じた圧力(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2001年 「●●※番組名」(40代女性・メディア関係者)</p>

1990年頃から、大手を辞めたタレントについては記載、掲載できない。(50代女性・メディア関係者)
2020年代。あるスポーツの選手が所属クラブを移籍したり、クラブ内でトラブルになったりした際、取材担当者がクラブに付度し、その選手について扱わない、取材しない、という判断をしているのを見たことがある。(20代・メディア関係者)
映画監督による性加害行為(30代男性・その他)
例えば特定のアーティストの作品レビューなどで、「〇〇という人物なり組織が不快な思いをするかもしれないから」という主に媒体側が付度する形でリライトを求められることがここ数年で過去に数度あった。  特定のアーティストについての記事を複数のライター合同で書いた際、別のライターの方のプロフィールに、アダルトビデオ関連の経歴が事実として記載されているのを、そのアーティストが所属するレコード会社から削除してほしい旨求められた、という話を聞いた。  10数年ほどまえ、レコード会社に勤務している頃、大手プロダクション所属のアーティストがなにがしかの不祥事をおこしたさい、それを誰々がもみ消した、といった話（噂）を度々耳にした。(40代男性・その他)
パワハラ、モラハラ、過度な付度は常に存在し、当事者は不都合と認識していないことが多く、数えきれません。(40代男性・イベント関係者)
30年ほど前、ラジオ局の上層部に関係する政治家の不祥事についてのニュースをオンエアすると言われた。(50代女性・その他)
2011年頃 局の報道宛に、地元の原子力発電所建築地が、地層調査で問題があることが判った上でも建設された事の告発あり。ある程度裏が取れたものの、電力会社がスポンサーのため、一切報道されず。(40代女性・出演者)
昨年、映画プロデューサーの「●●※個人名」が「●●※個人名」に動画内で告発されそうになった際、監督作品の公開を控えていた所属先の「●●※団体名」が「●●※個人名」氏に多大な金銭を送り、告発を見送らせたと同僚プロデューサーから今年聞いた。(20代男性・メディア関係者)
80年代から現在まで(60代男性・イベント関係者)
自社のタレントに不都合なニュースが出た場合、それが表に出ないようにするのは事務所の重要な仕事と聞いています。(50代男性・その他)
報道番組を担当していた頃、第二次安倍政権時代。ある政権を批判するニュースについて扱わないでほしいという主旨のメールがプロデューサーからスタッフ全員に送られた。など(30代男性・メディア関係者)
2010年ごろ、「●●※団体名」系列制作会社の新人研修にて、同業批判は自分たちの首も絞めるのでやらない、と講師役の先輩に言われた。(40代女性・メディア関係者)
知人の編集者が、福島原発事故の後に、原発に関する本を作った時、その当時の勤め先の出版社の上の人に報告がいきなり、編集作業にやたらにチェックが入ったり、原発事故の写真を職員が

頑張って復旧作業をしている写真に勝手に差し替えられたりしたそうです。(40代女性・メディア関係者)
取引先の企業の不祥事について「報道する必要がない」と上層部に言われ断念した(40代女性・出演者)
2023年。「●●※事務所名」問題について報道ニュースでは扱うがその他の番組では喋るなどというお達しがあった。(30代男性・メディア関係者)
宗教に関わる内容(40代男性・メディア関係者)
10年ほど前まで幾つかのTV局に出入りし(選挙関連の企画をよく作成し)ていたが、自民党の候補者の取材でデスクに修正を求められた。具体的には(その主張、コメントが良いにせよ悪いにせよ、正しいにせよ、正しくないにせよ)政治的主張は削り、人柄に寄せるようにして簡単に言えば情に訴える感じにさせられた。結果的には悪い言い方だがよりエンタメ寄りにはなった。数字を取ろうとする方向に寄せた感じでしょうか。(50代男性・メディア関係者)
自分が受けたレイプ被害について、再犯防止のために私は加害者の実名報道を望みましたが、報道側の意向で匿名となりました。(30代・出演者)
<p>自分のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害を告発したところ、法的に対処すると言ってきた。また、名誉毀損の恐れがあるため、加害者の名前は報道できないとされた。</li> <li>・少し報道規制とはずれのかもしれないが、加害者サイドから法的に出演者と監督にハラスメントが発覚した映画の上映について企業(劇場)抗議したところ、加害者にそのメールを転送され、加害者のみにヒアリングをしていた。</li> </ul> <p>周囲でのこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害者から直接話を聞いた人が加害情報をSNSに書いたところ、「名誉毀損」だとスラップ訴訟を起こされ、SNSを削除するように言われた。(警察もきちんと調べずに、加害者の言い分を信じて通告してきた)(30代女性・出演者)</li> </ul>
13年ごろ球場にてコンサート現場で事故(骨折)があった際、そのまま設営を続け現場検証をしなかった(50代男性・その他)
1980～1990年代、俳優やスタッフの不祥事を暗黙の了解のもと外部へ口外してはならない、という事務所や撮影団体からの絶対的な圧力があった(40代・出演者)
東電と原発に関する報道。ゴルフ場開発にかかる問題、等、色々な分野である。(60代男性・メディア関係者)
2022年ごろ、ラジオ局から収録直前に『放送期間中はちょうど選挙期間中なので、特定の政党を応援するような発言はSNSなどのプラットフォームでも控えてほしい』と言われた。そんな話は事前の契約にもなかったのが驚いたが、その時は仕事を干されるかも…と応じてしまった。(出演者)
2010年ころ、某所から大手広告代理店に対し、某媒体に書いた記事の不掲載を指示したが、実現はしなかった。(40代男性・メディア関係者)
<p>1995年前後で、数年間あったと思います。</p> <p>私は映画扱う雑誌の編集者で、当事、某配給会社の作品を、どんな作品であっても優先的に取り上げないと、今後一切取引(情報提供、イベントの協力など)をしないとされました。どの出版社</p>

<p>にも同じようなことを言っていたようです。私の上司も、それが当たり前なので従うようにと。上司は、テレビの情報を扱う雑誌を担当したことがあり「●●※事務所名」だってそうなんだから、メディアで仕事する上で、忖度するのは当然のこと」という考え方で、理不尽だとは思いますが、その映画会社の要求に従っていた。当時の私は若く、ちっぽけな編集者だったので、声を上げることはできなかった</p> <p>(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>アーティスト同士の色恋沙汰で、注目を集めるためにスポーツ新聞誌へ、片方のアーティスト所属事務所がリークしました。その事務所側から関わりのある事務所へ、何も喋るなど連絡が回っていました。(30代女性・その他)</p>
<p>2000年代(30代・その他)</p>
<p>2020年代、情報発信を止められたり、非難されたり、嘘であると発表されたりする事例を見聞きした(20代女性・出演者)</p>
<p>通信社で記者をしていました(現在は他の報道機関へ移籍)。加盟社からお金をもらって運営する会社だったので、その批判はタブー。加盟社が不祥事を起こした際は「記事にするな」「できるだけ小さくしろ」などと上司から指示がありました。＜特定可能性があるため、一文削除＞(20代男性・メディア関係者)</p>
<p>2015年ごろ</p> <p>報道番組内で、スクープ映像が上層部の判断でお蔵入りになった。</p> <p>その際、判断基準や理由は明かされなかった(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>女性のプロモーターはフェロモーターと言われていて、メディア関係者を接待していて担当が気に入ればメディアに出す仕組みで若くて可愛い女子しかプロモーターに採用しない会社は多々あった(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>2000年代初頭、事務所から報酬を止められている等、揉めていることを公にするとイメージの悪化で今後の仕事がなくなると脅され、契約期間満了までは無報酬のまま働くことを強いられた。(40代女性・出演者)</p>
<p>スキャンダルが週刊誌に載る前日に社内がザワついていた(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>芸能スキャンダルは90年代までは各局独自取材で局内でも他番組に素材を隠してまでスクープを競っていた。</p> <p>ところが事務所側にとってワイドショーは不都合な存在。局にとっても報道やドラマと違って胸を張れるコンテンツとはいいがたい。編成の偉い奴が芸能班という統括部門を局内に作った。なぜか申し合わせたように2000年代前後に各局同時期に誕生した。</p> <p>取材で同局カメラが競合する無駄を省き予算削減という名目で勝手な動きを封じる検閲制度が出来上がりスクープは皆無になった。</p> <p>芸能誌出のレポーターが独自のルートでネタを掴み他局に分からないように羽田の税関で薬タレントを捕まえたり熱海のマンションでの不倫熱愛歌手を直撃したり歌舞伎役者の狂った賭け事を撮っていた時代は消滅した。</p> <p>その頃から芸能班に大手広告会社が新作CMの撮影風景を送り付けてくるようになり●●※特定可能情報が自由に使える映像として重宝がられ局は手足をもがれた。</p> <p>草薙が赤坂の居酒屋で泥酔し公園で暴れた件は報道局が芸能範に伺いをたててくるほどだった。</p>

弱小事務所のタレントには厳しく大手に甘い田崎スシローの先駆けとなるテレビの道を芸能班という部署が担った。(60代男性・メディア関係者)
ここ20年で毎年一回以上はある。(30代男性・イベント関係者)
常に。性被害について話すことは禁じられ、黙認され続けている。(20代女性・出演者)
2023年頃、職場でのトラブルをSNSに公開したところ、職場から規制要求を受けた。(30代女性・イベント関係者)
2021年までは、「●●※事務所名」にはたくさんの規制があると聞かされた。(60代女性・出演者)
外部に漏らしたら生きられないようにしてやると言われた。今も精神的に苦しいし今も研究分野でさまざまな形で足を引っ張られている。(50代女性・その他)
2年前 ハラスメントを口外しないように(50代女性・その他)
90年代、某事務所からの圧力でCDを出せなかったアーティストを知っています。(50代女性・事務所関係者)
・1999年に公共に関するシンポジウムの放送の前に番組内容をチェックしたいと議員及び某省担当者から申入れがあった。 ・2002年に公共に関するイベントに原子力関係の団体がスポンサーをしていたが、カメラで映さないよう、またイベントと放送は異なるという扱いをするよう求められた。(50代女性・メディア関係者)
2010～2015 広告主への配慮(40代女性・メディア関係者)
2020年 労働についての民事解決の際に和解合意書への記載を求められた(30代女性・イベント関係者)
1992年ごろ 女性アイドル関係(60代男性・その他)
今回の「●●※個人名」さんの件や、「●●※個人名」さんの暴力沙汰など。報道はほぼ事実です。(30代女性・その他)
不都合なことを取り上げないように言われた(50代女性・イベント関係者)
先述したプロデューサーが他の若手スタッフや女優たちに同じような行為を強要しており、それを言ったらキャストイングしないとされたと言われたと被害者から相談された(30代女性・その他)
昨年頃、とある大物コメディアンへの批判をしたところ、事務所から猛抗議にあつて記事を削除した。 某ダンスボーカルユニット事務所のグループを巡っては、批判を行うと「抗議」という名の凄まじい圧力を受けるため、絶対に書いてはならないし名前を出すことも控えるよう新卒の頃から口酸っぱく釘を刺されていた。(30代男性・メディア関係者)
2011年頃、他国への偏向報道が取り沙汰され某企業の不買運動が出た時に、系列局に一斉に「関係のある話を他人にするな」という指示が出た(30代・メディア関係者)
過去数十年に渡るタレント事務所の性加害問題(40代女性・ファン)
2020年頃。ダイエット企画で。体重を公表したくないと何度も言っているのにも関わらず、なぜ嫌なのか、このポジションでいられることを幸せだと思ふべき、などと責められた。その後、「○○は、太っているとされると泣く」などと事実無根の噂を流された。(30代女性・出演者)



「●●※事務所名」などに限らず、力を持った芸能事務所がメディアに圧力をかけるのは昔も今も日常茶飯事。とくに最近ではメディアの力が落ちているため、メディアがそうした要求に対して強く対抗できなくなっている。(40代女性・メディア関係者)
「グループ名」関連で圧力ではないが、関連プロダクションが手土産持参で懐柔してきたという噂を耳にしたことがある。(40代男性・メディア関係者)
2018年頃まで、危機管理意識向上アンケートの体裁で、SNSでの発言を規制された(50代女性・メディア関係者)
前項の質問で記述済み(50代男性・メディア関係者)
昨年(40代女性・メディア関係者)
昨年の夏頃。明らかに責任が明確にある団体に対しての事実である内容をSNSに出したところ、削除してほしいとの要請があった。(40代男性・出演者)
2020年頃 被害の申告をしたらSNSに書く内容を規制された、書いた記者に弁護士から記事を削除するように書面を送られた(30代女性・イベント関係者)
報道の範囲ではありませんが、2010年代、ある芸能事務所に所属する芸能人が出演する番組が終了する際、別の新番組に、その芸能人を起用することで、テレビ局と芸能事務所の仲を円満なままに番組を終了させると、噂話で聞いたことがあります。(当時、自分が派遣されていたテレビ局の話です)。事務所の大小で芸能人の露出が決まるということを知り、ショックでした。 現在は、ローカル局でニュースを扱うこともあります。報道内容はいかにバランスを取るかを考えて扱うニュースを考えているきらいがあります。(30代女性・メディア関係者)
2021年ごろ、大手芸能事務所主催の歌舞伎興行の取材をしていた時のこと。この興行の主な拠点となる施設が長期工事に入ると知ったので、興行の会場に来ていた施設の関係者と名刺交換をしたところ、プロデューサーと名乗る人物から「勝手に取材をしないでください」と言われた。ちなみに会場は公共ホールで、プロデューサーは施設管理者でもなんでもないので、取材を制限する立場にない人物です。「記事にしたら会社の上層部に報告する」と詰め寄られました。記事にはしましたが、公共ホールへの「出禁」を言い渡されました。(30代男性・メディア関係者)
2005-2020年。言ったら大変なことになるよ、二度と会えなくなるよ、一緒に仕事もできなくなるし何も教えられなくなるよ、自分のプライバシーを晒さないでほしい(人として当然の要求としてのこと)。(40代女性・出演者)
2023年の「●●※事務所名」の件に関しては、ニュースの中で明確に触れるか否かで会社として採めたと聞きました。(20代女性・イベント関係者)
2013年～コロナ禍前まで(30代女性・出演者)
「●●※場所名」で上演された現代演劇の翻訳劇を上演することを目的として、市に後援を申し込んだ。しかしタイトルに差別語が含まれるという理由でタイトル変更を命令された。(50代男性・その他)
平成5年頃公演タイトルがある団体から差別的だと言うことで公演中止を要求された。(50代男性・その他)
①2020年 某アイドルグループのメンバーが、プロデューサーからパワハラを受けていた。ドキュメンタリーを撮影を担当していたが、完成映像を確認すると、その部分はカットされていた。(わからないを選択したのは、当日撮影しか担当していないため)

③2021年 某CM映像にて、監督が多様なキャスト(障害者、性的マイノリティ者)を採用しようとしたところ、いわゆる外国人っぽい見た目の方だけに制限されてしまった。

④知り合いの家族に、2001年の「●●※テレビ局名」番組改変問題の被害者がいる。(30代・メディア関係者)

2018年頃、ミュージシャンとして働いていた学校でのこと。学生に対して不当な嘘をつきながら授業をすることを主任から要求され、反対の意思を表明すると授業の駒数を減らすだとかの圧力をかけられたり、悪評を流されるなどのパワハラを受け、過呼吸を発症した。(50代男性・出演者)

所属団体からのハラスメントを公表したところ、取り下げない限り和解交渉には応じないし、訴訟を提起するとの連絡を受けた。(30代女性・出演者)

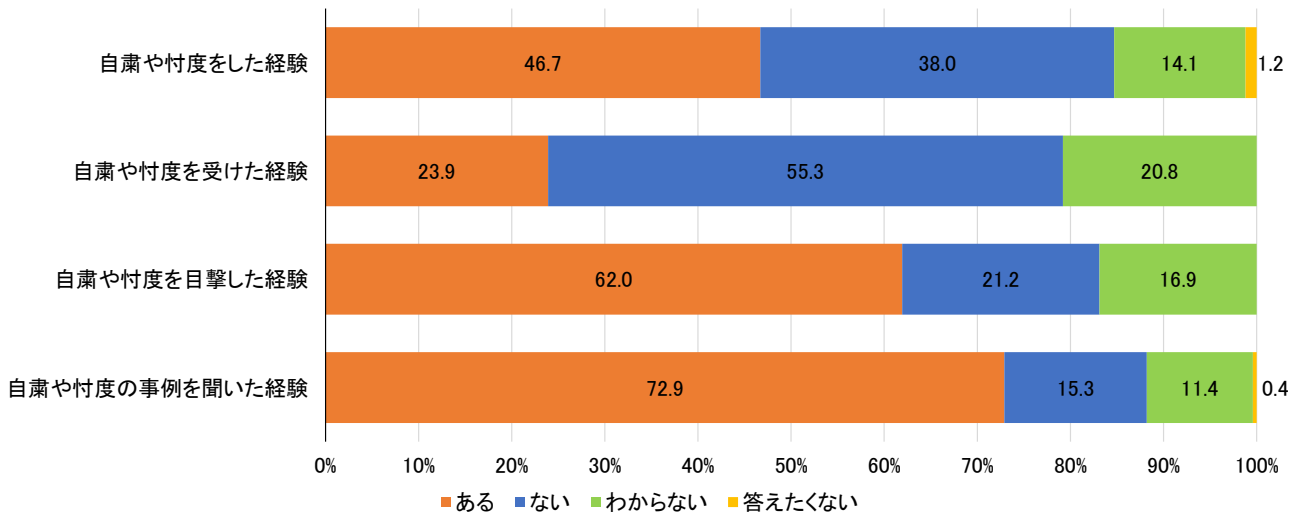
### Q3. 自粛や忖度に関する経験

例「明示的に要求されたわけではないが、特定の個人や組織、団体に対して過度な配慮（自粛や忖度）をしたことがある」

Q3. 自粛や忖度に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
自粛や忖度をした経験	119名(46.7%)	97名(38%)	36名(14.1%)	3名(1.2%)
自粛や忖度を受けた経験	61名(23.9%)	141名(55.3%)	53名(20.8%)	0名(0%)
自粛や忖度を目撃した経験	158名(62%)	54名(21.2%)	43名(16.9%)	0名(0%)
自粛や忖度の事例を聞いた経験	186名(72.9%)	39名(15.3%)	29名(11.4%)	1名(0.4%)

N = 255



「上記の (1) ~ (4) のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。  
それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください。」

必要以上に心配して自粛を求めてくる上司は事例に事欠かない。(40代男性・メディア関係者)
民主党政権時に意図的にニュースオーダーを下げ、自民党幹部に電話連絡していた。 「●●※事務所名」と「●●※団体名」は面倒なのでなるべく関わらない、という体質だった。(40代男性・メディア関係者)
今も昔も政権与党の批判は取引先や部下の事を考えて控え目にしています。(50代男性・事務所関係者)
前述したとおり(40代女性・メディア関係者)
タレントの恋愛報道の規制。バーター出演。(50代男性・その他)
2003年、小泉政権時代の国政選挙選挙期間中。小泉首相が是としたイラク戦争を巡り、戦争反対の市民デモを報じるべきではない(政権批判に繋がるからという理屈)、との議論がなされた。

<p>同時期、自民党政権の政策や方針を批判するような表現が、局内で多数自主規制されたのを現場で見してきた。(40代女性・出演者)</p>
<p>20年前くらいから最近まで、男性アイドル事務所の不祥事を見て見ぬふりをしたレコード会社(50代男性・出演者)</p>
<p>2015年頃、LGBTQを否定する議員関連の圧力、同じころ、憲法改正への言及、2017年頃、「●●※事務所名」タレント結婚報道へのコメントなど(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>対人支援を行う団体に対して、数えきれないほど行ってきています。 人間が集まっている以上、いつもどの側面も無問題であるわけではなく、暴力・ハラスメント・何らかの不正のようなことは大なり小なりあります。しかしながら、生活困窮している方や子どもさんやDV被害者の方などの当事者の方々を人質に取られているようなものなので、何らかの形で明るみになるまでは、知っていてもなかなか書けません。被害を受けている方が安全になることを個人的にお助けするのが精一杯です。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>すべて「わからない」と回答しました。各事例が過度にあたるか否かの判断が難しかったためです。具体事例はさまざまありますが、言えることは、すべての個人、団体に対してまったく公正な報道ができていないか、と問われるとそうではない可能性もあるということです。しかしそれは報道の自由でもあります。放送尺やマンパワーの都合上、もちろん最大限の公正を求めながら、一方でどこまでも公正は極めて難しい(たとえばその事例の全てを紹介することは難しいなど)ので、それが配慮、忖度にあたるのかという所は疑問です。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」事件。被疑者を〇〇メンバーと表現させられた。(70代男性・出演者)</p>
<p>「●●※事務所名」の優遇。あと、会社と取引のある企業の問題を書こうとしたら、目立たないようにしろと言われました。あと、映画業界の話ですが、芸能事務所が、主役をうちから出したんだから、この俳優も使ってくれ、というのは聞いたことがあります。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」についてのタブーや、固い「●●※事務所名」枠(「●●※事務所名」を出演させなければならない決まりごと)などについては聞いていました。(50代女性・出演者)</p>
<p>「●●※政党名」幹部による「お前には情報を流さない」という圧力(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>15年ほど前(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※放送局名」で、2015年安保法制改正の際の番組でSEALDsが「選挙に行こうよ」というコールを「不適切」として削除を求められた。 韓国の現代ドラマは地上波衛星波では一切放送できず、韓国時代劇しか流せなくなった。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>地方紙なので過度に配慮されている雰囲気は基本的にある。前ページの自由記述で書いたような、自治体から「出されては困る」と強く言われたときに、「おかしい」と思いつつもその通りにしてしまったことはある(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>有名事務所タレント起用を考えた番組企画で編成部に反対されたと聞いたことがある(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2022年ごろ。あるタレントにテレビ番組のリポーターのオファーを検討していた際、そのタレントと所属事務所とのトラブルが報じられた。それを受けて、オファーを見合わせる事となった。事務所とはまだ何もコミュニケーションをしていない段階であり、事務所に忖度しての判断だった。また、年長のプロデューサーがその事務所を指して「あそこはヤクザ同然だから揉めたくない」と</p>

<p>発言していた。この件に限らず、「事務所と揉めたくないからあのタレントにはオファーしない」というのは、何度か耳にした。(20代・メディア関係者)</p>
<p>2015年頃、劇団から劇中ダンスの振付を依頼した場合いくらになるのかと聞かれたので答え、振付依頼があったので振付をしたのですが、そのギャラはこちらが答えたのとは全く違う安い金額でした。契約書を交わしたわけでも、その金額でお願いすると言われたわけではなかったので、自分が悪いと言うことにして黙っていました。(30代女性・出演者)</p>
<p>映画においては、マスコミと著名映画関係者はステークホルダー関係にあるため、著名な監督の問題は報じない。映画監督の性加害や黙認、隠蔽を訴える人をスルーするマスコミ関係者をみたことがある。(30代男性・その他)</p>
<p>前ページ記載の事例と同じ(40代男性・その他)</p>
<p>新興宗教 特定のメーカー 特定の教師 枕営業 (40代女性・出演者)</p>
<p>創作の現場には圧倒的な権力差が存在するケースが多く、忖度がない時代はないと思います。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>忖度と言うほどでもないが、テロップを右上がりに入れろと言われ、編集のやり直しをした。理由は縁起がいいから。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2010-20年代、大手の事務所に配慮して役を下ろされた(40代・出演者)</p>
<p>1990年代から、「●●※企業名」の著作物が画面に映り込むことに対して過敏(50代女性・その他)</p>
<p>去年、ネタ元の不正(小さいもの)を記事にしなかった(上記の判断)。(20代男性・メディア関係者)</p>
<p>某有名アーティストに関するNGワードリストが、前日になって事務所より届いた。内容は細部に渡る言い回しを指定したものでなく、作品に関するNG質問が並べられ、逆に何をインタビューしたらいいのか困惑。制作陣で時間をかけて台本を作り直した。 むしろ質問してほしいリストを送るなり、コメント出演だけにするなり、他人の土俵に入ってくるならこちらの手間をかけるな、と言いたくなかったのが本音。TVで見かけるたび、chを即替えます。。(40代女性・出演者)</p>
<p>2020年放送のテレビ東京系深夜ドラマの撮影時、脚本家が「●●※個人名」をイメージキャストとして提案したが放送局のプロデューサーが拒否したという話を同ドラマの撮影現場にてキャスト・スタッフ・監督から聞いた。(20代男性・メディア関係者)</p>
<p>2023年春、芸能系の大学内部のことになります。先生方が大御所ばかりですので、これからのキャリアを考えると学生は先生の言う事に「はい」と従うしかない状況です。しかし、従ってばかりだと「自分の表現したいものはないのか」と言われたりします。 科目によっては、「インボイスについて必ず反対しなさい」などの個人的なことについてまでも口を出してきます。先生と揉めた際に、先生方は非を認めない事が多いので、外部からの先生より高齢の大人に沈静化をしてもらうこともあります。 私が知る限り、10年ほど前から、飲み会の場でお酒を飲んだ後生徒に思い切りゲップを浴びせたり、体のあちこちを触ったり、裸で縛り上げたり、レッスンの中で卑猥な言葉を使用したりする方もいました。(20代女性・出演者)</p>
<p>80年代から現在まで多くの場所で(60代男性・イベント関係者)</p>

<p>芸能界、音楽業界（インディーズ系を除く）は付度で成り立っているように感じます。バーターとも言えるのでビジネス的手法とも言えますが。(50代男性・その他)</p>
<p>2010年代 男性アイドルアニメの企画でイベントやCDリリースをする流れで「●●※事務所名」の領域に競合してない理由つけをするため2.5次元など理由をつけて進めてました(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>今年、「●●※事務所名」事務所の性被害報道をめぐって、自主規制的な動きがあった(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※企業名」に関するコンテンツ制作(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>20年ほど前にわかりやすく言えば無駄な税金の使い方を指摘、質問し、放送した際、局に抗議文が届いた。15年ほど前に「●●※政党名」議員に対しての選挙取材中、(具体的には忘れたが)期間中に別の担当に変えられた。</p> <p>15年ほど前、私立高校に取材し、放送したあと「虚偽のイメージを植え付けられた」と局に連絡がありその後は局と制作会社のプロデューサーがすべて対応した。(ので結末は知りませんが、聞いた話では訂正等はなく謝罪だけで終わったはず) (50代男性・メディア関係者)</p>
<p>2018年ごろ</p> <p>スケジュールでは本番期間中の休息日とされていた日に、劇団演出家の都合で「自主的に」リハーサルをしたいと言われ、スケジュール通りその日は出られない旨を伝えたところ、キレられた。(30代男性・出演者)</p>
<p>1年以内、「●●※事務所名」に対しての付度が行われた。</p> <p>経営者に対しての付度も横行し関係者に対しての報道に手心が加えられている。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>ある性暴力の件で告発しようとした俳優の所属事務所が大手だったため、ここについては報道しにくいという空気になっていたのを目撃した。(30代女性・出演者)</p>
<p>1980～1990年代、仕事欲しけりやお偉いさんの夜のお相手を、とか、俳優や監督のやらかしちゃったネタは見なかったことに、とか当たり前にあった(40代・出演者)</p>
<p>2023年、劇団公演の3ヶ月前に大きな精神的ショックを受ける出来事があり舞台出演が困難であると判断し、降板を申し出るも受理されなかった。最低限本番に穴を開けなければいいと言われ、稽古には全部出席しなくていいから出演をするように説得された。(30代女性・出演者)</p>
<p>政治的な案件になると様々な形で配慮が行われていると思う。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>2000年頃から某スポーツ業界で、某団体に頼まれた宣伝なのを隠して、あたかも普通の記事のように書いたことがある。また、他にもそのような者がいる。いわゆるステマ記事。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>常に人に知られていない音楽界限から売れている界限まであります。ホモソーシャルな世界なので、個人的なのか仕事の付き合いなのか分からない部分で、女性として接待することを強いられました。ファンとしても、男性らの気分を持ち上げるために友達と一緒においでと言われて行ったら接待要員で、お持ち帰りしても良い幾らでも口説いても口が硬いから平気なチョロい女たちとして扱われたり。有名な人と繋がるために個人的に枕営業してたり、複数人でのホテルでの性行為をしてる人も居ました。(30代女性・その他)</p>

2000年代 「LGBTQなんて存在しないものを描けないでしょ」と編集者から言われた。私はトランスジェンダー男性で、ノンバイナリーです。それにいまはいわゆる女性の身体ですが、好きな人は女性なのでホモセクシュアルに相当します。辛かった。(30代・その他)
2020年ごろ、「●●※地域名」県の知事会見で県職員の不祥事を追及しました。すると、会見が終わった後に地元紙の記者が「知事にあんなことを聞くのはおかしい」と怒り出し、会社までクレームを入れてきました。それから上司にはその問題を追及しないようにと釘を刺されました。(20代男性・メディア関係者)
2013-2017年・不定期 番組協賛企業の不祥事などがあると、 ・報道局に対して営業部から圧力がかかる ・放送する際は、テレビ局営業部担当者から、事前に報道内容の告知を行う ・場合によっては取引とのバランスを取る材料としてパブリシティ枠を企業へ提供する などが複数回あった(30代女性・メディア関係者)
2000年頃「●●※番組名」には「●●※事務所名」ではない男性アイドルはは出られないと聞いていた。圧力は相当あったし、関わらないほうがいいと言われていた(40代女性・事務所関係者)
各出演者のキャリアに関わらず、所属事務所がどこかによって現場での対応が違っていることはよくある。(40代女性・出演者)
2014～2015年頃、「●●※出演者名」さんの声の出演で当初制作予定だったパイロット番組でオファーができなくなったと聞いた。(30代男性・メディア関係者)
2010年代はじめ、「●●※団体名」の「●●※個人名」氏が喜ぶから、という理由で売り出し中の若手男優が少人数が食事会によく駆り出されていた。彼も顔を売る意味ではウィンウィンなのか、と当時は思っていたが、気味が悪かった。(30代女性・その他)
2000年から2015年(50代女性)
ありすぎて書けない(40代女性・メディア関係者)
2017- カルト宗教、宗教に関する出版(30代女性・メディア関係者)
数えきれないほど観てきましたが、最近のものだと2022年頃のある俳優に対しての広告代理店の過度な配慮と、共演者に対する現場を盛り上げる、迷惑をかけないでくれというプレッシャーと圧力や、2023年頃、インタビューを行う媒体への俳優・所属プロダクションからの威圧的な態度や暴言など(20代・出演者)
「●●※協会名」に加盟しているか否かが扱いのベクトル(60代男性・メディア関係者)
2020-2022 snsのフォローや削除など 意見の同調 同調圧力が常にある(40代男性・出演者)
音楽大学で同級生の数人は教授に食事に誘われて同席していました。(50代女性・出演者)
これもここ20年で毎年一回以上はある。今も(30代男性・イベント関係者)
2013年頃 映画関連 機嫌をそこねると出演させてもらえないだろうと言いなりになる(40代女性・出演者)
常に。権力者の男達は他の権力者の男達と連帯して守られ続け、女性は使い回され続ける。(20代女性・出演者)

2018年頃、長年懇意にしていたアーティストを起用するよう誘導を受けた。(30代女性・イベント関係者)
大御所や有名な演者のために感染対策をお願いしているのに守らず無駄に多くの関係者や断っているのに楽屋に人がごった返して先方のスタッフが高圧的な態度で言うことも聞かず、立ち入り禁止エリアにも入り、連日そんな感じでコロナをうつされた。 そういう人が何人もいた。黙ってて仕事を優先した人もいる。(30代女性・その他)
キャスティングにおいて、大手事務所には過度な配慮があると聞いた。(60代女性・出演者)
某宗教信者の芸能人の記事を厚遇(60代男性・メディア関係者)
2017年春頃の音楽ライブ直後に、出演者の1人の過去を揶揄するような性的な画像がSNSで出回ったあと、私が「●●※役割名」として仕事をしていたときの役員の1人が、出演者の過去を揶揄する発言をしたのち、出演者を今後どのように扱うのかこれから審議する、と発言していた(30代・その他)
20年くらい前、「●●※企業名」の有名キャラクターについては誌面で触れないように言われた。街角スナップ程度の写真でも、キャラクターが描いてある洋服は、クレームを避けるため掲載しないようにも。法的根拠を尋ねても明確に答えられず、メディア側の過剰な忖度が重なって自家中毒、または都市伝説的な言説に自縛されているようであった。解体された「●●※団体名」についても、カレンダーを出版している出版社で触れないように言われた。(40代男性・メディア関係者)
2016年ごろ 経営者層による出演者への発言によって、出演者の配役などに影響があった(30代女性・イベント関係者)
1992年ごろ 音楽活動仲間の女性が枕営業を強いられたと述べていた。(60代男性・その他)
①興行での仕事のギャランティヤ、スタッフクレジットに関して、不当な扱いを、忖度的に受け入れさせられた。2007年頃②座長となっているタレントの横暴により、付き人がノイローゼになるほど罵られた。そのタレントのその時の気分の変化により、公衆の前で罵倒された。(50代女性・その他)
訴訟の当事者について取り上げられなかった(50代女性・イベント関係者)
1991年～2005年頃の期間、特定の事務所のアーティストについて書いてはいけないことがあるとされていた。その事務所の背後にいる人を明示されないが、立場が同じ人と認識しあって口を噤んでいた。(50代女性・メディア関係者)
今年、ある事務所の性加害問題で証言者Aの発言に事実誤認に基づくものがあること、証言者Bにも性加害の告発があることをWEBで記事化した。しかし、同サイトがある事務所の批判を行っていること、批判の中でA・Bの両者にも取材を行っていることから、利害関係にあるため批判はできないと、原稿完成までいったが掲載が見送られた。 ブラック労働についての記事を書く中で某コンビニチェーンの事例を入れたところ、サイトの母体が週刊誌であり、コンビニは重要な販路のため批判できないと当該記述を削除された。 いずれも批判を控えるよう求められた訳ではなく、自主的な判断だった。(30代男性・メディア関係者)
2010年頃、その会社の社長からの話で、尖閣諸島沖のビデオ流出について、「もし自分たちのところに持ち込まれても、放送はしない、私たちは●●※特定可能情報なので放送したら免許をとりあげられるから」というような話をされた(30代・メディア関係者)



被害に遭ってからそのジャーナリストの支持者から私が被害に遭ったことを知っているのに嫌がらせ、無視や悪意あるツイートをされました。2019年から2020年だったと思います。私の件以外もあちこちの活動されてる方たちの中で似たような話を見聞きました。(50代女性・その他)
2013年頃から現在に至るまで、舞台の世界では演出家やプロデューサー等にキャスティング、スタッフの決定権がある構造上、その地位にある個人が発言した内容が、俳優やスタッフの人間関係に意識的あるいは無意識的に影響を与えていると感じる。多くは「誰それを外せ/使うな」といった直接的な発言ではなく「○○はダメだね」といった曖昧かつ非公式的な場におけるぼやきに近い言葉を、周囲のスタッフが拾い、本人への直接的な通達はないままゆっくりとフェードアウトするようなもの。(20代女性・イベント関係者)
権力を持った社長や政治家が出演する際、テレビ局の「えらいおじさん」が、その人に対し、機嫌をとるような言葉をかけるのは度々見かけたことがあるが、本件に該当するかはわからない。(30代女性・出演者)
クレームが来そうな団体への批判を控えるなどは今でもある(50代女性・メディア関係者)
前項の質問で記述済み(50代男性・メディア関係者)
2010年前後(前職のイベンター時)、特定事務所のアーティストのCDの売上を上げるために周辺店舗でCDを購入するよう指示された(自腹ではありませんでした)。(30代男性・メディア関係者)
前な回答欄に書いてしまいました。(30代女性・メディア関係者)
2005-2020年。仕事をもらえなくなるから逆らってはいけないし、公にしてはいけないと、言われたり、そういう空気が、先輩から自分やベテラン同士やクライアントからミュージシャンにある。(40代女性・出演者)
2013年～コロナ禍前まで(30代女性・出演者)
平成8年頃ある団体から公演タイトルが差別的だと言うことで公演中止を求められた。(50代男性・その他)
①2015～2020年 イベント関係の仕事で、スポンサー外のプロダクトを現場に持ち込まないような条件を出されることが多かったため、その指示が明示されてない時も意識して持ち込まないようにしていた。
③2020～2023年(すみません、色々ボカさせてください) ある有名な、大規模なコンテストで、主催(審査側)の団体から、主催団体のコメント映像に、優勝団体のプロダクトが画角内に入るように撮ってほしいと言われた。 詳細を書けないため飛躍したような書き方になってしまうが、つまりコンテストは公平な審査がされていなかった。(30代・メディア関係者)
2011～18年、主任に逆らうと居場所がなくなると言われたりだとか、コンテストの審査の際に協会長の学校に賞を取らせるために採点をやり直すよう求められたりした。(50代男性・出演者)
コロナが起きる前の年のように記憶しておりますが、日本ではない国で、「※政府機関名」を含む政府機関に情報を伝える仕事を財団でしておりました。その情報を伝える際は、上司が元官僚であり、同僚が「※政府機関名」の方でしたが、日本で行われた政策の不備についての箇所は削除して伝えるように求められました。(30代女性)



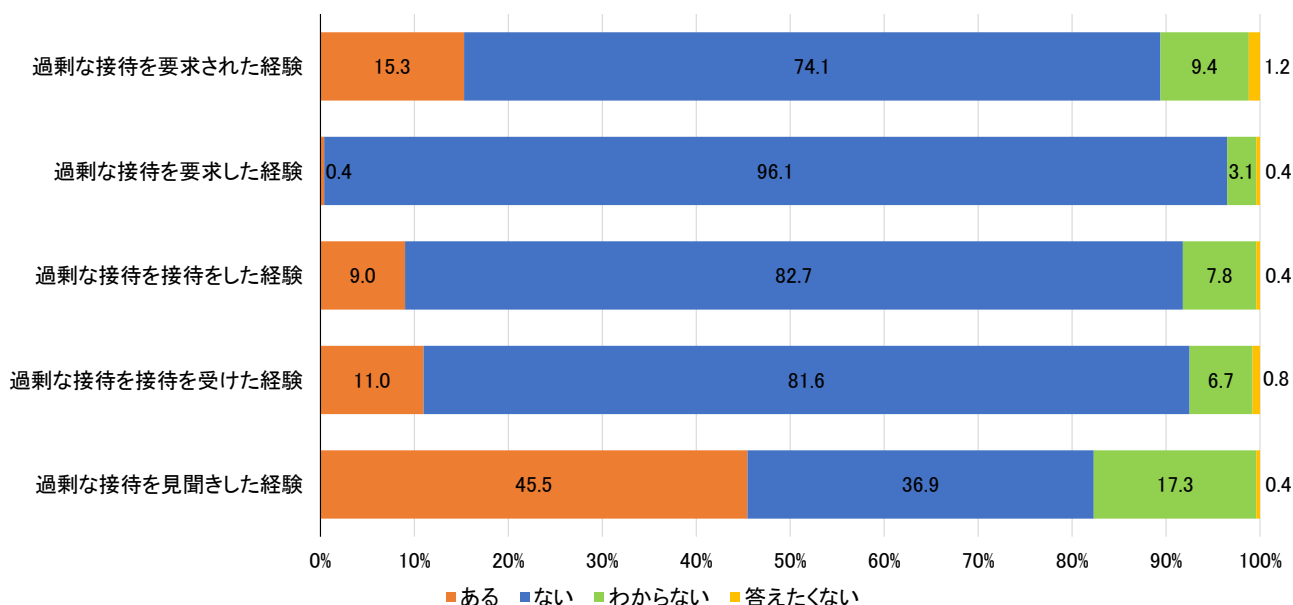
#### Q4. 過剰な接待に関する経験

例「必要以上に豪華な、相場を大きく上回る過剰な接待を要求されたことがある」

##### Q4. 過剰な接待に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
過剰な接待を要求された経験	39名(15.3%)	189名(74.1%)	24名(9.4%)	3名(1.2%)
過剰な接待を要求した経験	1名(0.4%)	245名(96.1%)	8名(3.1%)	1名(0.4%)
過剰な接待を接待をした経験	23名(9%)	211名(82.7%)	20名(7.8%)	1名(0.4%)
過剰な接待を接待を受けた経験	28名(11%)	208名(81.6%)	17名(6.7%)	2名(0.8%)
過剰な接待を見聞きした経験	116名(45.5%)	94名(36.9%)	44名(17.3%)	1名(0.4%)

N = 255



「上記の (1) ~ (5) のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。

それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください。」

「●●※事務所名」担の受ける過剰な接待は他部署でも有名(40代男性・メディア関係者)
つい先日。担当記者が某事務所のまだ無名の若手タレントのすべてのコンサートに行けと言われたと聞いた。(40代女性・メディア関係者)
高級電化製品や現金受け渡し(50代女性・その他)
歌番組において、特定のグループの楽屋だけ、他の出演者とはくらべものにならない位広くて豪華な部屋が用意されていると聞いた(30代女性・メディア関係者)
アイドルやモデル、アーティストを使った性接待(50代男性・出演者)
2013年頃、「●●※事務所名」事務所との打ち上げなど(40代女性・メディア関係者)

車を買ってもらったり、マンションは借りてもらっていたり…(50代女性・出演者)
2004年ごろ、担当していたある大手企業の広報担当者に都内の高級和食店で食事と、2次会でのクラブで接待を受けました。(50代男性・メディア関係者)
ある電力会社が、その地域の民放関係者を、核施設視察の名目で欧州旅行に招待(50代男性・メディア関係者)
2000年頃。(50代女性・メディア関係者)
2018年ごろ。テレビ局職員が、あるスポーツ連盟のメンバーに、高額な品物をプレゼントして接待していたと聞いたことがある。(20代・メディア関係者)
2000年より前にバブリーな話があったのは聞く(40代女性・メディア関係者)
金で人脈を買っているような、振る舞いや待遇をする会社や団体は、映画にはあり、具体例も耳にしている。しかしながら、大手マスコミはそう言ったことは一切報じない。(30代男性・その他)
レコード会社時代に、ある芸能事務所主催のゴルフ大会に出席したところ、商品が高級輸入車で、それを買ってしまったため抜き差しならない関係性になってしまった上司の話をきいたことがある。おそらく80年代～90年代の頃の話と推定。(40代男性・その他)
料理屋で接待 (40代女性・出演者)
過剰な接待は恒常的に発生している。明確に要求されることは無くなったが、「空気を読む」という形で対応する場合が多い。特に自治体や政府関係者は「慣習として」そのような接待を期待することが多い。(40代男性・イベント関係者)
昔は原子力関係は豪華だったという噂を聞いた(20代男性・メディア関係者)
バブル前後がとても多かった(60代男性・イベント関係者)
音楽業界は90年代までは派手でした。(50代男性・その他)
20年前、情報番組のとあるディレクターが「●●※団体名」の取材を独占しており、そのディレクターに頼めば皆招待券をもらえたり、グッズをもらえたりと何かしら融通をきかせてもらっていた。これは他の局、他の番組でもあったと聞いたことがある。(50代男性・メディア関係者)
13年ごろ元請けとなる会社への過剰な接待を目撃した(50代男性・その他)
「●●※事務所名」の新年会は有名だったが、一人1万円のお年玉が過剰かどうかは判らない。(60代男性・メディア関係者)
有名度、資金、コネクション、男性、それらがあれば誰でも接待を当たり前のツールとして使います。(30代女性・その他)
2000年代(30代・その他)
大企業の取材をしていると、なぜか銀座で幹部と飲み食いしながら話すケースを見聞きます。取材費という名目で領収書を切り、寿司屋などで会社幹部に奢るついでに豪遊している人もいます。(20代男性・メディア関係者)
2015年ごろ 主に大手広告代理店担当者に対して、高級寿司や高級焼肉などの接待を、会社・上司の指示で行った 男性社員と担当者は3次会と称して、会社の費用で銀座等のクラブや性接待のお店へ行っていた(30代女性・メディア関係者)

1998年～2018年くらい？接待が通常だし、「●●※事務所名」は仲良しグループで全て決まるから新規は入れない、紹介がないと関われないと言われていた(40代女性・事務所関係者)
「●●※団体名」(50代男性)
毎年正月には芸プロ幹部から有名演出家たちに超豪華なお節料理の差し入れが自宅に贈られていた。(30代女性・その他)
2000年にセクハラの激しい俳優の座敷に呼ばれて朝の7時までつき合わされた。(50代女性)
2018年頃、俳優をもてなすために設けられたクラブでの接待など(20代・出演者)
2008年～15年にかけて ロケ先のホテルの部屋に女性タレントがやってきて「事務所に言われていますから」と帰らなかった事が何度もある。枕営業で有名な事務所があった。(60代男性・メディア関係者)
2017 高価なブランド品の贈り物を何度も受け取った友人(バレリーナ)が数人いた(40代男性・出演者)
音楽大学で教授のお気に入りだった同級生が主役を演じていました。(50代女性・出演者)
常に男達にセックスを要求される。(20代女性・出演者)
アーティストへの待遇を何でもかんでも聞きすぎて現場に還元できていない。 (30代女性・その他)
テレビ局の幹部から打ち合わせとして呼び出され、女性が接待する高級クラブへ行った。(30代男性・その他)
1992年ごろ 高級寿司屋で複数回接待受けました。(60代男性・その他)
2018年から最近に渡るまで、女優たちから「性的要求をされた」「強引ではないが干される不安がある状態で誘われた」を10回以上聞いたことがある(30代女性・その他)
受けたのは1998～2001年、海外など。その時は考えなかったが、旅行先で仕事をする必要がない場合もあり、後に接待をされていたのかもしれないと考える。 1998年～2010年頃、大手出版社で執筆している男性漫画家達について過剰な接待の話をししばし聞いた。話している側は悪いことではなく、武勇伝のように語っていた。(50代女性・メディア関係者)
ホテルの部屋を一緒にするのが当然という契約ですすめられそうになった(40代女性・出演者)
2-3年前。出演者の隣について酒を注いだり、つまらない話を数時間聞かされるなどのことはあった。キャバクラにいってくれと思った。(30代女性・出演者)
芸能ではなくて政治家だが、90年代までは好色で有名な政治家が女性記者をプールに集めたパーティなどをしていたと聞いた。また、あるテレビの政治記者が、「●●※ブランド名」のネックレスをしていたが、それは政治家から買ってもらったと聞いた。(40代女性・メディア関係者)
1990年代にタクシー券は使い放題だった。取引先のプロデューサーへの接待は2018年頃まで続いた。プロデューサーが会食の設定から料理の注文まで自分の好きなようにし、代金を子会社に支払わせるというものだった。(50代女性・メディア関係者)
2013年から数年間がピーク。付き合いの飲み会から帰れない、わざと終電を逃すようにして帰してもらえない、無理やり持ち帰ろうとされるなど(30代女性・出演者)
劇評家への接待は問題だと思います。(40代)
2011年秋頃、イベント、ラジオ出演等の見返りに愛人関係を求められた。(30代女性・出演者)

出演アーティストのケータリング品がメーカーや金額を指定されたことがあります。(50代男性・その他)

※性加害内容に触れます

2018年頃 地方ロケで社長(プロデューサー)が部屋を1室しか取らなかった。あまり思い出したくないので断片的に、飛躍した書き方になってしまうが、家庭不和の相談をされそうになったり、近くの美味しそうな高級料理店を調べるように指示されたり、無理やりタクシーに乗せられてキャバクラに連れて行かれたりした。(30代・メディア関係者)

2019年頃、映画プロデューサーから2人きりでの食事や遊びの誘いに応えるように言われた。(20代女性・その他)

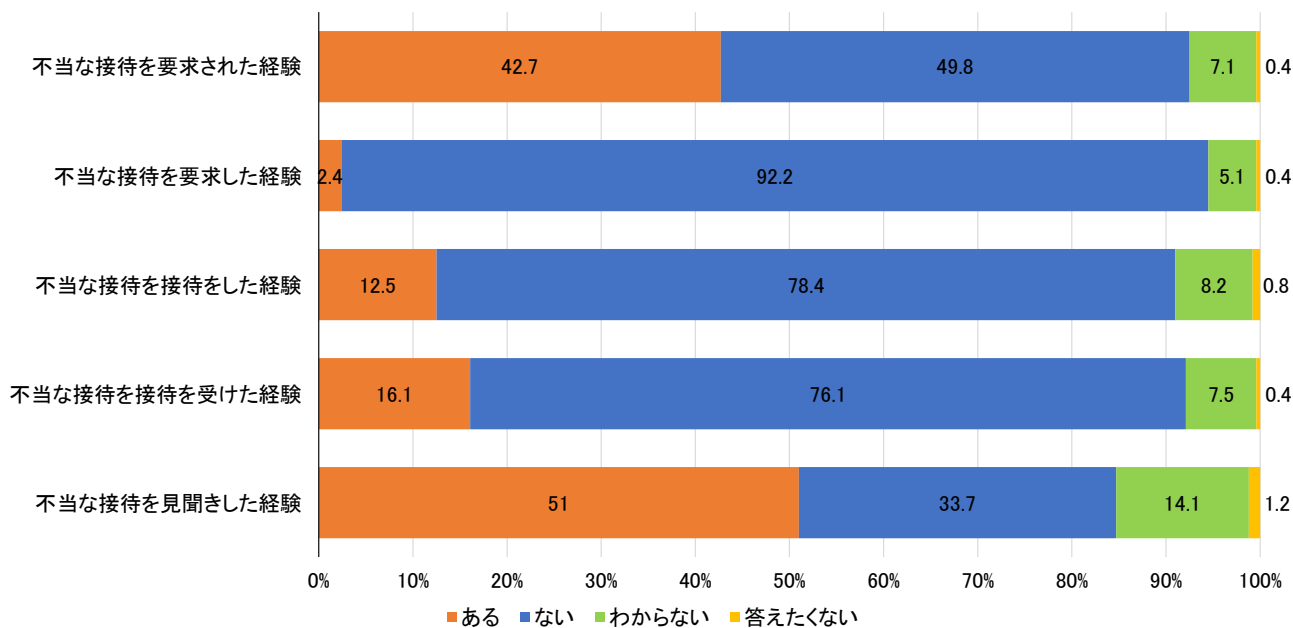
## Q5. 不当な接待に関する経験

例「急な呼び出しや無茶な命令の強要など、強制的で不当な接待を要求されたことがある」

Q5. 不当な接待に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
不当な接待を要求された経験	109名(42.7%)	127名(49.8%)	18名(7.1%)	1名(0.4%)
不当な接待を要求した経験	6名(2.4%)	235名(92.2%)	13名(5.1%)	1名(0.4%)
不当な接待を接待をした経験	32名(12.5%)	200名(78.4%)	21名(8.2%)	2名(0.8%)
不当な接待を接待を受けた経験	41名(16.1%)	194名(76.1%)	19名(7.5%)	1名(0.4%)
不当な接待を見聞きした経験	130名(51%)	86名(33.7%)	36名(14.1%)	3名(1.2%)

N = 255



「上記の (1) ~ (5) のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。

2005~10年頃。女性スタッフ（非正規）を連れて飲み会の呼び出し多数。断ると次の日や後々仕返しを受ける。

芸能部門やドラマ部門では度を越したこうした接待が武勇伝や後輩教育として吹聴されていた。(40代男性・メディア関係者)

音楽業界の先輩が後輩のクレジットカードで買い物をしていると本人の口から聞きました。また、事務所の社長に売り上げが悪い事で呼びだされ、暴行を受けました。(50代男性・事務所関係者)

前述のとおり(40代女性・メディア関係者)

大量なアルコール摂取(50代女性・その他)

大きな芸能の祭典番組の後、先輩が、大御所歌手の事務所の、夜を徹した打ち上げに、断れずに参加させられていた。(40代女性・出演者)
2010～2013年あたり、「●●※事務所名」の役職(現在「●●※グループ名」の役職)(40代女性)
25年前くらいから今まで、力のない個人や事務所は大きな会社の要求にはNOと言えます。(50代男性・出演者)
2003年ごろ、編集プロダクションからの急な呼び出し、および深夜早朝の3時間ほどに及ぶ言いがかりや叱責(50代女性・メディア関係者)
数年前、時間をかまわず電話をかけてきて怒鳴り散らす作者がいました。私だけではなく、よく聞く話です。作家の不祥事は週刊誌が書かないので、やりたい放題です。最近は、すぐ編集者の不備をツイッターにつぶやいたり、担当者を替えさせたり、ハラスメントの温床になっています。心を病んでやめた人は数えきれないくらいいます。それに対応しない会社としてもどうかと思います。売れる作家なら何でもアリなんではないでしょうか。「●●※事務所名」と同じ構図です。上長も「編集者は奴隷だ」と公言しており、モンスターな作家を育てているのは出版社であり、自業自得だと思う面もあります。使い捨てされる現場の編集者が気の毒です。 たいていの作者はで、小さなトラブルはありながらも一緒に作品を作るパートナーとして認めてくれるので、何とか仕事は続けられています。 (40代女性・メディア関係者)
政治家による土日の強制呼び出し(40代男性・メディア関係者)
「●●※特定可能情報」の放送局で、女性アナウンサーや契約キャスター、スタッフを接待要員として局内外の飲み場に呼んでいた。(40代男性・メディア関係者)
映画の宣伝も報道の一部だと思うが、映画宣伝配給の業界から、ひどい接待の話はたくさん聞く。セクハラはまだマシな方で、男性へは飲み会時の暴力や人格否定など、女性は酔わせて性加害なども。(30代男性・その他)
ある年上のステージスタッフの人間から、我々のチームのライブ機材を家で預かっているから取りに来いと命じられた案件。普通に取りにこさせるのではなく、夜遅い時間にピンポイントのスケジュールで呼び出し、雨の降る中待機させられ、「おまえのところの〇〇というスタッフがこれを欲しがっているらしいから、持っていけ」と言われ、運搬の困難な大型の機材を押し付けられた。(40代男性・その他)
常に、24時間スタンバイしなさいという指導を受けていました。(40代男性・イベント関係者)
舞台作品の翻訳を手掛けられた方が出演者に食事の席を度々用意し、出演者が断れない状況を作っていたと聞いたことがある。(30代女性・出演者)
イベント業界ではクライアントが無茶な要求をしてくるのは一般的。不測の事態が故に急な指示を受けるのはしょうがないが、明らかに先方に非があるのにその穴を埋めるために無茶な要求を受けることはよくある(40代男性・イベント関係者)
2010年ごろ、テレビ番組を作っていて、休日に直し原稿を送れ、と要求された。(40代女性・メディア関係者)
2018-19年頃、社長とプロデューサーからの連絡に対して30秒ほどで反応しなければ今後仕事を与えないというルールに対応していた(ただし両者の気分が変わる)(40代・出演者)
2000年代、広告プロダクションのプロデューサーが後輩を飲み会に呼びつける(50代女性・その他)



<p>5年ほど前、仕事をいただいていた会社の社長に夜中に呼び出され、何かと思ったら飲み会の席だった。電車は無かったのでタクシーで行き、お酌をさせられ、帰りには後ろから抱きつかれ、卑猥な発言もされた。(40代女性・その他)</p>
<p>首都圏のラジオ局で、後輩が、いわゆる「王様ゲーム」の相手をさせられたと聞いたことがある。20年ほど前です。(50代女性・その他)</p>
<p>今年。海外旅行を事実上キャンセルさせられた。(20代男性・メディア関係者)</p>
<p>2013年頃。地方ラジオ局にて。 ノーギャラで宿泊が必要な取材を局から強要された。(当時は私が一番年下だったのもある)しかもノーギャラなことは、取材の後に判明。 局担当者の言い分としては「フリーランスは仕事をふってもらえるだけしあわせだ。相手は有名海外アーティストだから、次の仕事に繋がるかもしれないよ?」と、有耶無耶に押し切られた感じ。  後日取材したアーティストのコンサートに関するCM枠があったが、なぜノーギャラだったのか…?(局とレコード会社の、何かしら個人的な口約束に巻き込まれた?)(40代女性・出演者)</p>
<p>80年代から現在まで(60代男性・イベント関係者)</p>
<p>これも普通にあったと聞いています。業界にはヒエラルキーが存在しているのです。ただ、私のような末端というか枝葉のような場所にいる場合、直接の被害者や加害者になることは無いです。(50代男性・その他)</p>
<p>2010年代だったと思うが、有名な年配男性の舞台演出家にハラスメントを受けていた。彼の演出の舞台に俳優として参加したのだが、舞台が終わっても、その男性の勝手な都合で急に呼び出されて食事や飲み会に行き世話をしたり、鬱だからそばにいて欲しい云々と言われて家にも呼び出されていた。 私は当時その男性と恋愛関係になったのかと思ったので、できる範囲で要求に応えたが、後で聞くとそのような相手が同時期に10人以上もいたと知り、恐怖した。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>スポンサーに対しての、女性アナを伴った接待。局の営業担当者が主導した。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>10年ほど前、当時所属していた芸能事務所の社長から呼び出された「飲み会」で、所属タレントだけでなくフリーのタレント達と呼ばれ、ホステスのような扱いを受けたということが何度かあり、プロデューサーや大手企業の男性が気に入ったタレントがいれば個人的に連絡先を交換するよう斡旋していた。(30代女性・出演者)</p>
<p>とあるプロデューサーに挨拶に行くときに事務所から「もっと可愛く化粧をして肌を露出した服を着ろ」と言われたが、自分の表現したいスタイルと違うので断ったら挨拶したいがなくなった。(40代・出演者)</p>
<p>あるあるの話で当たり前すぎて、あの世界は倫理観壊れてます。友人はそのホモソーシャルな世界についていけずに自殺しました。(30代女性・その他)</p>
<p>2000年代 突然連絡が来て、「打ち合わせ」だと言われました。しかし行ってみると相手のただの愚痴を3時間聞くだけで打ち合わせでもなく、仕事にもなりません。また、同業者に呼び出され、やりた</p>

くもないゲームを買わされ、6時間付き合わされました。その同業者は話の中で編集者にコネがあると言っていました。時間を無駄にし疲れました。(30代・その他)
芸の肥やしにラブホテルに行くべきだと言われ連れて行かれた(20代女性・出演者)
女性記者が夜中になって取材先から呼び出されるという話はよく耳にします。(20代男性・メディア関係者)
2015-17年ごろ 男性局員、広告代理店担当者、担当企業の宣伝部員などから終業時間後に個人携帯で電話がかかり、飲み会に来ようしつこく誘われる。 接待飲み会の場でプライベートの交際関係や、性経験、女性の容姿についての会話に参加させられる(30代女性・メディア関係者)
1996~2018年頃、メディア担当者に急に呼び出され酒を飲もうと言われることに対応できないので業界を辞めました。(40代女性・事務所関係者)
2000年から2002年ごろ、急な制作の直しやダメ出しの連絡が終電に間に合わない時間にあり、仕方なく言われた場所に出かけると俳優呑み会の相手をさせられた。(50代女性)
2006年ごろ取材相手に「見本誌が届いていない」と難癖をつけられ、何度か再送したがそれでも届かないという電話を受け、直接持って行った(40代女性・メディア関係者)
2018年ごろ、先輩俳優たちからの飲み会参加への強要など(20代・出演者)
西麻布のバー 六本木の居酒屋 赤坂のクラブは大手タレント事務所のツケでOKだった(60代男性・メディア関係者)
2015 振付の仕事で夜中に電話、メールなど数ヶ月にわたり、演出家から送られてきた
2018-2022 忘年会などの恒例行事と題して行う飲み会など(40代男性・出演者)
いつでもどこでも男達にセックスを要求される。(20代女性・出演者)
飲み会に呼び出される 編集集中の機材のトラブルなどで呼び出される。仕方ないことだと受け入れている人がほとんどだと思う。(20代女性・メディア関係者)
強制的に有名な音楽プロデューサーの隣に座らされてエグい下ネタを聞かされ続けて気持ち悪くなってトイレで吐いた。席を選ばせてもらえず変えようとしたら、その人ではない偉い人に怒られた。(30代女性・その他)
力の強い男性に女性研究者が不当な扱いを受けることは日常茶飯事。「●●※政府委員会名」に入るような社会的地位があっても同じだと思う。(50代女性・その他)
事務所にPから電話がありマネージャーに飲み会へ行くよう言われた。夜中に呼び出される。腕を組まされる、膝の上いきなり頭を載せられる、キスしてと言われる、胸のサイズを聞かれる、ホテルに行こうと言われる、隣に座るよう言われる、頭に手を載せられるなど。笑顔でかわすとその場で怒鳴られたり、悪い噂を広められたり。18~1年前。(30代女性・出演者)
断れない飲み会への参加等(30代男性・出演者)
コロナ前までは、駆け出しのお笑い芸人が深夜にテレビスタッフに呼び出されるのが日常茶飯事だったことは、お笑い芸人自身がよくメディアで語っていた。(40代男性・メディア関係者)

2018年ごろ、深夜に電話をしてきて作業修正を要求された。2020年ごろ、打ち合わせで呼び出された後、別件があったという理由で4時間現場で待機させられた。(30代男性・その他)
接待ではないが。急用だといって上の人間から呼び出されて個人的な要件を処理させられたり、また、付き人などが振り回されて夜、終電を逃すなどをしたところをみた(50代女性・その他)
声優、吹き替え業界でのキャストと制作サイドの接待について(40代男性・その他)
楽屋で役者さんがそういう話しをしているのを何度か聞きました(30代女性・その他)
先述した映画プロデューサーからは深夜のお呼び出しなどもあった(30代女性・その他)
1990年前後。アシスタントの立場のとき、一旦帰宅しているのに深夜に宴席にしばしば呼び出された。
特定の劇団に所属している方から、「北朝鮮にいるような気持ちだ」と上級生の傍若無人さを相談された。業務以外に有名スポーツ選手との合コンを強要されていた。(50代女性・メディア関係者)
電車のない時刻にタクシーで家まで来い(50代女性・出演者)
急に呼び出され仕事と言われたのに行くと言われた(40代女性・出演者)
2018年12月です。(50代女性・その他)
イベント制作の知人から、有名タレントの呼び出しに24時間体制でどんな無理難題にも答えられなければ、イベントへの出演がキャンセルされてしまうという話を聞いたことがある(20代女性・イベント関係者)
2008年初夏頃、「師匠」だった人物宅への夜中訪問→謝罪。(40代女性・その他)
あるあるなので、あまり細かくは覚えていない。(30代女性・出演者)
頻繁に呼び出され、人に取り囲まれて詰問を受けることが続いたことがある。(50代女性・出演者)
残業していると、近所で飲んでいる部長や編集長に呼び出されるのは2000年代までであった。(50代女性・メディア関係者)
歌舞伎の俳優などには、急で無茶な要急をされる方がいる傾向が強いです。取材で知遇を得たライターなどを深夜のファミレスに呼び出し、相談を持ちかけるといったような。 自分も公演制作発表があるので、「●●※企業名」の担当者から呼び出されたことがあります。「本人がとても気にされる方なので」ということでしたが、すでに半年前から雑誌で特集を企画し、前パブ(前記事)で取材済みで、編集作業中だったのに呼び出されてリソースを削がれ、残業代のない残業をする状況に陥ったという事実があります。しかし、制作発表に出向いたことへの労いやフィードバックもありません。極めて自己中心的で世間知らずな傾向は、「●●※事務所名」・歌舞伎・「●●※団体名」といった業界には存在していると思います。(50代男性・メディア関係者)
この質問に該当するのかわかりませんが、前職に就いている間(2009～2012頃)は深夜に接待の応援に来るよう指示されることはよくありましたし、同僚にもよく指示があったと記憶しています。(30代男性・メディア関係者)
突然夜中に酔っ払って電話がかかってきて、性的な悩みと称した性的な自慢話を聞かされた(30代女性・イベント関係者)
約6年前に勤めていた事務所で、社員旅行がありました。当初イベントの仕事でスケジュールが厳しいので参加はできないと言ったのですが、社長直々に「なんで参加できないんだ。参加しろ」と強制参加させられました。

社員旅行では、参加した社員をお互い良いところを褒めるみたいなレクリエーションなどあったりして、若干宗教じみていたのが気持ち悪かった印象があります。(30代女性・事務所関係者)
2013年ごろから数年間。主に映画監督に急に呼び出されたりなど(30代女性・出演者)
前項と同じ(30代女性・出演者)
<p>2018～2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影終わりに監督の家まで機材を運ぶのを手伝うよう指示を受ける。また、24時間以上働いていたため監督の家に着いてから倒れていたら、覆い被さってきた。</li> <li>・プロデューサーにタクシーに乗せられキャバクラに連れて行かれる</li> <li>・プロデューサーにご飯に誘われたら、クライアントがいて、焼き肉を焼かせられるなどした。やんわりやらないでいたら、愛嬌の問題の話をやんわりされた。</li> <li>・監督が、どうしてもと、深夜3時くらいに機材を取りに家に押しかけてきた。(30代・メディア関係者)</li> </ul>
深夜2時に男性のプロデューサーから電話がかかってきて、「仕事の話がしたい」と飲み会に呼ばれた。(30代女性・出演者)

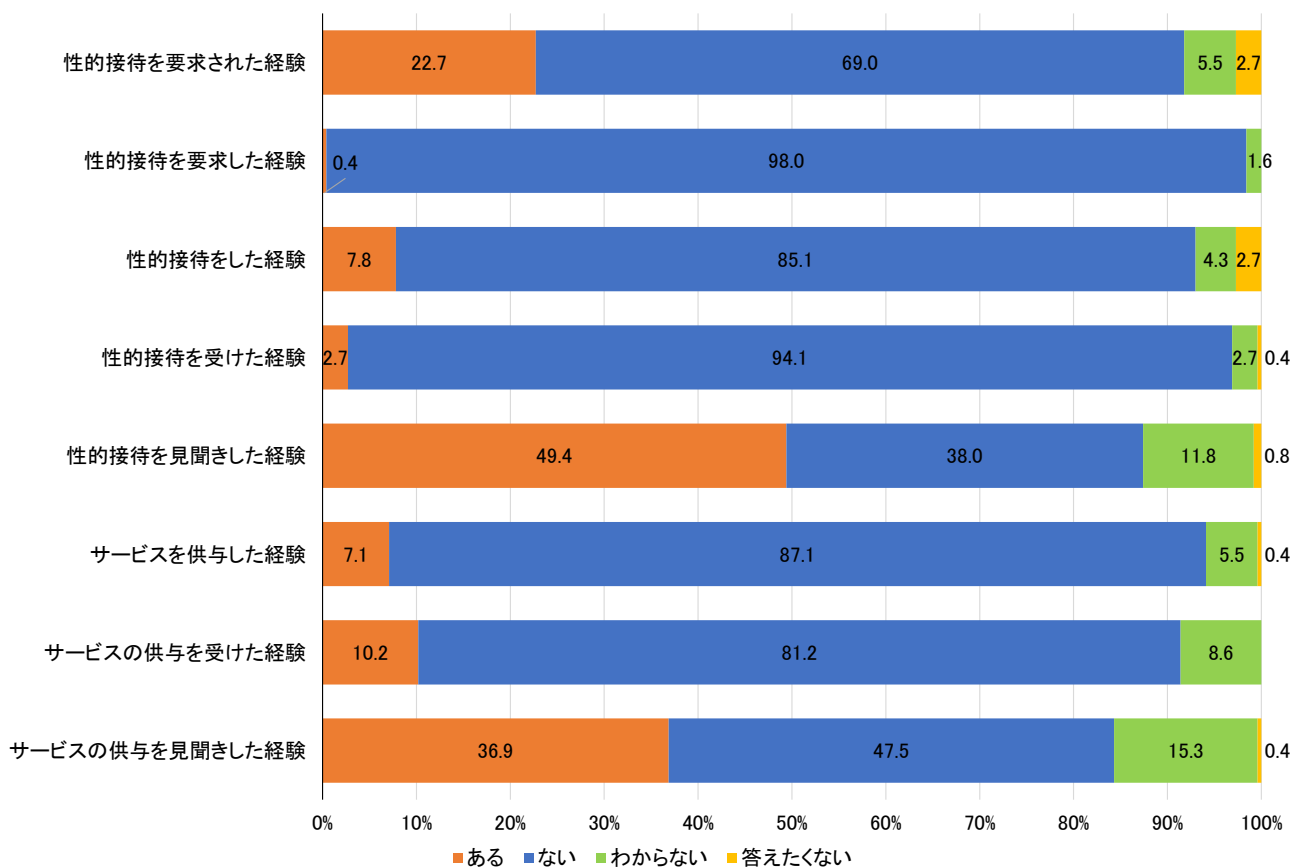
## Q6. 性的接待と物品やサービスの供与に関する経験

例「性的接待を要求されたことがある」「仕事あっせんなどの見返りとして物品やサービスを供与したことがある」

Q6. 性的接待と物品やサービスの供与に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
性的接待を要求された経験	58名(22.7%)	176名(69%)	14名(5.5%)	7名(2.7%)
性的接待を要求した経験	1名(0.4%)	250名(98%)	4名(1.6%)	0名(0%)
性的接待をした経験	20名(7.8%)	217名(85.1%)	11名(4.3%)	7名(2.7%)
性的接待を受けた経験	7名(2.7%)	240名(94.1%)	7名(2.7%)	1名(0.4%)
性的接待を見聞きした経験	126名(49.4%)	97名(38%)	30名(11.8%)	2名(0.8%)
サービスを供与した経験	18名(7.1%)	222名(87.1%)	14名(5.5%)	1名(0.4%)
サービスの供与を受けた経験	26名(10.2%)	207名(81.2%)	22名(8.6%)	0名(0%)
サービスの供与を見聞きした経験	94名(36.9%)	121名(47.5%)	39名(15.3%)	1名(0.4%)

N = 255



「上記の(1)～(8)のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。  
それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください。」

地方の強豪高校バスケットチームを取材した女性ディレクターが監督から性接待を強要され、相談した上司も接待に応じるよう命じた。
PR会社が当該商品などを取材ディレクターに供与していた(40代男性・メディア関係者)
前述のとおり(40代女性・メディア関係者)
「●●※役割名」が番組につけて貰うために、会社トップと性的な関係を持つことは複数から聞く。(50代女性・イベント関係者)
高級電化製品(50代女性・その他)
体の関係を持つことを要求され、見返りに好条件での仕事をくれるなど。(40代女性)
20年前頃から10年前頃まで、仕事をあげるかわりにキックバックを要求する人たちが結構いた(50代男性・出演者)
2012-2020年ごろに、数えきれないほど経験しました。すべて未遂に終わらせましたが、逆恨みは買いましたし、復讐めいたことがその後数年続いたりしました。(50代女性・メディア関係者)
著名な人物が望むので、上司から混浴を要求されたと聞いた(50代女性・メディア関係者)
時代なのかもしれませんが、わたしが就職したときは就職氷河期で、4年生の秋になってなんとか会社が決まりました。大学は上位に入る国立大学です。その後、メディア関係を志望していたので200社くらいに履歴書を書いて転職できました。 修飾した会社では、セクハラもパワハラも横行していましたが、時代もあり、当たり前だと思っていました。接待といえるほどではないですが、こちらが仕事をお願いしている外部のライターからひどいセクハラを受けました。20年ほど前のことです。その人は既婚者でしたが、二人になると決まって「ねえねえ、キスしてよー」と言ってきます。打ち合わせは毎回、カラオケボックスでやろうと言ってきました。出張も日帰りだと「なぜ泊りにしないのか」と不機嫌になります。それが高じるとわたしの上司にわたしのダメなところを告げ口したりするのです。あるとき、毎回キスしようしようと言ってきてうっとうしいので、キスしてやりました。後悔しかないのですが、それほど追い詰められていたんだと思います。 就職がなかなか決まらず、もしやめたら再就職するのはほとんど不可能で、何とかここにしがみつかなくてはならないと思い、「これがこの業界では当たり前なんだ」「このくらい受け流さなくてはやっていけないんだ」と思っていました。
(40代女性・メディア関係者)
政治家や官僚による女性記者への不適切な言動(40代男性・メディア関係者)
最初の質問。接待の場でセクハラ受けた(60代女性・その他)
2017年頃、「●●※特定可能情報」の放送局で、高校のバスケット強豪チームの監督が取材の見返りとして女性ディレクターと女性アナウンサーにそれぞれ性接待を強要してきた。上司側もそれを知っていたので女性を担当させていた。(40代男性・メディア関係者)
2010年代、所属の制作プロダクション社長によるセクハラとパワハラ(50代女性・メディア関係者)
他社の記者が担当する自動車メーカーから車を供与されていたと聞いたことがある(40代女性・メディア関係者)

枕営業として、監督と寝たから、役をもらえたという話は具体的によく耳にしていた。現在は少なくなっているかもしれないが、実態はわからない。(30代男性・その他)
レコード会社時代、ある女性プロモーターが、ラジオ局のパワープレイ獲得のため、投票権を持つディレクターと性的関係を持ったと聞いた。
(8) に関しては、先に述べた賞品として高級外車を受け取った例。その後、契約その他販促プランの面でその事務所を優遇せざるを得なくなったと聞いた。(40代男性・その他)
集客(40代女性・出演者)
2013年ごろ、テレビドラマのサブキャストをしていた男性俳優がプロデューサーに呼び出され性的接待を強要され断って俳優を辞めたと聞いた。(30代女性・出演者)
2010年頃、オーディションの最終審査は枕営業と聞かされた、という話をまた聞きした(40代・出演者)
バブル前後に多かった(60代男性・イベント関係者)
性的接待に関しては噂レベルでしか聞いたことはありません。7,8に関しては90年代まではそのための予算枠があったと聞いています。(50代男性・その他)
前ページに書いた通りです(40代女性・メディア関係者)
クライアントからの物品提供(40代男性・メディア関係者)
一つ前の回答になります。(50代男性・メディア関係者)
性的接待の話はありすぎて、どれを書けばいいかわからない。思い出そうとすると辛くなってきたので、いまこの詳細は書けない。(30代女性・出演者)
13年ごろ球場のコンサート現場にて事務所の社長が来て、明らかに不審な時間帯に空白の周囲が稼働しない時間があり現場が止まっていた。 が、現場のTopが指摘しないの誰もがでスルーしていた(50代男性・その他)
友達の男性俳優は新作の台本をチラつかせた女性の偉いスタッフの夜の相手をさせられた、役がもらえるならそのくらいのことは頑張れる、と言っていた(40代・出演者)
「●●※個人名」の「●●※作品名」で脇役の女の子たちがホテルに呼ばれ、行かなかった子のセリフはなくなり、行った子のセリフが増えた話を聞いたことがある。(50代男性・その他)
仕事上の礼を言われることはある。例えば盆暮れの贈答品はどう考えるか。(60代男性・メディア関係者)
常にどこでもあります。家庭やパートナーが居ても、有名でも無名でも、金があってもなくても、そのつもりがあってもなくても、倫理観壊れてます。あるある過ぎて何時間でもお喋りできます。書ききれない。(30代女性・その他)
2018年ごろ、同僚の女性記者が取材先の警察幹部にホテル行こうと誘われていました。大企業を取材すると、よくお土産を持たせようになります。時には数万円するような高価な製品のケースもあります。受け取る人は受け取るみたいです。あと、大企業の中には交通費含めて全額相手持ち、夜は豪華接待付きの取材旅行を組む会社もあります。(20代男性・メディア関係者)
元「●●※団体名」の女優が「●●※個人名」に性接待を強要された(30代女性・イベント関係者)
・レア物の観戦チケットの個人的な手配と広告出稿のバーター

<p>・社費で接待として風俗店舗を活用している先輩社員がいた(上司黙認)</p> <p>・クライアント男性担当者からホテルに誘われる、ダーツバーに誘われて不用意に身体を触られるなどが複数回あった。</p> <p>会社に対して訴えても、黙殺された。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>業界特有の性接待やキャバクラなどの慣習が非常に嫌だった。「●●※企業名」も乗っかってきて気持ち悪いとしか思わなかったが、それが普通にだった(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>「●●※団体名」(50代男性)</p>
<p>前の質問と同じ(50代女性)</p>
<p>2016年ごろアイドルグループの大手グループへの性的接待事情(20代・出演者)</p>
<p>前答した2008年から15年ロケ先での女性タレント (60代男性・メディア関係者)</p>
<p>2014 出演を断ると、「●●※省庁名」賞をあげれるからとしつこく家に誘われたことがある</p>
<p>2000-2022 女性ダンサーが監督に誘われて断ると役から外されている 妊娠して墮した女性ダンサーを数人知っている(同意の上ではあるが。)(40代男性・出演者)</p>
<p>性的接待ということかどうかわかりませんが、教授(妻帯者)に気に入られていた学生はその後何年か付き合っていました。当時の話では純粋な恋愛関係というものではなかったはずですが。その学生にも恋人がいたので。(50代女性・出演者)</p>
<p>常に男達にセックスを要求される。(20代女性・出演者)</p>
<p>2015年頃、飲み会でセクハラ発言を受けた。また、男性スタッフの膝の上に乗るよう要求された。(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>女性だから呼ばれたんだろうな。といった現場がある。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>性的接待ではないが撮影の時、セクハラパワハラがひどい映像ディレクターの日はいつも隣で座って仕事しなくてはならず、どんなに椅子を離しても撮影中ずっと身体をくっつけてきて、インカムをオフにして口説いてきたり、それが継続的に数ヶ月、年単位であった。</p> <p>それを目撃したり、相談した人たちは何人もいるが、直接的に助けてくれる人がいなくて、ゴシップネタとして陰で楽しむ男性ばかり。</p> <p>アルバイトの女の子たちが同じ被害に遭わないように自分が在職中は盾になって食い止めていた。(30代女性・その他)</p>
<p>プロデューサー・ディレクター・マネージャーからキスを要求される、腕組みを要求される、付き合おうと言われる、ホテルで裸で待っていた子がいるという話を聞かされる、○○ちゃんは○○してくれたよと延々言われる、何もしないからホテルに行こうと言われる、個室サウナに誘われるなど。</p> <p>風俗接待営業の話をする。18年前～今に至るまで。(30代女性・出演者)</p>
<p>7～8年前、新聞系の記者に某芸能事務所が取材の見返りとして高級な菓子を土産に渡していた。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2019年ごろ、仕事の打ち合わせや雑談の際に噂話として耳にしたことがある。(30代男性・その他)</p>
<p>2010～2015(40代女性・メディア関係者)</p>



1992年ごろ 枕営業の件は二件口頭で伺いました。加えて、枕営業を強いたとして友人の事務所社長が、不起訴でしたが逮捕されています。(60代男性・その他)
1996年、旅公演中に、女優からセクハラなどを相談された。そこから逃れるにはやめるしかなかった。辞めたほうがいとアドヴァイスすることしかできなかった。2005年くらいに、ギャラが払えないからと、別の便宜や物品を渡された。(50代女性・その他)
「●●※個人名」さんがやっていたことは、ずっと「●●※業界名」で行われていたものです。「●●※個人」さんなどもよくお気に入りのお弟子さんのホテルの部屋に入ったりして一緒に寝るなどのセクハラを当たり前に行っていたそうです。(30代女性・その他)
20年以上前の話。愛人契約に関する話をいくつか聞いた。(40代・その他)
数頁まえの質問に答えたように、大手事務所への所属を希望していたときに要求された。作詞分野。 他に、翌朝のロケが早い時、発注側の男性から自宅に泊まるよう強要された。ロケバスが全員の家を回るといった選択肢が無いように伝えられたので、その事実を外部の立場が強い人に伝える等して回避。場合によっては着衣のまま玄関で過ごす等。 特定のアーティストの書籍出版の際、決定権がある事務所幹部に印税の一部を支払うなら出版許可を出すと持ちかけられた。アーティストにはその金銭の存在は話してはいけないという条件。それを呑んだので、自身が利益供与をしたのかもしれないと考える。(50代女性・メディア関係者)
毎年のお中元、お歳暮など(30代女性・出演者)
1990年代、今で言えばレイプ(40代女性・出演者)
2018年の12月です。突然キスをされ、男女関係の強要をされました。(50代女性・その他)
取引先企業の社員との恋愛を推奨していたり、組織にとって利のある人間と婚姻した社員の地位が上がるといった状況があった。(若手社員の間では「摂政政治」と呼ばれていた)(20代女性・イベント関係者)
他の会社だが、アナウンサーと社長が性交渉をしたと聞いたことがある。(30代女性・出演者)
飲み会帰りのタクシー内でホテルに行こうと誘われたり、著者に尻や腿をなでられることは1990年代には普通にあった。アルバイトが社員の愛人のようになって仕事を確保することも普通にあった。(50代女性・メディア関係者)
メディアに関わる立場でそれなりのポジションにあれば、物品やサービスの供与を受ける機会はあると思います。ただし、社会常識を超えた便益供与は受けたことはありませんし、あってもお断りしています。(50代男性・メディア関係者)
自分自身はありませんが、事務所のマネージャー職の方に「うちの事務所はまだ全然ホワイトだよ、枕とかなないから。」と聞いたことがあります。あるところにはやはり本当にあるのか、と思った記憶があります。(30代女性・事務所関係者)
無理やりホテルに連れ込もうとする、必要以上のお酒を飲ませて酔わせて持ち帰ろうとする、出演や仕事の約束をちらつかせたりキャリアや立場の違いを盾に、こちらが反論・抵抗できないように仕向ける(30代女性・出演者)
演劇賞も見直しが必要だと思います。(40代)
前項と同じ(30代女性・出演者)

2018年

タクシーに乗せられキャバクラに無理やり連れて行かれる

僻地の地方ロケで客室を一部屋だけしか取ってもらえず、客室露天風呂を見るように言われたり、家庭内不和の相談を持ちかけられる。(不幸中の幸いで、接触などの行為は免れている)(30代・メディア関係者)

2019年頃、映画プロデューサーから2人きりで食事や遊びに行くよう求められるなかで性的な接待も求めるような発言やメッセージがあった。(20代女性・その他)

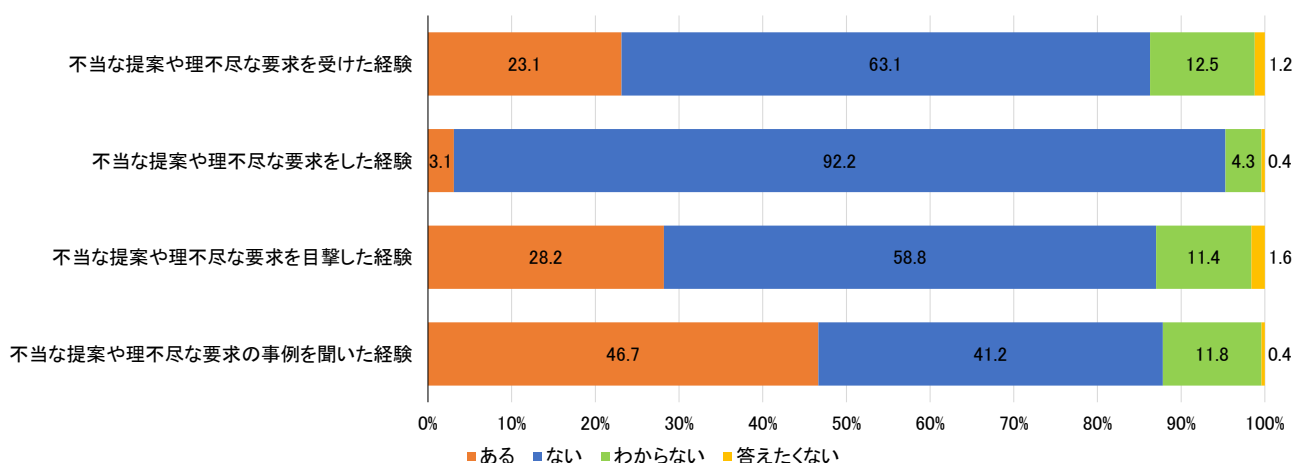
## Q7. 不当な提案や理不尽な要求の経験

例「バーターの押し付け」や「特定事務所の排除」など、不当な提案や理不尽な要求を受けたことがある」

Q7. 不当な提案や理不尽な要求の経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
不当な提案や理不尽な要求を受けた経験	59名(23.1%)	161名(63.1%)	32名(12.5%)	3名(1.2%)
不当な提案や理不尽な要求をした経験	8名(3.1%)	235名(92.2%)	11名(4.3%)	1名(0.4%)
不当な提案や理不尽な要求を目撃した経験	72名(28.2%)	150名(58.8%)	29名(11.4%)	4名(1.6%)
不当な提案や理不尽な要求の事例を聞いた経験	119名(46.7%)	105名(41.2%)	30名(11.8%)	1名(0.4%)

N = 255



「上記の(1)～(4)のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。  
それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください。」

年末の歌番組で芸能部門が毎年頭を悩ませている(40代男性・メディア関係者)
前述のとおり(40代女性・メディア関係者)
バーター。(50代男性・その他)
バーターは日常茶飯事で、当たり前どこでも、今でも行われています。(60代男性)
いま現在、局から事務所に便宜を図るような動きの渦中にある。(40代女性・出演者)
「●●※グループ名」が売れ始めた頃に「●●※事務所名」から横槍が入ったという噂は聞いたことがある。(50代男性・出演者)
20年前から今まで、どのような業界にもある。特にテレビに関連するものが多いと感じる。(50代男性・出演者)
2013年頃、特定の新人グループのテレビ出演の強要、同じころ音楽番組への大物歌手を出演するような要求(司会者がその事務所のタレントだったため)、事務所の人気アーティストを出演させるかわりに古株の出演の強要など(40代女性・メディア関係者)

「●●※グループ名」や「●●※グループ名」など超人気タレントを表紙で起用するために、他のそれほど売れていないタレントの表紙を要求されたことがある。(50代女性・メディア関係者)
2010年頃から「●●※特定可能情報」の放送局で、「●●※事務所名」が出る番組ではなるべく男性俳優やアイドルを出さないようにする不文律があった。そのためジャニ担に相談することが求められるが、ジャニ担が横柄な態度のため局内で響きを買っていた。 「●●※特定可能情報」を出演させるために、その事務所のお笑い芸人を重用したり、その事務所に所属になった元同局アナウンサーを積極的に番組採用していた。(40代男性・メディア関係者)
ディレクターなど制作者の就労には「仁義」という不文律がまかり通っていて、例えばAプロダクションを辞めて、Bプロダクションに移ると、同じ番組にはいられなくなる。(50代女性・メディア関係者)
直接の関与はないがバーターの押し付けは常時行われていると思っていた(40代女性・メディア関係者)
オーディションの型式だとしても、完全に公正に行われることは、滅多にありません。(40代男性・イベント関係者)
2022年ごろ、映画に携わる製作者から、サブキャストは主演の事務所の俳優と決まっているのでキャストイング権が奪われていると聞いた。(30代女性・出演者)
2000年代、「●●※事務所名」、「●●※事務所名」によるバーター(50代女性・その他)
2012年頃 レギュラー出演していた女性タレントが、プロモーターを個人的に怒らせたとの理由で突然別タレントに変更となった。 突然の変更で企画の練り直しとなり、なんとなくの気まずさの中で進行されたのを覚えている。(40代女性・出演者)
80年代から現在まで(60代男性・イベント関係者)
4については今も普通に行われているのではないかと思います。(50代男性・その他)
前に書いた、自分が演出した舞台で、人気のある女優を使わせる代わりに、新人俳優も使えと、彼女らの所属事務所の社長から言われた。その新人は会って芝居をみてみたら非常に才能のある人で、別の2本めの芝居を演出することにして起用したのだが、人気女優のほうがその新人俳優とある意味比べられることに不満を示したらしく、事務所社長は私のせいだと責任をかぶせ、不当なギャラを要求したりし始めた。 (40代女性・メディア関係者)
特定事務所の排除については聞いたことがない。バーターは年代問わずあり続けるものなのでは。 (30代男性・メディア関係者)
同じ事務所のタレントの起用。出稿企業の商品を多きく扱うこと(40代男性・メディア関係者)
多すぎでかけないですが、事務所のバーターはよくあるが必ずしも悪いものばかりではない部分があるという意見です。(50代男性・メディア関係者)
若手俳優より、「●●※事務所名」に排除された経験がある、との発言を聞いた。20年ほど前はこのような例が横行していたように聞いている。(40代男性・メディア関係者)
映画やドラマのバーターは昔からよく聞くし、自分も何度もある。「すみませんがこの子はバーターでしようがないので、よろしくお願いします」とプロデューサーから言われ、決定事項として断れ

<p>ない。断ると同じ事務所のメインキャストが出てくれなくなるため。ここ数年はそのような要求はされていない。(50代男性・その他)</p>
<p>キャスティング担当。バーターはよくある話で、むしろそれがないと大手事務所に所属する意味がないでしょ??というものだった。バーターを入れるために、脚本のちよい役の性別を変えたり、出番を増やすなど、脚本ごと変えないといけないという大掛かりなものもあった(20代女性)</p>
<p>政治家が自分の子分をつれて出演したことがある。不当、理不尽の程度が判らない。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>細かく覚えていないですが、みみっちい大人ばかりだなと思うことが多いです。(30代女性・その他)</p>
<p>バーターや圧力などは普通のことです。ごくごく当たり前のこと(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>2022年ごろ、事務所同士の軋轢によってキャスティングが決まった作品についてなど(20代・出演者)</p>
<p>大物司会者マネージャーから起用タレントの降板を要求されたが無視したら生本番中に一度も振らず声を出させないように回された(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>2010年代初め、出演者募集のオーディションに応募したが折り返し連絡がなく、電話で問合せると「書類選考はない」ということだったので、同じく返信のなかった知人の俳優と当日オーディション会場に行った。オーディションは受けられたが、どこことなくお呼びでない雰囲気があったように思う。他の参加者の顔ぶれをみると、すでに合格者がほぼ決まっている出来レースだったのかなどの印象だった。昔の話なので、記憶違いや思い込みがあるかもしれないが、公募でないのなら、公募しないでほしいし、最低限応募者への事務的なメールの返信くらいしてほしい。</p> <p>-----</p> <p>自分は無所属だが、</p> <p>オーディションに行って、「事務所合格枠」があるのかな、と感じることはある。</p> <p>逆に、知人などから、今度オーディションをするので受けてみないか、とか、人が集まってないからよかったら受けに来ない?とか、オーディションでいい出演者がそろわなかったら参加してこないか、ということもある(これも、オーディションに落ちた側からすると、出来レースのようにみえると思うので難しい)。</p> <p>(30代女性・その他)</p>
<p>有名アーティストを出演させる代わりに無名で実力もないアーティストの出演は日常茶飯事。</p> <p>有名事務所に所属してデビューした実力があり、音楽的な経歴もしっかりしているひとが古巣の嫉妬により(国内外の音大芸大を卒業したり、音楽やダンスを習ったりしたのに何者にもなれなかったけど努力してもないのにまだ夢を諦めきれない人たちばかりでとにかく足を引っ張りたい)嫉妬されちゃうんで出せません。よほど売れたら。と言われていた。</p> <p>また、辞める時に役員から「俺だって作曲家になりたかったんだぞ!お前ふざけるなよ!」と暴言を吐かれ、そのアーティストは精神的にすごく傷ついた。(30代女性・その他)</p>
<p>2007年ごろ、ドラマキャスティングにおいて、大手事務所に配慮するのを見聞きした。(60代女性・出演者)</p>

2020年以降。(30代男性・出演者)
2017年私が「●●※テレビ局名」ドラマオーディション合格して出演する際バーターで俳優もしてマネージャーが出演させてと言ったり映画出演する際バーターで出演させてと監督に言って出演した(50代女性・出演者)
この10年くらい、キャスティングの際に大手事務所の俳優を主要キャストにし、他事務所の俳優に主要キャストは配役しないよう言われたという話を少なくとも5回以上聞いた。(30代男性・その他)
2004年頃に、興行企画書やシナリオを二本まとめて委託され、一本については支払いがあったが、二本目について、追求しなかったところ、別名のプロデューサーの作品として、読売演劇賞を受賞していた。自分も失念していたが、驚いた。 コロナ時代、公立の役所からの仕事なのに、いきなり打ち切られた。また、仕事の前に契約をはっきりさせず、ギャランティなどの単価を知らせず、書類業務などの付帯的業務を散々増やしておいて、最後にそれらの雑務の対価を含めないギャランティで契約書を結ばせられることが、多々あった。(50代女性・その他)
1998年頃から、TV番組に特定アーティストの出演をバーターに新人が斡旋されているのを見聞き。逆に、局側が、新人を盾にして出演意思がないベテランへ強要し、間に立つマネージャーが心を患っていたのを見聞きした。(50代女性・メディア関係者)
1990年代からずっと(40代女性・出演者)
バーターや競合事務所の排除は、有名なタレント事務所と付き合う芸能に関連する業界の中では「当たり前」のこととして横たわっているため、出演依頼をする側が交渉時に「当然の気遣い」としてそれらを盛り込んでいる(契約書には明記しない)ような状況(20代女性・イベント関係者)
プロデューサーが新刊を売りたい作家の番組出演の引き換えに、その作家が新刊を出す出版社で自分の著書を出版してもらおうというのは、いまだに続いている。(50代女性・メディア関係者)
表紙の人選も、事務所広報におうかがいをたてる。また、希望どおりの人気者を掲載するために、バーター的に事務所が掲載してほしい(媒体側があまり希望しない)タレントを扱うことを要求されたりするのがわりと日常的にありました。(50代女性・メディア関係者)
エンタメ業界メディアなどでは、芸能事務所やプロモーター(製作会社)と取引関係にあるので、バーターでのご相談(取り上げてくれ)という案件は常に発生しています。それでファンや消費者の存在を無視したメディアビジネスが成り立っている部分もあります。(50代男性・メディア関係者)
最初に書いた話と同じです。 大きな事務所への付度、テレビ局と芸能事務所のパワーバランスはフェアじゃなく、2010年代には、芸能事務所の方が強気なんだと感じていました。(30代女性・メディア関係者)
会社の付き合いで、この事務所との繋がり重んじる/重んじないというのは日常茶飯事なのが正直なところです。(20代女性・イベント関係者)
1.マネージャー判断で半ば強引に受けた露出のある仕事のあと、マネージャーには仕事への覚悟が足りない一蹴されたためさらに一人悩むことになり、そのうえまわりにも精神的苦痛が伴うことをマネージャーに言いふらされ、事務所に身を置けなくなったことがあります 2.自身が事務所の

都合やマネージャーの死亡で不当に契約解除を言い渡され、挙句不当な売り上げ目標を押し付けられたことがあります(30代女性・出演者)

映画公開に際して、広報のプロを入れず、俳優の手弁当で宣伝をするよう監督から言われた。グッズの作成についても同様。SNS更新、HP作成、各種見積もり、舞台挨拶・番組出演の香盤管理などをやらざるを得なくなった。報酬はなかった。(30代女性・出演者)

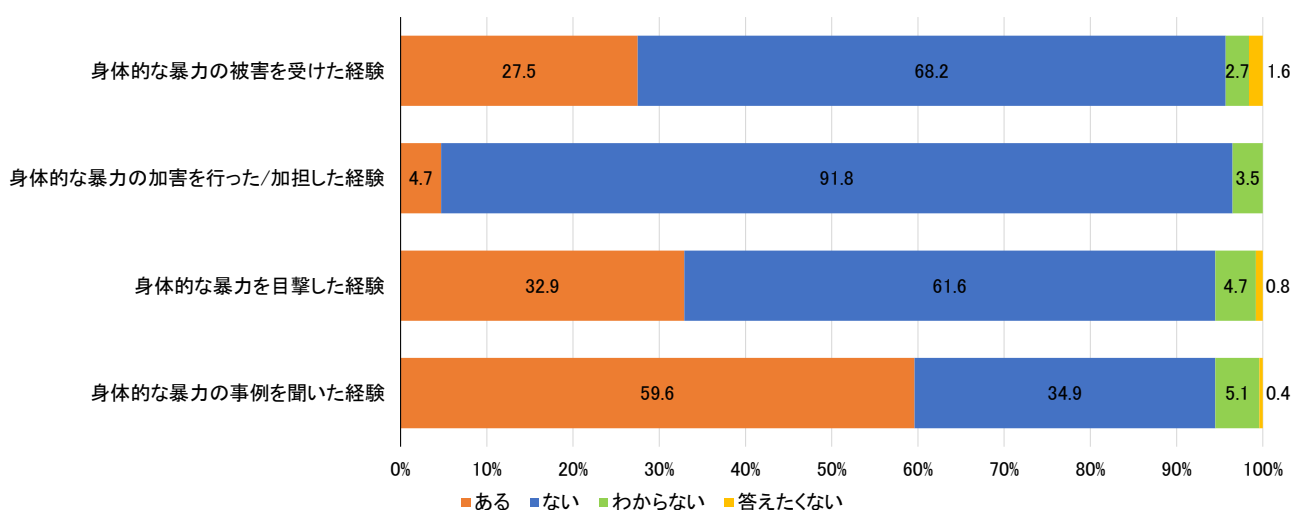
## Q8. 身体的な暴力に関する経験

例「身体的な暴力の被害を受けたことがある」

Q8. 身体的な暴力に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
身体的な暴力の被害を受けた経験	70名(27.5%)	174名(68.2%)	7名(2.7%)	4名(1.6%)
身体的な暴力の加害を行った/加担した経験	12名(4.7%)	234名(91.8%)	9名(3.5%)	0名(0%)
身体的な暴力を目撃した経験	84名(32.9%)	157名(61.6%)	12名(4.7%)	2名(0.8%)
身体的な暴力の事例を聞いた経験	152名(59.6%)	89名(34.9%)	13名(5.1%)	1名(0.4%)

N = 255



「上記の (1) ~ (4) のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。

それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください。」

就職氷河期末期世代なので暴力を伴う“指導”は日常茶飯事であった。

2018年と2021年にそれぞれ違う管理職が部下の個人情報や電話番号住所、離婚情報などを入手して、住居侵入や性加害をしていた。離れた場所で同じことが起きているので、性加害の伝統か構造的な問題があると思う。

特に2018年は朝から主婦層（これも侮辱的な表現だが）を対象にしている番組のプロデューサーが性加害をしている。番組で女性だ女性だといっていて、裏では背信行為を平気でしている。

コロナ禍でリモートワークが始まった頃、意図的に女性職員が入浴した、帰宅した時間をみはからって経済部が緊急会議を立ち上げ、部屋の中やすっぴんを見ようとした事案も複数。(40代男性・メディア関係者)

今から15年程前の事。業界の先輩が、弊社店舗でお客様と従業員に暴行を働きました。(50代男性・事務所関係者)



<p>身体的なというより、精神的な暴力。言葉の暴力が非常に多かった。男性マネージャーなどから、普通にヤクザ並みの恫喝をされた。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>アシスタントを殴ったことがあります。(50代男性・その他)</p>
<p>民放キー局の「●●※肩書き名」が、部員を殴って、辞任に。ところが、同じ局のコメンテーターとして番組に出演。会社トップに政治家を紹介したり、関係を断てないから。(50代女性・イベント関係者)</p>
<p>土下座続ける(50代女性・その他)</p>
<p>かなり昔、弟子やマネージャーを殴った事があります。(60代男性)</p>
<p>自分自身は経験がないが、2011年～2013年ころ、ドラマや番組の制作現場で上司が部下を足でけったり、殴ったりすることがあると聞いた。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>20年前くらい、プロデューサーから暴力を受けたアーティストを複数名知っている。(50代男性・出演者)</p>
<p>2013年ごろ、背後からいきなり腕をつかまれて強制的に自慢話を聞かされそうになった。すぐに腕を振り払った。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>20年ほど前の話です。「●●※事務所名」タレントの撮影に行ったときのことで。その人がソファに寝そべりながらマンガ本を読み、若い子はひざまづいて近くに侍っています。しばらくすると「おい、●●買って来いよ!」「早くしろよ!」といいながら、その若い子の頭を足で蹴っていました。今もテレビに出て「いい人キャラ」みたいな立ち位置のタレントですが、そのときの様子が頭にこびりついています。部外者のわたしがいる場面であれですので、内部はもっとひどいことだと思います。</p> <p>以下は聞いた話で、5年ほど前のことです。知り合いが「●●※事務所名」のタレントにインタビューした際、共演の女優Aさんについてどう思いますか、という質問の答えを色紙に書いてもらったところ「A死ぬ」と書いてきました。このタレントも今も活躍しています。作家もそうですが、こういうモンスタータレントを作っている事務所、そしてメディアの責任は重いと思います。</p> <p>(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2000年代ごろ、ラジオディレクターからADへの暴力はありました。(50代女性・出演者)</p>
<p>政治家や官僚による女性記者の過剰な身体接触(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2018年に「●●※特定可能情報」の放送局で、男性上司が情勢部下の住所や離婚の有無を職権によって調べ、実際に家に行って性犯罪や性加害を行っていたが、局の上層部に相談を受けた御用組合が情報漏洩し、事件をもみ消した。</p>
<p>2021年に「●●※特定可能情報」県に、「●●※テレビ局名」の支局で、コロナ感染したディレクターに加療させず編集室に監禁し、自宅療養中もリモートで月100時間超の残業をさせたプロデューサーがいる。(現職)ディレクターは抗議して退職したが、御用組合が相談内容を加害者と経営者に全て漏洩して問題はもみ消された。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2010年頃、上司が部下に灰皿を投げつける(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>10数年前、あるデスクが指示通りの原稿を書けなかった部下の記者を平手打ちにしたと聞きました。(50代男性・メディア関係者)</p>

2012年～15年、出入りしていたプロダクションでは社長が、仕事で失敗した従業員を土下座させ、鉄拳制裁を行っていた。(50代女性・メディア関係者)
7～8年前、パワハラを理由に制作会社に訴えられた社員は担当が変わったのみでそのまま在籍・昇進している。(40代女性・メディア関係者)
注釈 上記について「ある」の回答は「性暴力」(性被害)についてです。暴力とあるので迷いましたが、そう解釈して回答しています(40代女性・メディア関係者)
2000年代ごろまでは、ディレクターがADを殴ったり蹴ったりするのは当たり前、日常茶飯事だったと聞く。現在はほとんど見なくなったが、言葉の暴力は未だに横行している。(20代・メディア関係者)
人づてに聞いた事なので詳しいことはわかりませんが、芝居の稽古中に上手くできない人がいれば殴るなどの行為が日常的に行われていたという事は聞いた事があります。(30代女性・出演者)
(3)に関して、10数年ほど前、ある音楽番組の収録の際、機嫌を損ねたアーティストが先輩プロモーターを蹴り飛ばすのを目撃した。「まあ、彼も熱くなっちゃうタイプだから」といった周囲の空気もあって、うやむやになった記憶がある。
(4)に関して、強面な体質で知られるある事務所とアーティストの契約更新ですれ違いが起きた際、当時の私の上司であるレコード会社の社員が監禁され、薬物を投与された上に、契約条件を呑まされた、という噂があった。あまりにおぞましい噂なので、上司に審議を確かめるのもためらわれた。(40代男性・その他)
90年代 撮影現場での役職が下の人を殴った(50代女性・出演者)
2010年ごろ、テレビ局の社員が先輩からボコボコに殴られて青あざだらけの顔をしていた(40代女性・メディア関係者)
2008年頃、ADの仕事中に怒られた時、蹴りを入れられて床に倒れた(40代・出演者)
1990-2000年代、音楽事務所、広告プロダクション。先輩、上司からの過度な肩パンなどの日常的な暴力(男性同士)(50代女性・その他)
10年以上前は、とあるアーティストのライブ現場では日常茶飯事で、上司からヘルメットで殴られはした。見たのは、男女関係なく後ろから蹴飛ばされたり、工具で殴られたりしているところ。(40代女性・その他)
アナウンサー事務所の男性の先輩に「飲みにつき合え」と言われ、仕方なく行ったら、性的な質問をされ、手を舐められた(暴力だと認識しています)。(50代女性・その他)
2012年に「●●※地域名」で撮影された映画「●●※作品名」の現場で、当時大学生のインターンを東京からきたプロの助監督が頻繁に蹴っていたことを、同現場に参加した複数の学生(当時)から聞いた。(20代男性・メディア関係者)
ハラスメントが注目される以前まで(60代男性・イベント関係者)
音楽業界やTV業界は体質が古いのでわりと最近まで行われていたと思いますし、今もあるのではないかと思います。(50代男性・その他)
2000年ごろ(40代女性・メディア関係者)
古いですが20年ほど前、精神的に病むくらい暴力を受けてました。殴る蹴るは当たり前だったので書ききれません。(50代男性・メディア関係者)

<p>自身も年長者からされていた。 後輩に対しても、自分がされたようにしか指導の方法がわからず加害者となったこともある。 とても後悔している。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>芸能事務所社長から、性的な関係を断ったら殴られた。言うことを聞くまで殴られ続けた。(30代女性・出演者)</p>
<p>13-15年ごろ設営の際、鳶職が立場的に弱いアルバイトを殴っていた(50代男性・その他)</p>
<p>2010年代から今までも、ある有名劇団では演出家による俳優への暴力が起こっている(パワハラ、性被害も含め)(30代女性・出演者)</p>
<p>監督と男優で結託して女優を騙して予定になかった性的シーンを女優が嫌がっているにもかかわらず強引に撮影したこと(40代・出演者)</p>
<p>自分は20年以上前に蹴られた。周りからの話では、殴られた話もよく聞いた。ここ10年くらいは聞かなくなった。(50代男性・その他)</p>
<p>1995年ごろ。スタジオ裏の自転車置き場に連れ出され、ど突かれた。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>結構、画面外では乱暴なタレントさんがいます。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>家に帰れないくらい働く、眠れないくらい働くとか、忙しすぎて病気になって早死にしたとか、間接的な暴力です。(30代女性・その他)</p>
<p>2015年ごろ 他テレビ局の女性社員が広告代理店の年配既婚男性社員からキスを迫られ、身体を触られるなどの被害にあっていた(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>よく殴られてる人もみだし、私自身も尾酒の席で足指を舐められたことがあるが、おもしろいねえのようなノリで気持ち悪かった(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>15年くらい前。職場の飲み会で、酔っ払った先輩が後輩を結構強めのビンタしているのを目撃。殴った本人はその場で出ていき、打たれた方を慰める会になりました。止められなかったなど色々後悔しています。(40代男性・出演者)</p>
<p>2016年頃にプロデューサーが激昂して収録中のディレクターが座っている椅子を蹴った(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>外部制作会社ADや若いDなどが、局員のPなどから殴られたり、沢山の人がいるオフィスのデスク横で土下座を強要されそのまま長時間正座させられているなど。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>演出家から稽古場での暴力(50代女性)</p>
<p>2005年ごろ撮影現場で(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2016年ごろのアクション俳優部たちの間中で(20代・出演者)</p>
<p>90年代毎日殴られて仕事を教えられ 2000年代は蹴飛ばして教えた 楽屋に行って絶対服従の出役よりはましだと納得して殴られ殴って育った時代だった(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>男子後輩が男子先輩(加害当事者も私の後輩)に性的暴力未遂にあったと、本人から聞きました。その先輩はクラシック界だけでなく広く映画やテレビ等でも知られている方でした。(1990年代から2000年代前半)(50代女性・出演者)</p>
<p>五年前くらいまでは見聞きしてます(30代男性・イベント関係者)</p>

10年ほど前、演出家が俳優を演技指導の中で過度に足蹴にしていた。(50代男性・出演者)
常に男達から性暴力される。(20代女性・出演者)
何年頃かは分からないが、劇場の舞台スタッフが委託会社の舞台スタッフに暴力をふるったと聞いたことがある。(30代女性・イベント関係者)
4年ほど前、40代男性職員が20代男性職員の胸ぐらを掴んで説教したと聞いた(20代女性・メディア関係者)
<p>① 本人がいる席で「この人は、演出のとき、女優さんをビンタしてたことがあるんだよ」と聞いたことがある。昔話として。話をきいたのは2011年ごろ。</p> <p>-----</p> <p>② ゼロ年代ごろ作品づくりの過程で往復ビンタのシーンがあり、たたかれる役の人はあるきっかけで思い出すと自動的に涙が出てくると言っていた。そのシーンはボツになったので、苦労話のひとつになっていた。</p> <p>-----</p> <p>③ 数年前、芝居にかこつけて、共演者に関節技をかけていた。 人から「その芝居は過剰」と注意されてもやめない。 暴力行為であったことは共演者の話で「技をキメに来てる感じがした。」数年後に発覚した。された人も見ている人も気づきにくい。</p> <p>冗談めかして唐突に首を絞められたことがある。(※)</p> <p>-----</p> <p>特定されないようぼかしています。 ※①は、アートの作品の創作過程のことだそうで、創作との線引きが難しいと思った。 ※-----で区切った話は別な人からの事例。</p> <p>※③は同一人物この人物は暴力虚言癖や遅刻癖、セクハラなどの問題行動が多く、バレないギリギリのラインで共演者や現場にマイナスをもたらす人物であった(モラルハラスメント)。が、表向き「熱心な出演者」のふりをしているので、周りが気がつかず、発覚までに数年を要した。当時から技量的にも、人柄的にも、取り組み方にも他の出演者に劣る部分があったが、単に「優劣」のみで判断しないという創作現場の寛容さを利用された(排除しない寛容さがバレない程度の卑怯な暴力を許してしまった)と感じる。この人は他の現場ではまだバレずに活動している。</p> <p>(30代女性・その他)</p>
某有名「●●※ジャンル名」漫画(映画化もされた)のモデルになった「●●※特定可能情報」男は日常的に暴力・暴言をふるいます。あの団体ごとそう。(30代女性・その他)

2005年ごろ、舞台けいこの現場で暴力をふるっていると聞いたことがある。(60代女性・出演者)
無理やり触られるということを暴力にカウントしない人もいるかもしれないが女はいきなり触られることは日常茶飯事。仕事中にそれで驚き声を上げると女が干される。 ちょっと触るくらいなんだという話を延々され怒ると悪い噂を流される。 ベテラン男性は後輩を殴った話を武勇伝としてしてくる。スタッフは昔は暴力が当たり前だったとよく話してくる。加害者はいずれも男。18年前～今に至るまで。(30代女性・出演者)
VTRで顔を殴られる。座っている椅子を後ろからゆすられる。2002年頃(40代女性・メディア関係者)
1995年頃、人気のない自転車置き場でど突かれた。(50代男性・メディア関係者)
2011年舞台出演本番中殴られて怪我したが降板したら4億請求すると恫喝され顔に包帯巻いて舞台出ました(50代女性・出演者)
芸能事務所の人が所属の若手俳優を酒の席で理不尽に殴った。(40代男性・メディア関係者)
2010年ごろ、飲食店で休憩している時に「お笑い」のノリで、電気が走る虫取りラケットを無理やり触らされたり、何度も体に当てられたりした。(30代男性・その他)
1992年ごろ(60代男性・その他)
1995年頃、演出家がスタッフを殴っていた。(50代女性・その他)
2014年頃のテレビ局の報道局です。先輩に殴られてます。(30代男性・メディア関係者)
2000～2014年ごろ演出家が出演者を殴る蹴る竹刀や木刀で叩く(30代女性・出演者)
1990年代頃にアルコールに薬物を入れられて気づいたらレイプされていた、警察には行けず、相談も話もしたことがない、ペロペロになるまでのアルコールはしょっちゅうだった(40代女性・出演者)
有名な演出家の武勇伝など、昔は身体的な暴力も当たり前にあったと聞かされることは多い(20代女性・イベント関係者)
師匠の機嫌が悪いと、殴られ続けた。 避けるといっそう殴られた。 傘で殴られた。 爪で顔を引っ掻かれた。血がかなり出た。  痣になっていることを、楽屋の師匠方に聞かれても、階段から落ちたと嘘をついた。  (40代女性・出演者)
テレビ制作の現場でプロデューサーやディレクターがスタッフを殴ったり蹴ったりした(50代女性・その他)
5年ほど前。仕事でうまくいかなかった時、「頼むよー!!!」と言われて強めに拳で腕を叩かれた。(30代女性・出演者)
女性記者で性的被害にあったことのある割合はかなり高い。(40代女性・メディア関係者)
ミスをした際の昔で言う鉄拳制裁(40代男性・メディア関係者)
突然ブチ切れて職場で暴れる人はたまにいる(50代女性・メディア関係者)

<p>演劇の現場では、演出家による暴力は普通にあるというのがそれまでの常識でした。芸に厳しいという文脈で了解されてきましたが、例えば「灰皿を投げる」とか「俳優を引っ叩く」「流血沙汰になってパトカーが来て劇団が分裂解散して公演が中止になる」といったことは、これまで実際にあったことです。伝統芸能の世界でもモノに当たる、セクハラといったことは何度が耳にした事柄です。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>2009～2012年頃、前職のイベンターでは上司や社長からの暴力は何度か目撃しました。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>2016年、上司にタクシーの中で胸を直接揉まれた。それ以前から飲み会で膝を何度も撫でられたり、耳を舐められたりした。</p> <p>2018年、飲み会で、同僚から強く揉まれた。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>2015-2019年頃、酔った客に殴られた。2005-2010年頃、不倫関係にあった先輩が仕事に関してしつこく介入してきていくら説得しても聞き入れられなかった時に手が出たのが一度、もう一回は背負い投げを仕掛けて躊躇って途中でやめた。(40代女性・出演者)</p>
<p>2010年ごろは、上司に蹴られる、突き飛ばされるのはよく見る光景だったと聞きます。今は身体的暴力はありません。(20代女性・イベント関係者)</p>
<p>2020年ドラマ撮影の際、監督に不当な理由でキレられ、怒鳴り散らされ、外ロケの道路で土下座をしたり、その後当時のマネージャーに現場から有る事無い事を言われてしまったり。現場から帰らされたりしました。</p> <p>現場にいたプロデューサーやキャスティング、スタッフは、土下座をする様子も黙って見ていたのみで、誰一人として守ってくれないのはもちろんのこと、その後「あなたも悪いところあったのでは？」などと一方的な文句を言われ話になりませんでした。</p> <p>その現場ではカメラマンも監督から不当にキレられ、監督は机を蹴飛ばしたりなどものに当たりながら周りは萎縮する形で撮影が進んでいました。</p> <p>ドラマ自体、自分の映像自体使わないでほしいと事務所との総意で申し出たところ、それはできないと放送では都合よく編集をされ使われました(30代女性・出演者)</p>
<p>ある新劇団の俳優養成所で、演劇の稽古に俳優として参加していた。演出家が私の声に負荷がかかっていないと言い出して、私を無理やりうつ伏せにして私の背中にその演出家がドン尻から乗っておさえつけられたまま演技させられた。(50代男性・その他)</p>
<p>2004年頃、芸能事務所関係者から性的暴行被害にあった。(30代女性・出演者)</p>
<p>2018～2023 殴られたりこづかれたりぶつかられたりしたことがある</p> <p>入力してるうちにうまく思い出せなくなってきたので、簡易になってきてしまってすみません……</p> <p>(30代・メディア関係者)</p>
<p>：2014年、劇作家大会「●●※地域名」大会にて。「●●※個人名」氏はレセプション担当としてレセプションにて行うクイズを作成していた。「●●※個人名」が「●●※地域名」に関するクイズを作っていると知ると、「●●※個人名」氏は「どんなクイズ？」と聞いてきた。「●●※個人名」氏が「クイズなのでどんなものかは言えない」と返すと、「●●※個人名」氏は不機嫌になり「恣意的なクイズだったら承知しないぞ！」と怒鳴った。(30代男性・その他)</p>



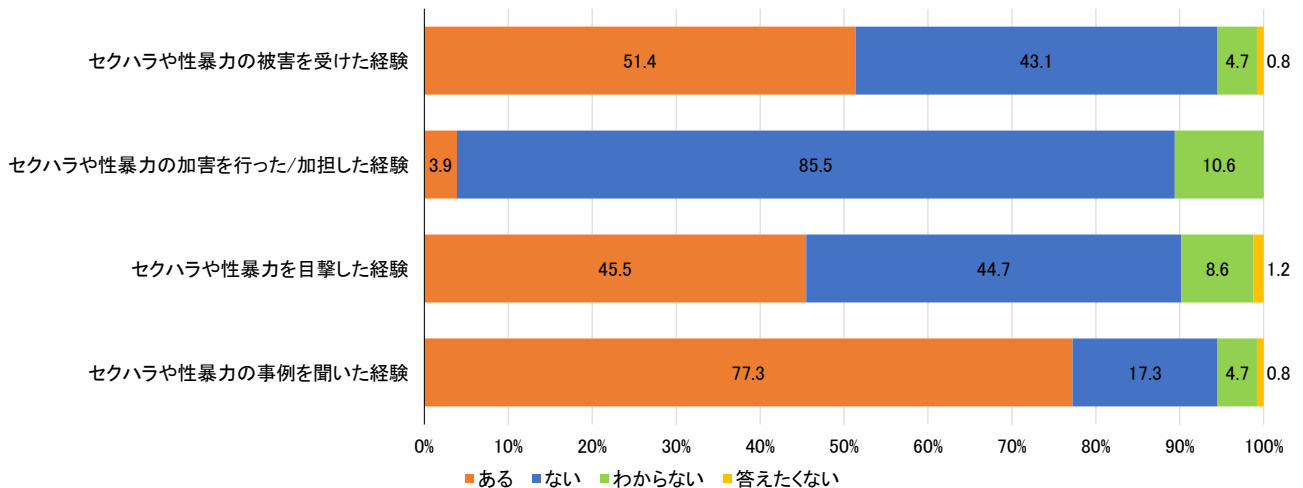
## Q9. セクハラや性暴力に関する経験

例「セクハラや性暴力の被害を受けたことがある」

Q9. セクハラや性暴力に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
セクハラや性暴力の被害を受けた経験	131名(51.4%)	110名(43.1%)	12名(4.7%)	2名(0.8%)
セクハラや性暴力の加害を行った/加担した経験	10名(3.9%)	218名(85.5%)	27名(10.6%)	0名(0%)
セクハラや性暴力を目撃した経験	116名(45.5%)	114名(44.7%)	22名(8.6%)	3名(1.2%)
セクハラや性暴力の事例を聞いた経験	197名(77.3%)	44名(17.3%)	12名(4.7%)	2名(0.8%)

N = 255



「上記の (1) ~ (4) のいずれかの項目で、「ある」と答えた方に伺います。

それは何年ごろの、どのような内容のものでしたか。可能な範囲で記入してください。」

結婚を長いことしてなかったので、同性愛者という流言をされた。

結婚後は式を挙げていないので挙げるまで秘密にしておきたかったが、管理職が個人情報を勝手に盗み見て吹聴して回った。

セクハラや性暴力は既に書いた通り。

セクハラや性暴力の被害者が局内相談窓口で相談しても「よくあること」「そのくらい我慢しろ」と人事の女性担当者から暗に泣き寝入りを強要されていた。

その被害者の相談を受けて弁護士を紹介したり然るべき機関とともに抗議したところ、支援した私は地方局に左遷された。(40代男性・メディア関係者)

20年前、業界の先輩が弊社店舗で、女性従業員と自分の妻の身体を触って出禁にしました。(50代男性・事務所関係者)

飲み会の席でのセクハラ(50代女性・その他)

一時代前の楽屋や本番中はセクハラの本番でした。(60代男性)



<p>・新人だった2011年ごろ、飲み会の帰りに目上の番組関係者が「送る」と家まで着いてきて、手の甲にキスをされた。・2012年ごろ、同僚の男性が飲み会で上司たちに「お前ゲイだろ」などとからかわれていた。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>記者が政治家、警察関係者らから密室で性被害を受けた(及び、被害を受けそうになり逃げた)話は枚挙にいとまがない。(40代女性・出演者)</p>
<p>先程の回答と同様ですが、身体の関係を持つことを要求され応えた場合は好条件での仕事を約束。拒否をしたらあまりにイジメのような酷い扱いを受けるようになった。(40代女性)</p>
<p>25年前から今まで、女性アーティストやモデルに対してのセクハラはずっと続いていると感じる。女性バンドメンバー全員がプロデューサーに性暴力を受けていたことを聞いたことがある。(50代男性・出演者)</p>
<p>2015年頃、事務所のマネージャーからの卑猥な発言などの嫌がらせなど(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2013-2016年、私と個人的な交際をしたいと望む男性の生活保護受給者に執拗に接近され続け、ストーキングに発展。警察沙汰にしようとしたら止まった。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>1990年代。当時の上司から恋人のことについていろいろ聞かれる、手を握られ指輪を触られる、肩を抱かれる、身体をじろじろ見られるなど。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>ある女性タレントを撮影取材だと香港に行き、レイプした。週刊誌記者。(70代男性・出演者)</p>
<p>2021年から2022年ごろ、社内で立場が上の男性社員が、女性スタッフの写真を無断で撮影し、その女性スタッフのことを気に入っているという、第三者の男性に「おかず」として送ると言った。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>15年ほど前のこと、社内でセクハラを受けました。私が異動したその日、同じ部署にいた女性たち4人からランチに誘われていくと、みんなが口々に「あの男性には気を付けて」といいます。4人全員がセクハラにあっていました。実際、私もその男性からタクシーに乗ったら太ももをさわられたり、打ち合わせを夜の12時からバーで設定されたりしました。あるときは自家用車に乗ってきて駅まで送ると言われ、結果的に家まで送られたのですが、「トイレ貸して」といって上がった来ようとなりました。こういった事例は同じ部署の4人から聞いていたので、「トイレは角の公園にあります」と言ってやりました。この件は会社の女性の上司にも相談しましたが、冷たい目で見られただけで何も動いてくれませんでした。</p>
<p>とある書き手からもセクハラを受けました。電車で出張中、突然手を握られました。駅に着くまでずっとです。ただ、駅員さんが通るときは離すので、「悪いことをしている」という意識はあるのだと感じました。出張は二人で行っていましたが、ここで機嫌を損ねられたら困ると思い、がまんしました。夜も部屋に寝ていると、突然ドアを開けられそうになりました。幸い鍵がしてあったので事なきを得ましたが、もし開いていたら…と思うと恐怖しかありません。その後、わたしがそういった対応をしたのが気に入らなかったのか、その人の妻から会社宛てにわたしのミスをあげつらう連絡があり、その書き手自体もわたしに対してパワハラに転じました。セバ両リーグとは本当なんだな、と思っています。ちなみにその人は有名大学の教授です。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>気に入った異性にしつこく付きまったり、メールを送り続けたり。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」の件は当時の週刊誌の報道で知りました。自分のセクハラ経験としては、小さなことですが、地方局のアナウンサーだった頃、50代のディレクターから「アナウンス部は買春宿</p>

<p>と同じだ、そこで働くってどんな気持ちだ？」などと言われたり、アナ部のデスクからは入社一年目で妊娠出産されるのは正直困ると言われたり、色々ありました。フリーランスになってからは、キー局の放送局にパンツスーツでご挨拶に行くと、「え？ミニスカート履いてこないで何しにきたの？そういうの大事だよ」と、挨拶してくれなかったり、呆然と立ち尽くしてしまうようなことは何度もありました。(50代女性・出演者)</p>
<p>後輩記者へのキスの強要(強く反省) 10年ほど前(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>30年ほど前、某都道府県知事と記者会の飲み会に参加した地元放送局の女性アナウンサーが「知事とチークダンスを踊らされた上、下半身を触られた」と話していた。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>5年以内(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※特定可能情報」の放送局で、2010年ころから、単に結婚していないだけなのに「ゲイなのか」「同性愛者なのか」「DNAに異常があるのではないか」という性的少数者に対する差別言説を複数の管理職が口にしていた。彼らは「同性愛者じゃない男性に向けられた言葉なのでこれはセクハラではない」としていた。</p> <p>「●●※放送局名」、毎日のように「●●※特定可能情報」番組のプロデューサーが、下請け制作会社の女性スタッフを個人的な秘書のように扱い、性接待も強要していた。問題発覚後も番組内容が、「●●※特定可能情報」、問題のもみ消しを図った。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2020年前後、上司が部下にセクハラ(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>2022年春取引先への出向中、男性社員に腕を掴まれるなどした、所属会社に相談すると休むよう言われ数ヶ月休まされた(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2007年～8年、所属していた制作会社社長によるマタハラ。出産から復職する際、私の希望も聞かず、閑職につけられそうになった。その後も、罵倒するなどのパワハラ、性的接触されそうになるなどセクハラが続いた。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>2010年代、直属の上司と飲みに行った際、「ハンドクリームを塗ってあげる」と言われて手をなで回されて非常に不快だったが流してしまった。他にも女子社員・男性社員どちらにもセクハラ的な質問(パートナーとの性行為について探るような質問)がされている場面を目撃しても止めなかったことは複数あり、加担してしまったと後悔している。(30代女性・メディア関係者)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6～7年前、性的暴力が理由で加害者男性社員は異動になり、制作会社所属だった被害者は番組を外れた。加害者は解雇されず関連会社へ出向後、最近の異動で本社に戻っている。</li> <li>・2年前、大学生アルバイトへのストーカー行為で加害者男性社員は依願退職の形で離職した。依願退職の場合、その後も被害が広がる懸念があると心配している。(40代女性・メディア関係者)</li> </ul>
<p>飲み会の場での身体を触るなどのセクハラ(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>取材先から 同僚や先輩から (40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2000年頃。メイクルームでのタレントからスタッフへの性暴力。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>2007年ごろ、警察官や検察官のセクシャルハラスメント(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2018～19年ごろに、テレビ番組の飲み会で、男性ディレクターが若い女性スタッフを膝に乗せていたと聞いた。</p> <p>2019年ごろ、自分が参加した飲み会の場で、局員から「自分の子どもが育ったら、次は君を養ってあげる」と言われたり、帰り道で一方的に手を繋がれたりした。</p> <p>2023年に、ドラマの女性スタッフが露出のある衣装を試験的に着用した際、年配の男性スタッフが</p>

<p>性的な文脈で「似合う」と発言した。</p> <p>いずれの事例も、セクハラを受けた側は抗議していない。(20代その他・メディア関係者)</p>
<p>2015～2018年頃の話ですが壁に向かって両手を付いただけでエロい姿勢と言われたり、全員集合のミーティングのような時間に予告なく全裸の男性(関係者)が現れて強制的に見せられたり(見せられる側には男性もいました)、性的な経験について聞かれ、答えたくないのではぐらかすと勝手に決められた上に人前で大声で言われたりという事がありました。(30代女性・出演者)</p>
<p>性暴力を目撃したことはないが、セクハラを目撃はある(30代男性・その他)</p>
<p>7年ほど前、同僚の女性プロモーターとある年上の音楽出版社スタッフと食事している際、その音楽出版社社員が、女性プロモーターに対してあからさまに性的な話題をふっていた。</p> <p>数年前、レコード会社社内で、あるベテランディレクターが一般職の女性のお尻をタッチするという「お戯れ」を日常的に行っていた。</p>
<p>他にも、数年前まで(感覚的には、2017年のme too運動の勃興まで)セクハラ事例を伝聞で知るの は日常茶飯事だったと述べている。(40代男性・その他)</p>
<p>レッスン中 3分に1回失言(40代女性・出演者)</p>
<p>個人のYouTubeの企画でインプロ的な内容の演劇を収録した際に当日セックスにまつわる内容であることを伝えられ断れない状況であった。(30代女性・出演者)</p>
<p>2021年 出入り業者の男性が担当事務所(地方自治体の公共会館)の女性にセクハラ(しつこくLineアドレスを聞く、夜何を着て寝るかなど仕事の電話中にそのような内容で長電話)、その事務所から出禁になる。</p> <p>過去20年継続的に出入り業者男性から、宴会席、また車中で1対1(女性)となった時等で聞くに堪えない下ネタの応酬を受けた(60代女性・出演者)</p>
<p>90年代 胸を触る、卑猥な言葉をかけるなど、当時はセクシャルハラスメントという認識が同人同士に無かったと思います。(50代女性・出演者)</p>
<p>2020年代、セクハラ被害を知人が告発した(40代その他・出演者)</p>
<p>2000年代、取引先関係者からの口説き、手を握る、トイレについてきて個室で抱きつくなど(50代女性・その他)</p>
<p>前にも書いたが、今から10年くらい前、仕事をもらってる人から「性的関係を結ばなければ仕事はやらない」と言われ、無理やりホテルに連れ込まれた。ピアノである自分には当時彼女がいて、そのことも言って拒んだが、関係ないと言われ、そのまま被害を受けた。フリーランスでまだ駆け出しで、あまり仕事もなかった当時のこと。</p> <p>しかし、それから事あるごとに身体を触られ、触らされ、性的なことをされ、させられ、卑猥な言葉を浴びせられ、毎日が地獄だった。</p> <p>それでも仕事は好きで、でもその人がいると気持ち悪くて、仕事に支障が出るほど心が病んでしまい、この春仕事を廃業した。</p> <p>(40代女性・その他)</p>
<p>去年。支局の先輩記者が日常的に「●●※政党名」県議からセクハラを受けていたと聞いた。(20代男性・メディア関係者)</p>

<p>2010年頃。 深夜番組の担当時、番組内容として下ネタを当たり前のように対応する空気があった。対応できなければ、番組を降ろされると当たり前に思っていたが、今思えば性暴力サバイバーのリスナーを傷つける内容だったように思う。(40代女性・出演者)</p>
<p>2023年、レッスン中に卑猥な言葉を使用、女性の胸の模型を女子生徒の前で揉みながら指導 2017年、飲み会の席にて裸で縛り上げれる 2016年、妻子持ちが生徒に手を出し浮気(20代女性・出演者)</p>
<p>現在までずっと(60代男性・イベント関係者)</p>
<p>答えたくないくらいたくさんあります。(50代男性・その他)</p>
<p>取材先で体を触られたり、性的な発言をされたりする。日常茶飯事(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>すでに書きました。 演劇業界や映画業界で、見聞きした話は数え切れません。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2010年頃。力のあるタレントから「最近いつセックスをしたのか」「それは気持ちよかったのか」など第三者がいる空間で話すことを強要された。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>関係を持つ代わりに仕事を与えるような事例を身近で聞いたことがある。(40代女性・出演者)</p>
<p>かつては性的な発言は横行していた。 女性アナの接待もセクハラの一部ではないか。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2020年6月～12月 演劇の先生・上司・演出家であった「●●※個人名」からレイプ被害を受けました(30代その他・出演者)</p>
<p>2010年代から、現在も公演が続いている劇団で、男性演出家が舞台袖で若い女性俳優にキスをするなどぐい内容のことを、その舞台に出ていた別の俳優から聞いた。今も表に出ていない。(30代女性・出演者)</p>
<p>予定になかった露出(裸になってそれをカメラで撮られる)を男性監督から要求され、断ったがそれでもやれと言われ、最終的には女性スタッフが止めに入ってくれてなんとかやらずに済んだ(40代その他・出演者)</p>
<p>監督が女優をホテルに誘う。監督が女優に、バーのトイレでフェラしろと言い、やらないと罵倒され頭を何度も叩かれる。これはいずれも「●●※個人名」の話。実際の被害者から聞いた。(50代男性・その他)</p>
<p>セクハラが日常茶飯すぎて麻痺している。(20代女性)</p>
<p>2005年頃職場の男性上司から女性スタッフがセクハラを受けたと相談を受けた。2021年職場の上司がセクハラで異動になった(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>タレントのマネージャーにセクハラを受けたという話は聞いたことがある。官僚による記者へのセクハラの話もありましたよね。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>2018～今日に至るまでクラブやフェスなどで同意なく身体を触られる、また打ち上げなどの場での性的な話題を持ち出されるなどのことがよくあります。(答えたくないその他・出演者)</p>
<p>これも常にどこの界限にもあります。当たり前すぎて語りきれないです。(30代女性・その他)</p>
<p>性接待とか、誰が誰の愛人だからプロモーションにお金をかけるとか普通のことだったし、タレントが色仕掛してることもよくあった。普通の企業に勤めていかに異常だったか思い知った(40代女性・事務所関係者)</p>

<p>また職場の飲み会。スタッフの女性が、年配の職員にずっとテーブル下で足を触られていたと飲み会の翌日に聞かされた。聞いてしまった以上、うやむやにしたくなく、相談するところがあるよ。と女性に伝えたが、結局報告しなかったよう。(40代男性・出演者)</p>
<p>本意ではない衣装を着るように言われた。本意ではない撮影を強いられた。宿泊先の大浴場でスタッフが女湯の覗きをしたと公言していた。(40代女性・出演者)</p>
<p>2014～2018年ごろ、当時20代の同世代の女性ディレクターが社外で40～50代の男性プロデューサーから性的な誘いを受け困惑していた。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>体を触られる、性的な話題を振られる、仕事中に男性上司の肩や背中をマッサージさせられる、打ち合わせと言われお店に行ったらその男性しかおらず個室で抱きつかれ押し倒されそうになる、ベルトを外し下半身を露出して口腔性交をしろと言われた事など。全て仕事関係の自分より年上で立場が上の男性からされた事です。自分以外でも同様かそれ以上の被害を聞いた、見たもあります。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>日本舞踊(50代男性)</p>
<p>2019年ごろに取材先に抱きつかれたことがあります。社内でも軽いテンションで身体に触る人がいました。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>前の回答に同じ(50代女性)</p>
<p>2005～助監督として働いていた時に(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2002年ごろ撮影中に、編集長を名乗る男性から性器を擦り付けられた 同じ現場で編集者の男性に携帯電話(ガラケー)を勝手に触られ、連絡先を抜かれていてその後脅しの電話が来た(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>2019年ごろに性的なプライベートの質問をされたことや、2014年ごろの舞台作品での稽古期間など(20代その他・出演者)</p>
<p>ADだった80年代に女性社員に買われた(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>世界的に有名な男性音楽家の弟子を志願したら、女性は無理だと言われ、だかあなたのパートナーを差し出したらどうかと、冗談交じりに言われた、という話を複数回聞いたことがあります。</p> <p>合宿中や稽古中の抱きつかれる、触られるなどのセクシュアルハラスメントは常態化していました。1990年代です。(50代女性・出演者)</p>
<p>世の中では言葉のセクハラと言われることをつい最近も聞いて止めました。(30代男性・イベント関係者)</p>
<p>常に男にセクハラされる。(20代女性・出演者)</p>
<p>2015年頃、飲み会で男性スタッフからセクハラ発言を受けた。また、男性スタッフの膝の上に乗るよう要求された。(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>触られる、キスされる、抱きしめられる、などのセクハラを受けた。会社に報告しても揉み消された。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>(1) セクハラ被害。芝居を本番さながらにする必要がない場面で芝居にかこつけて、ベタベタ触られる。</p> <p>聞いてパッとわからないセクハラ発言。居合わせた女性陣が「？」となっているところ、同席した男性が気がついてそれはセクハラだからちゃんと謝れと言ってくれた。</p>

<p>注意された本人は謝罪の言葉を述べたが、態度はへらへらして反省していない様子だった。</p> <p>----</p> <p>(4) 人から聞いた話「一人だけ稽古に呼び出され、急にキスされた。」</p>
<p>先ほども書きましたが継続的にセクハラの被害を受けていましたがみんなそれを見聞きしていたのに誰も助けてくれませんでした。</p> <p>インカムが壊れていたのを良いことに ディレクターのインカムのマイクを使って喋らないとみんなに聞こえないよ!?!とわざとらしく悪いながら言われた。毎回身体も故意にくっつけられた。それはキスする距離で 撮影中だったし爆音なので大声で叫ぶように話すことでなんとか回避した。 口説かれたのをそれとなく断ったことで態度を豹変させてキツく当たられたりもしたがセクハラはそれでも継続された。(30代女性・その他)</p>
<p>2020年ごろ、劇団内の閉鎖的環境の中で、ハラスメント行為があったことを聞いた。(60代女性・出演者)</p>
<p>ホテルに行こうと言われる、キスを要求される、腕を組まれる、手を掴まれる、頭に手を載せられるなど。</p> <p>体験談として先輩方から聞いた話では腕を掴まれホテルのほうへ引っ張られた、タクシーでマネージャーにしゃぶれと言われた、俺とやらないと仕事やらないよと言われた、打ち上げの席で股間を触られた、エレベーターで胸を触られた、など。</p> <p>男→男のセクハラ事例もよく聞く。女→男へのセクハラは聞いたことがないが男→男のセクハラは普通に聞く。男の加害性の問題。(30代女性・出演者)</p>
<p>役者が同性の演出家にキスされ、告白されたとのこと。その演出家には男女問わず恋人がおり、座組のスタッフ数人も恋人らしい。被害を打ち明けると加害者の性的志向のアウティングになるかもと、被害に遭った当時は恋人にしか相談できなかったとのこと。被害者から聞いた話だが、真偽や詳細はわからない。</p> <p>(30代女性・その他)</p>
<p>某歌舞伎俳優と共演したとき「抱かれればいいじゃん」とマネージャーに言われたことがある(40代男性・出演者)</p>
<p>2002年から05年頃、上司とチークダンス、性器について言及される。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>1993年私がお笑いライブに出演していた時服の中に手を無理矢理入れて胸揉まれたりされた(50代女性・出演者)</p>
<p>2017～2018年頃、飲み会の席で役員の男性から身体を寄せられたり、私の友人の性的な経験について聞くなどした。</p> <p>また、同じ頃、アニメ実写化の映画に出演する俳優の1人を話題に出して「体付きが細くなく太くて良い」とコメントをした役員男性がいた。その会話はワンフロアの職場で大声で行われた。(30代その他・その他)</p>
<p>劇団ではよく聞く。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2020年ごろ、打ち合わせ中に内容と関係無い性的な話を突然振られ、しばらく聞きたくもない話題を聞かされた。俳優への誹謗中傷も含まれていた。(30代男性・その他)</p>
<p>2010～2015未婚者への嘲り、身体特徴への嘲り(40代女性・メディア関係者)</p>

1992年ごろ先述した枕営業の件(60代男性・その他)
取材に行ったら、恋愛関係を持ちかけられて押し倒された。(50代女性・その他)
20年前。レッスン時間は問題なくても、時間外はセクハラ、パワハラが多かった。当時のテレビやラジオの放送と同じような空気感だったように思う。(40代答えたくない・その他)
性暴力は減ってきたように思うが、セクハラ発言は映画ドラマの撮影現場では横行している。 「女は現場にも化粧してこい」「ブスだな」「太ってる女はいらない」など言われたことがある(30代女性・その他)
1988年～2018年。アシスタント時代は、男性器の絵を描かされる、性的な話を録音されるなど。以降、前述の通りあからさまな持ちかけ等。演者の事例も何度も見聞きする。 自身が上の立場になると、男性指導者からセクハラを受ける10代女性からの相談を受けて告発に同席するも、意思決定層の男性達はいつも加害者を解雇しない。(50代女性・メディア関係者)
2018年ごろ、番組リポーターの面接で手ブラを強要された(30代女性・出演者)
2010年代後半から現在にかけ、いわゆる地下アイドルをめぐる、プロデューサーやイベンター・社長と寝る行為が横行していることを、元メンバーといった当事者の証言として幾度となく断続的に聞いた。(30代男性・メディア関係者)
2011年頃、職場のメンターにあたる先輩(既婚者)から、メンターであり他に頼れる人がいない状態で、キスの強要、性的行為を求められ、精神状態が悪く助けを求める相手がいなかったために受け入れざるを得なかった。今思えばあれは性暴力に準ずるセクハラだったと思う。(30代その他・メディア関係者)
数限りなく、写真家に脱がされたとか、写真をとられて脅されたとか、朝呼び出されてレイプされ、さらに仕事の人から帰れと放り出されたとか、複数人数にレイプされた等(40代女性・出演者)
2018年の12月です。Twitterでお世話になっていたジャーナリスト（※特定可能情報）からセクハラを受けました。その後、家族が取材等でお世話になっているジャーナリストの方ご相談し、話し合いの為、間に入って頂いたのですが、もし私が週刊誌等に話したりしたら逆に訴えるなどと脅されました。(50代女性・その他)
metoo運動が活発化する以前までは、言葉による性的揶揄や性暴力軽視は悪いことだという認識や空気自体が存在していなかった。反論したり咎めたりすると面倒くさいやつとして扱われるので、黙って流すことしかできなかったが、それ自体も加担する行為であるという認識は近年ようやく生まれてきたものだ。(20代女性・イベント関係者)
10年前くらい、 住み込み修行にて、性行為をしないと、破門だと毎晩のように怒られた。 年配の師匠なので、力尽くで逃げることはできたが、逃げた次の日、 こいつは俺を馬鹿にしている、とその師匠はお内儀さんに話して、 お内儀さんから激しく怒られた。  そのセクハラ相談をある師匠にしていたが、そのことがお内儀さんの耳に入り、追い出された。 被害者なのに、加害者扱いされた。

<p>一門の師匠からは、録音機をおかれ、口封じをされた。          上が絶対の世界なので、          今だに、「あいつは自意識過剰だ、あんなおじいさんがセクハラをするわけがない」とその師匠は周りに話しているそうだ、又その師匠に無視をされます。</p> <p>(40代女性・出演者)</p>
<p>忘年会などで裸になった男性の局部を女性の頭に乗せるちょんまげなどの宴会芸を強要される現場に居合わせ不愉快だった(50代女性・その他)</p>
<p>細かく思い出したくないが、女性の上司から男性の前で胸を触られる、先輩から性的な話をされる、男性社員が女性社員の前で、女性をモノとして扱うような話をする、私の容姿にコメントする、などなど。(30代女性・出演者)</p>
<p>メディア業界における事例ですが、セクハラ・パワハラ・モラハラは経験しています。私は男性でヘテロセクシャルですが、同性から「性的嗜好は正常なのか!？」といったセクハラを受ける機会がありました。具体的には、望まないのに女性のヌード写真やスカトロ写真を見せられたりしたことがあります。女性の同僚が深夜のゲイバーに呼び出されて、「怖いので」セクハラをする上司たちから守るように懇願されて、同行した時のことでした。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>2009～2012年頃、前職のイベントでは上司や社長が股間に触れるなどの行為はよく見かけました。本人たちとしてはいわゆるじゃれ合いやスキンシップの範疇だったのだとは思いますが、今の視点でいえばセクハラに該当すると思います。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>女性出演者に対して、制作サイドのスタッフが過度な接触をした。(40代男性・出演者)</p>
<p>イベント後、ホテルで複数人で飲み会をしていたら、いつの間にか一番立場の高い人と2人きりにされ、性行為を強要された(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>2000年代後半、映画業界について勉強する学生だった頃に、講師であるプロの人物にセクハラを受けました。          2010年代、テレビの仕事についてから、生放送に出演する直前の大物芸能人に容姿を値踏みされました。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>たくさんありすぎるけど、2019年頃、15歳の子が夜のバーのライブに母親と聴きに来てくれた時に年配男性が隣に座って触ったとのこと。店にも報告したが不況で場末で経営難の中の太客で黙認スルーされた。自分もどうしたらいいかわからず何もできなかったが自分に対して含めて納得できない。伊藤詩織さん事件とmetooムーブメントは見聞きし始めていたが、パンデミックでジョージフロイドが殺されるまで構造的差別も女性差別も性暴力も今よりもっとわかっていなかった。(40代女性・出演者)</p>
<p>2020年前後、APだった頃に、長く従ってきたPから、2人きりになった時にキスを迫られ、暴力的な発言とボディタッチをされたことがあります。          その他、取引先の女性が帰るタクシーに同乗しようとする「ノリ」が定番なのだと楽しみに話してきた上司や、若手社員の手を手に手を重ね合わせて「今の時代これもダメか汗」のような茶化しセクハラをしている別の上司を目撃したことがあります。(20代女性・イベント関係者)</p>



<p>2013～コロナ禍前まで、見た目や仕事ぶりを揶揄したり、性的嗜好を押し付けられたり、必要のない触られ方をされたり、自分が女性であるが故に「処女？経験ある？エロい？」などという質問をされるのは日常茶飯事でした。特に映画監督、映画プロデューサー。(30代女性・出演者)</p>
<p>前項に同じ(30代女性・出演者)</p>
<p>令和5年 ある演劇祭の主催者が舞台設営の際に女性に対して高圧的な態度で命令をしていたそうです。(50代男性・その他)</p>
<p>2018</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルを同室で取られたり、その部屋の中で家庭内不和を持ちかけられるなど。</li> <li>・監督の家に機材を返却したら覆い被さられた</li> </ul> <p>2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内の撮影で先生たちもいる中、なぜか監督がこっそりポルノ画像を見せてきた。</li> <li>・腰につけている養生テープを、使うわけでもないのに何故か触ってくる。</li> </ul> <p>そのほかはうまく思い出せません(30代その他・メディア関係者)</p>
<p>2017年、4月4日。「●●※団体名」主催のリーディング「●●※イベント名」の打ち上げ会場。そこに、2016年末に脳出血にて倒れ、一時退院中だった私も参加していた。私はまだ自力歩行できず車椅子で、打ち上げに参加するのもやっとの状態だった。「●●※個人名」氏はそんな「●●※個人名」氏に対して「君は彼女ができるの良いのに」と繰り返し発言した。当時私は脳出血に倒れたショックで、精神的に落ち込んでいたし自信も失っていた。これから自分がどのくらい回復するのか分からず、未来の見えない状態のなか、先輩の劇作家から発せられた無神経な発言に、私は大きなショックを受けた。</p> <p>：2019年。「●●※場所名」にて。私は徐々に回復し、自身の病状のことなども含めた「●●※ジャンル名」を手がけるようになっていた。そんな「●●※個人名」氏に「●●※個人名」氏は「君、片麻痺じゃないのを書きなよ」と発言した。私は、自分の当事者性やアンデンティティを否定されたような気持ちになった。</p> <p>(30代男性・その他)</p>
<p>2016年頃、劇場のスタッフによる出演俳優へのセクハラを目撃した。</p> <p>2023年頃、あるウェブメディアの編集長による数年間におよぶ複数名へのセクハラと性暴力について耳にした。(20代女性・その他)</p>
<p>番組の打ち上げで上司からキスされそうになったり、お尻を触られたという話を聞いたことがある。7～8年前だったか。(40代女性・出演者)</p>

## Q10. その他の経験

「その他、あなたが芸能・報道分野の仕事に携わる中で、経験したり目撃したりしたハラスメントや不当な営業行為、商行為などがあれば、可能な範囲で記入してください。」

長年続いている「●●※ジャンル名」番組の男性プロデューサーが非正規雇用の女性に性加害をしたが、番組制作能力を盾に隠蔽が図られた。 普段は女性差別や障害者差別を毎日のように放送している番組でもこうした性加害と隠蔽が起こる。(40代男性・メディア関係者)
最近の事です、業界の先輩がコンビニでの年齢確認にキレ、従業員にパワハラ。動画が400万回以上再生されていました。(50代男性・事務所関係者)
「●●※アワード名」買収は直接聞いていた(50代女性・その他)
何人かの演出家はパワハラが凄く、役者を辞めるもの、廃人のようにメンタルをやられた者は沢山います。(60代男性)
2016年-2019年、2023年と担当番組に出演しているタレントの舞台やコンサートのチケットを受けとったことがある。取材のために必要と捉え、過度な利益供与とは考えていない。(コロナ期間中は芸能界が厳しい状況と思い、自腹で支払っていた。)(50代女性・メディア関係者)
不当な営業にあたるのが身近にあるが、自分の仕事上の立場を考えると告発できない。(40代女性・出演者)
女性のアーティストやモデルだけでなく、音楽制作をする裏方の女性もコンスタントにハラスメントは受けている。飲み会でのセクハラは驚くほど多いし、そこから更に要求されるという話もよく聞く(50代男性・出演者)
ハラスメントはその理解浸透や規制が進み、「当事者の受け取り方がハラスメントか否かの答え」という認識もあることを前提にすると、報道分野は自身らがその理解促進の主体であり中心であるにも関わらず、まだまだ身分が下の者(だいたい若者)がハラスメントと思う行為は当たり前が多い現状があると思う。キツイ言葉遣いであったり、現代に合わない非効率的な要求であったりは身近でも散見される。(20代女性・メディア関係者)
これはハラスメントではないのですが、局アナ時代、90年代には年に数回ショッピング特番が制作され、その中で局アナとしてかなり高価な毛皮や指輪、寝具などもモデルになったりして販売行為に加担をしなければならず、精神的な負担がとてもしんどかったです。ラジオやテレビに出演し正直に視聴者との信頼関係を築いてきたものを、易々と彼らの販売ツールとして使われてしまうことに憤りを感じましたし、ウソをつかなければならない事や、その上、祖母達を買ってしまう(私の利益になると思うのか…)事が辛く、局を卒業した大きな理由の一つでもあります。(50代女性・出演者)
すでに「闇営業」で芸能界を追放された元芸人が、2000年代前半に芸人時代に女性アナウンサーの内定者やアナウンサー希望者に対して、「●●※特定可能情報」のタレントとの食事会と称して人員を集め、「ここだと目立っちゃうから」と高級ホテルに連れて行き性行為を強要していた。アナウンサーの内定者、希望者なので、被害を訴えると将来がなくなると思い、誰も声を上げることができなかった。そうした者を狙って被害者になっていたという。「●●※特定可能情報」に対しても同様の行為を行っていたことも、以前から指摘されていた。(40代男性・メディア関係者)
上司によるパワハラ、いじめ(50代男性・メディア関係者)

<p>局の正社員による、制作会社スタッフへのパワハラは日常茶飯事。制作会社内でも、上司から部下へのパワハラは多い。暴言・人格否定もあるが、本人の希望があるのに責任ある仕事をやらせないなど育てることを放棄している上司も多く、やりがいを持って辞めていく子も多い。私は暴君のような社長のいるプロダクションを辞めてフリーになったが、その後、出入りしていたプロダクションでは、ギャラを意図的に支払い忘れられたことがある。要求して数か月遅れで支払われたが、フリーランスは使い捨てなのかと感じた。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>社外からのハラスメントはほとんど経験がない。一方で社内については、紙面では人権意識が高く素晴らしい発信をしているにもかかわらず、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、被害者へのセカンドレイプ、社内での問題隠しは（10年前と比較すれば減ってはいるものの）横行していて働いていてうんざりすることが非常に多い。</p> <p>根本的に、「ハラスメント」は何かということをつかていない人が多い。「時代的にダメらしい」「窮屈」くらいの認識しかない。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>記者やディレクターから、警察や政治家からのセクハラについての被害を多々聞いています。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>出張先で、事務所マネージャーから部屋に呼び出され、抱きつかれた。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>大抵の出版社は、編集プロダクションへのギャランティ単価が低く、交通費込み、取材に必要な経費も込みだったり酷いものです。編集者は契約社員で大変そうで、数少ない社員は編集、ライターを育てる気がないし、クオリティが下がるばかり。今は変わっていることを願います。(50代女性・その他)</p>
<p>身体的暴力はほぼ見かけなくなったが、言葉を選ばないダメ出し、人格を否定される発言は、年代・性別・階級に関わらず頻繁に行われている。</p> <p>また、自分は在職中に性別を移行したのだが、直属の上司や他部署の人に何度かアウトティングされている。ひどいケースでは、自分のいないところで笑いものにされた。多様なジェンダーセクシュアリティがあることを認知している人は多くなったが、ではどのように接していくかとなると、ほぼ全員が無知である。アウトティングという言葉すら、こちらから説明しなければならない。何年もかけて説明して、味方を作りながら生きている。(20代・メディア関係者)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇団の演出家の男性が劇団員の女性に対し、大した理由もなく本番前日に怒鳴り散らすという習慣がありました。誰も止める事はできませんでした。</li> <li>・ある劇団の演出家2人はハラスメントは芸術の分野における文化だから自分たちはハラスメントをすると堂々と話していたのを見ました。そうやって分野の人を育てるのだと。後から知ったのですが、2人とも本業は中学校教員だったそうです。(30代女性・出演者)</li> </ul>
<p>そんな言うほどない。業界外の人勝手な妄想ばかり。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>10数年前、レコード会社各社のラジオ局へのプロモーションが盛んだっただころ、影響力のある番組のプロデューサーやディレクター、出演者等が、あからさまに見下した態度でプロモーターたちに接し、ときに人前で叱責したりするのを日常的に目撃していた。(40代男性・その他)</p>
<p>「●●※個人名」さんのオフィシャルコミュニティで、「●●※個人名」さんご自身が、特定の個人(ファンの方)に対しての誹謗中傷、人権を無視した扱いをし、それを当たり前のように作品として発表し続けています。</p>

<p>本人に指摘されても、平然としてるような姿勢に、既得権益に守られている芸能界の闇を見ました。今回のアンケートの趣旨とは少し違うかもしれませんが、知って欲しい事実でしたので送らせていただきます。(30代女性・ファン)</p>
<p>権力を傘に「言うことを聞かなければ、消してやる」という強迫を受けたことが何度もあります。同業者で、全く心当たりがないと答えることは、ないと思います。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>ものづくりを目指していた仲間が、テレビの制作会社や映画の制作会社に入り、性接待の現場などを目撃し、心を病んでやめていった。(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>性的コンテンツをPCで見せられた。AVのDVDを机の上に置かれた。(50代女性・事務所関係者)</p>
<p>2010年頃、事務所を辞めたいと言ったら手続きをされると言われて呼び出されたが、説得され、途中で近くに待機していた社長を呼ばれ、ファミレスに深夜2時まで軟禁され、辞めないように、何故辞めるのか、社長の悪口を吹聴したなど数時間詰められた(40代・出演者)</p>
<p>2000年代、芸能事務所内での芸能人からマネージャーへのいじめはよく聞いた、それが原因で離職する人が多いとか(50代女性・その他)</p>
<p>男性DJの番組の日替わりアシスタントをしていた女性の後輩たちが、DJから暴言やいじめを受け、そのDJの愛称「●●※特定可能情報」が付いた商品や店の看板などを街で見かけると吐いてしまうと相談を受けたことがあります。25年ほど前の話です。(50代女性・その他)</p>
<p>マタニティハラスメントを何度も目撃した。</p> <p>妊娠が発覚すると、事務所マネージャーを伴った謝罪に始まり、現場制作陣もあからさまに迷惑がる。嫌味を言う。</p> <p>ストレスフルな状況を反映するように、切迫流産になる女性も一人や二人ではなかったし、急遽体調不良で休みとなれば、制作陣の不満が更に募ってゆく。</p> <p>10年位前になるが「産休をいかに短くするか？がレギュラーを落とさない条件」というのが、当たり前のようには語られていた。</p> <p>今でも産休取得が1年未満の喋り手やタレントさんを見かけると、まだこの業界は改善されてないのか？</p> <p>人前に入る=社会的無意識にも影響するのに??とゾツとする。</p> <p>こんな命を軽視する業界に未来なんて絶対に無い、と心底思ったし、今でも思っている。多分この感覚は間違えていないと思う。(40代女性・出演者)</p>
<p>あまりにも事例が多くて書けないがIT、広告系の大規模イベントの打ち上げも芸能界同様、コンパニオンを使ったハラスメント等が多発していた。芸能でいえばいわゆる「●●※団体名」系の脅しは目に余るもので、また少数精鋭の芸能事務所も同様です。グルーミングによる搾取が多発し、何度も相談を受けたことがあります。またいわゆる放送作家という職業は組織として成立してはいるわけではないので、ハラスメントや違法労働がよく見られます。最近引退した作家さんによるタレントへのセクハラは耳を疑う行為だったようです。芸能やメディアは基本的には広告業です。クライアントの無茶な要求から「●●※企業名」や「●●※企業名」もそれに比例して働き方や倫理観が悪化し、さらにその下請けやタレント事務所が疲弊していきます。構造上、クライアントも含めてハ</p>

<p>ラスメントや働き方、倫理観を改めて直す必要があると考えております。私自身そのような構造が苦手でそういった企業とは一切付き合わないようにし、仕組みに抗い、少しでも居心地の良い居場所を作ろうと努力しております。(30代男性・事務所関係者)</p>
<p>体質が古いので細かくあげていくときりが無いです。(50代男性・その他)</p>
<p>見てみぬふりをするグループと誇りのようにいい散らすグループがいますね (40代男性・メディア関係者)</p>
<p>言葉によるハラスメント（パワハラ）はしょっちゅう受けたり目撃したりしてます。(50代男性・出演者)</p>
<p>テレビ局の仕事をしなくなって6.7年経つので最近はより状況がかわっているのでなんとも言い難い。 (50代男性・メディア関係者)</p>
<p>小劇場界では過去に、暴力による自殺なども起きています。性被害の告発も見聞きます。(30代男性・出演者)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・疲労で元気がないスタッフが上司から台本で頭を叩かれる</li> <li>・若い俳優がプライベートについてマネージャーに話すと、それを別のマネージャーにまで不必要に話され、非難される</li> <li>・テレビプロデューサーを接待するような打ち上げが行われる</li> <li>・有名な男性俳優主催公演で、主催が若い男性俳優をホテルに誘う</li> <li>・有名演出家がキャリアのない若い女性俳優を不倫関係に誘う</li> <li>・演出家から事前に聞いていなかった性的なシーン（女性が騎乗位の形で男性の上に跨り、腰を振る）の演出を受け、戸惑っていると全員の前で「経験がない」個人的に「俺が調教してやる」というメールが届く。そのシーンは事務所に相談してカットになったが、今でも嫌な気持ちになる。(30代女性・出演者)</li> </ul>
<p>大人の役者とスタッフが子役をセクハラ的なネタでおちょくって恥ずかしがらせて大人たち大爆笑、とか当たり前の世界だった 枕営業も無理やりさせられるばかりでなく、本当に役をもらえるから自ら進んで手を挙げる役者やタレントも大勢いた(40代・出演者)</p>
<p>スタッフ間のハラスメントはいまだに多々ある。全くない現場は数%だと思う。(50代男性・その他)</p>
<p>稽古場での叱責にあたり、目撃もした。(40代女性・出演者)</p>
<p>2000年代前半までは、上司や先輩によるパワハラ的な指導は当たり前だった。メンタルヘルスを悪化させて休職者が相次いでいた(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>先の項目で記載した出演の強要はこちらの回答に書くべきだったかもしれません。 「断ろうと思えば断れたはず」という状況に見えますが、密室で、全員(10名程度、男女半々、大半が自分より年上)から囲まれた状態では、私に断るという選択肢はありませんでした。(30代女性・出演者)</p>
<p>直接報道には関係なかったが、大手の芸能プロダクション、大スポンサー、政治家、スポーツの団体、力を持っているところは小なり大なり、報道に圧力をかけてくるものだと思っている。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>みんな権力の前ではひれ伏さずには生き残れない不毛な世界です。(30代女性・その他)</p>

<p>先の仕事のあっせんを仄めかして、現在の仕事を無償で請け負わされたことがある。実際には無償労働のみで終わった。</p>
<p>過去の名優のエピソードを引き合いに出して、売れる前に性的な経験を積み人間として深みを出すべきだと言われ、ラブホテルやいかがわしい店に連れ回されたことがある。(20代女性・出演者)</p>
<p>ハラスメントや性接待などは芸能、特にテレビ業界では当たり前だった(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>20年ほど前、報道の職場はパワハラが割と日常でした。意味もなく怒鳴る上司、目の前で机や椅子を蹴飛ばす、ボールペンを折る(備品だろ・・・と思って眺めてた)恫喝で新人たちを教育する人は一人二人じゃありませんでした。こういう雰囲気になれなきゃダメなんだと思って、心を殺していたし、実際慣れてしまった。今思うと嫌だなど思うこと多々あります。(40代男性・出演者)</p>
<p>斡旋の見返り(50代男性)</p>
<p>セクシュアルハラスメントよりもパワーハラスメントの方が横行しているイメージです。特に40代～50代の男性上司の中には、言うことを聞かなかったり、間違いを指摘すると上長経由で嫌がらせをしてくる人もいます。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>売り込み(50代女性・その他)</p>
<p>20年前は酒の席の接待をさせられました。最近とても気になっていることは、俳優たちのファンからの搾取です。世間が思っているほど俳優には収入がありません。SNS等で直接ファンと繋がって、金銭物品等を要求している事例が多くあります。女性に手を出す案件も多いです。やり方が巧妙で、なかなか表に出ない話ですが問題です。(50代女性)</p>
<p>10年以上前は映像業界といえば男性社会だったので若い女性は居るだけで場を乱す存在として扱われた上に、(色眼鏡で)適正に能力を見てもらえないしセクハラや性暴力は酷いものでした(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>売り込みで成り立っている世界なので放送してもらえら何でもしてくる人間をコントロールする事に長けた事務所関係者が多いので一度蜜を味わうと蟻地獄そこらじゅうにいる(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>レッスン中に性的暴力を受けた友人 舞台稽古での過剰な接触(50代女性・出演者)</p>
<p>いまだに暴力的な事例や、あの事務所はヤクザだからみたいな話を聞いたり、それを聞いてある意味怯えながら対応を考えて仕事をすることがあります。 一度、大勢の人前で恫喝をされたこともあります。</p>
<p>「●●※事務所名」の件に関しては。いまだに嘘だろって思うことしかないほど何も知らない末端の人間ですが、それでもファンからしたら僕も加担した側のスタッフや裏方の人間だと思われるだろうなという思いと、何か気付けていたら手助けができていたのだろうか、とにかく悲しい気持ちと責任を感じてしまいます。(30代男性・イベント関係者)</p>
<p>この業界では常に女は男にセクハラされます。(20代女性・出演者)</p>
<p>自分の企画アイデアを他の制作スタッフに横どりされた。(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>劇団員にきつくあたり、客演にやさしい(スケープゴートの役者を作って追い詰め、他の役者はひいきにする)といったパワハラ的な演出をする(していた)と言われている演出家が、ハラスメ</p>

ント防止ガイドラインのある公的な劇場で公演していたりする。(その演出家の元を去った俳優にはトラウマのような傷が残っているようだ。「なぜあの人が、ガイドラインのある劇場で公演が打てるのか。関係者にきいたらわかるのに誰も内情を調べないのか」と心を痛めていた。)

パワハラが問題になった「●●※地方名」の劇団演出家(被害者へのスラップ訴訟をちらつかせ、和解が棄却されるなど問題が解決したとは言えない)が、「●●※地方名」の公共劇場で上演を再開している。この公共劇場も「ハラスメント防止の取り組み」をWEBサイトに掲載しているが、係争中のパワハラ問題(この劇団を起用するにあたっての説明)への声明などは出ていないようである。

劇場関係者がこのような姿勢で、ハラスメントの根絶や加害者の内省や更生がありうるのだろうか。公共の劇場のキュレーター責任、説明責任とはなんだろうか。劇場が加害傾向のある人物を起用しながら、「ハラスメント防止ガイドライン」を掲げているということが被害者への二次加害、加害者へのお墨付きになっているのではないかとさえ感じる。流行りにのって「ハラスメント予防」と言っておけばよいというくらいの、業界の「ハラスメント防止」がファッション的に消費されているだけの風潮と、問題意識の低さを感じて、落胆を得ない。

(30代女性・その他)

音楽活動をやっていることを歓迎・応援します。ということで実際仕事におおいに活かせることもあり真面目に働いていたのに、ことあるごとに「それがあるからどうせ辞めるんでしょ?」といい、どれだけまじめに働いても評価されず真面目に働いてなかったり嫌がらせをするスタッフを最悪した。何度言ってもダメで

経営が悪化した際、真っ先に不当解雇や不当降格の面談をされた。他のアーティストデビューした子も同じ。また社内で執拗な食事の誘いを断った女の子もセクハラ被害者なのに何故かその子が数年間正社員から業務委託にされ降格・減給された。

私とアーティストデビューした子は庇ったが、他の人は女性含め、普段むしろその子と仲良くしていた人含め、女を使った。とか噂話にしておもしろがっているだけだった。

あとは海外出張に真面目に商談とかではなく

ただ系列のフェスを見て大麻を吸うためだけにいつている企画制作の若いチーフ。

楽屋もそういう話ばかり。

世の中を舐め腐っています。

(30代女性・その他)

ドラマや映画、舞台の演出家や監督が、いじめのような個人攻撃をすることがあったのを記憶している。(60代女性・出演者)

日常的な罵倒、リハーサルでの厳しすぎる指導での身体的、精神的暴力、ハラスメントへの見て見ぬふり(50代女性・その他)

視聴率がとれる「●●※事務所名」をキャスティングできないお前はバカといわれつづけた。2018年頃(40代女性・メディア関係者)

- ・役員男性が、親しみの意味を込めて勝手に私の肩を叩くなど、身体を触った
- ・役員男性が、会議の最中に思い通りにいかないときに机を強く叩いて怒鳴った。この男性は以前

<p>からこのような癩癩を起し問題の職員であることは知られていたが、それを抗議すると周りの人間は「あれでも丸くなったほうなんだよ」と彼を擁護し、問題解決に取り組まなかった</p> <p>(30代・その他)</p>
<p>女性だからか男性の高圧的なお客が時々いて手を焼くことがあります。暴力とは言えませんが腕を掴まれたことはあり。(50代女性・事務所関係者)</p>
<p>「●●※個人名」官房長官や「●●※個人名」幹事長によるセクハラ(30代女性)</p>
<p>フリーランススタッフの立場の弱さにつけ込んだ過剰労働の押し付け、手土産の要求、仕事内容への罵詈雑言、服装や体型への中傷、不当な悪評を立て仕事が回らないようにすることなど、主に大手出版社、中堅出版社の編集者によるもの(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>他社から「マネージャー〇〇について、経費を横領しており本人も認めたため解雇した」という封書が届き、見せしめかと思って怖かった(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>私自身が企業恐喝的にスポンサー獲得しました。(60代男性・その他)</p>
<p>1980年代には信じられないような不当なことがたくさんあった。2008年以降、仕事をもらう側から、こちらが仕事を発注する側になったら、不履行という経済的なハラスメントを被ることが多々ある。芸能という分野では、全体のスタッフや出演者が協力して創造をするのだが、集団の中の人間関係を壊すような行動をとったり、ギャランティとなるチケット売り上げや宣伝に、協力しなかったり、経費の水増しなど、様々な事が、当事者の間で起きる。勿論、セクハラ、パワハラも言語同断だが、故意に経済的な損失を集団に与えるなどの行動をとる人は、それもある意味、ハラスメントではないだろうか。解雇すればした側が、噂を立てられるなど、罪を訴える側がいつでも正しいわけではない。(50代女性・その他)</p>
<p>ディレクターが家に入れると要求してきたり、(50代女性・出演者)</p>
<p>「●●※個人名」さんが擁護され、「※●●個人特定可能情報」が加害者となるセクハラやパワハラに関してはまったく認めていないことが悔しくて、このアンケートを書かせていただきました。</p> <p>「●●※企業名」は役者=金なので、たくさんの客を呼べる「●●※個人名」さんを擁護しています。でも、実際の「●●※個人名」さんの周囲のひとたちは呆れ果て、もう戻ってこないでほしいと言っていました。「●●※個人名」さんに関するパワハラ、セクハラの記事は事実です。芝居を愛し、頑張っている「●●※役割名」や裏方の気持ちは微塵も考えていないのです。</p> <p>悔しくてたまりません。(30代女性・その他)</p>
<p>テレビ局の報道局で働いてました。残業代不支給、新人は給料泥棒だとの罵倒、異常な深夜勤務と日勤の交互勤務、記者の高圧的な態度、先輩からの暴力、椅子に座るな、仮眠するな、暇があれば編集の練習をしろ、でもこちらは何も教えないなどの身体的暴力。嘘の噂での集団的いじめ。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>愛人契約、ブランドもの/マンションを買ってあげるなどをよく聞いた。金で序列をつけることを当たり前にする空気、そこに性交渉という支配、隷属関係の刷り込みが常に付き纏っていたように感じる。「芸能だから」という屁理屈で誤魔化されていた気がする。(40代・その他)</p>
<p>ジャーニー氏が亡くなったことで報道は増えているものの、特に性被害は、殆どの声は取り上げられることがないと感じる。女性の被害は99%黙殺されている。</p>



<p>現在は、子供を性的対象とする慣習が問題だと思う。一般誌や漫画誌のグラビアの少女達の水着やポーズが過激化しているが、部数市場主義の中で、女性の意見が反映されることがほぼ無い。社会が貧しくなる中、大手から地下アイドルまで、低年齢層を搾取するシステムは強化されている。</p> <p>1996年頃、小学生タレントの出現を心配する層は確実にいたが、レコード会社や事務所は、個別に（怪しい場所から結婚披露宴まで）タレントを送るなどして丁寧に懐柔していた。</p>
<p>現在は社会自体の価値観が籠絡され、50代60代までもが、同世代ではなく10代20代を追う価値観が一般的になっている。意思決定層の女性の割合を増やすことで、まず現状の問題を会社／社会として共有し、子どもや女性を守るシステムを明文化して作らなければならないと考える。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>どういう経緯があったのかは分からないが、局専属女性アナウンサーに対して匿名で執拗に嫌がらせしたり、脅迫文を送りつけていた問題社員がいた（脅迫文を見せてもらったことがあります）。なお、その専属アナウンサーは既に退職している。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>関係がないのに、相手をしなかったためにあいつはだれとでも寝るといいふらされたり、一回食事に行っただけで彼女だと言いいふらされたり(40代女性・出演者)</p>
<p>パワハラ、セクハラ、不当評価は日常的にあります。新人が次々に休職や退職しています。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>妊娠した社員に対して、「迷惑だ」という。みんなの前で繰り返しキツく叱りつける、自信をなくさせるようないじめに近い酷い言い方をし続ける、無視をする、太ったという、その服セクシーだから着ない方がいいよと言う。など。数えきれないほど、毎日のようにありました。(30代女性・出演者)</p>
<p>企画やゲストを「クレームが来かねない」という理由で取りやめさせられた。</p> <p>リスクを微塵も背負いたくない気持ちが見て取れ、局やメディアに対して失望した経験がある。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>ほんの5年くらい前まで、フリーランスのギャラは言い値、それも最初から提示されないことがほとんどだった。ギャラの交渉はしてはいけないものようだった、1990年代はセクハラ、パワハラ、会社の金で遊ぶ社員は日常的だった。コロナ禍をきっかけに、いろいろ変わってきたように思う。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>記事内容に関して、媒体の文字表記ルールに則って掲載したいと相談しても、自分のところの公式と同様の形式でないと、掲載させない、などと言う団体広報があります。連載的なページなのに、「言うことが聞けないから、取材してくれなくて結構です」などと圧をかけてきます。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>露出のある表現をしているモデルが、撮影中に性行為を強要される</p> <p>性に関する分野について発信をしていると、共演者で打ち合わせ中に身体を触ってくる人がいた(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>先輩から後輩への長時間にわたる恫喝(20代・出演者)</p>
<p>最初はおかしいと言ったけど、あまりにも当たり前になっていて、まず駆け出しの24歳で、ベテランの既婚者から次々と性的関係を要求された。何もしないと行ってホテルに誘われて痛い目に合された。その人とは別の既婚者に自分は自分の奥さんを愛しているから車で送った君と性的な関係に</p>

はなることはできないと語るドラマーに、それでも自分とそういう関係になりたいかと聞かれて、無事に帰りたいし関係を不穏にしたくないので、自分は動物アレルギーで性的接触でかぶれるのでしたくてもできないんですよと自分の言いたくないやろうとしてできなかった性的経験まで打ち明けて、空気は和やか、送ってくれてありがとうございます、と言う時に、トイレ貸してくれる？もちろんいいですよ！トイレが終わると、へ一部屋ってこうなってると入ってこられた部屋でキスをされて敷きっぱなしの布団の上に倒れ込む。できるようにしてあげるよとのこと。その年配ドラマーと不倫関係になり、そのドラマーが仕事をもらい頭の上がらない先輩のさらに年配ベーシストに、仕事をあげられるかもしれないと呼び出されたが、雰囲気不安だったのでドラマーに相談すると、そのドラマーとベーシストは親友だから、ドラマーのことを好きだと言えば手を引くはずだから仕事もらってこいと送り出され、ベーシストに駐車場で性的行為を求められ、ドラマーを好きだと言い続けてかなり頑張っって言い続けて離れてもらい、音楽の話に戻ることができたので、この自分の作った曲、今度「●●※テレビ局名」の大河かドキュメンタリーのバックかで使われるけどどう思う？とかのことで、自分はこう思いました！と笑顔で話してなんとか帰宅すると、その界限に自分の作曲に上から目線で評価してきやがって生意気だかなんだかと悪い噂を流され、白い目を感じ、ドラマーにもわたしはもう使わないと言い、その界限で権力者であったベーシストの周りの人間はわたしから遠ざかり、ドラマーにはもうお前には俺しかいない、俺が教育してやるよ状態になり、もうまともな倫理観というのがいまだにバグってしまい、何を断ってよくて断ってはいけないのかわからなくなってるし、その感覚で自分もそれがそれで当たり前になってしまったことも気づいて傍観者加害者になるのも怖いし、とにかく離れなければならないと今更ながら離れたら失業している。パンデミックもあって。何を書いているんだろう。すみません。ちなみにこれは氷山の一角で。この芸能界の構造的搾取がぶっ壊れるといいですね。そのベーシストは「※●●特定可能情報」(40代女性・出演者)

初めて仕事をする小さな制作会社の代表と地方の取材先に一緒に行くことになり、宿を手配されたが、他にもビジネスホテルはあったのに一戸建ての別荘の様な所を予約された。前夜に聞かされてその時は気づかず了承したが、2時間後くらいに変だと気づき急いで自分でホテルを予約した。その代表と同じ会社のカメラマンの3人取材だったので物凄く怖かったが幸い何もなかった。あの特別荘のような宿に泊まっていたらと思うと怖くてたまらなかった。2度と会いたくない。女性は例え良い人だと思っても、上の人間を100%信じる事はしていけないと痛感した。今でもどんなに長い付き合いでも上の立場の男性には境界線を引いているし、少しでも危険を感じたら仕事自体断っている。(40代女性・メディア関係者)

①1996年に、ある東京の新劇団の俳優養成所で俳優の訓練を受けていた。契約もしていないのに、勝手に劇団の映画放送部の事務所に俳優として所属させられていた。②2007年に、ある東京の現代演劇の国立劇場の俳優養成所の演技の講座担当の演出家の演出助手として働いていた。そこは国立劇場の俳優養成所だったが、契約書もなく給料ももらえなかった。またその国立劇場の俳優養成所の演出助手の仕事は、無給にも関わらず事務作業が多かった。(50代男性・その他)

劇評家への接待、受賞のため審査員への接待、助成金を貰うための接待、逆に受賞者への手のひら返し、そんなことばかり聞きます。一度過去に受賞者ふくめ見直すべきです。(40代)

2004年ごろ、芸能事務所に所属し、仕事をもらう見返りに事務所社長との愛人関係を求められたとの事例を聞いた。(30代女性・出演者)

演劇の現場で座長や舞台監督などのスタッフは45歳より上を境にパワハラへの感じ方が違うと感じます。45歳より上の方は先輩から自分がされてたように、高圧的な演出や指導をする傾向があると思います。それ以下の年齢の方は演出は合議制だったり、裏方の指導も分かりやすい言葉でされている方が多いと思います。(50代男性・その他)

この他にも、私は貴殿に怒鳴られる、強い口調で非難される経験をたびたびしており、「●●※個人名には逆らってはいけない」「●●※個人名にいい顔をしないとイケない」という刷り込みが長年あったと聞いております。

以上のことから、私は貴殿から長期にわたってハラスメントを受けたと現在認識しております。●●※個人名は意見書をメールを通じて送付しましたが、1カ月以上無視。個人の訴えがもみ消される権力性恐ろしさを改めて認識しています。泣き寝入りも悔しいので、いかに●●※個人名が酷い人間であるかブログにかきました。

●●※特定可能情報(30代男性・その他)

自分自身とは全く関係がありませんが、もう亡くなった親戚は古い体質の”芸能”関係と深く関わりがあり、事務所に所属しておりました。もう既に亡くなっていたり、中枢人物ではなかったりした人の家族、親族からはより深い話が聞けるかと思います。(30代女性)

従業員として雇用し、社会保険の加入条件を満たしていたにも拘わらず、加入させていなかった。本番中ミスがあった俳優に対して「殺そうかと思った」と周囲に言っていた。(30代女性・出演者)

## C. 意見・感想

「最近の芸能界や報道業界における問題提起や検証報道について」と、「芸能・報道分野で活動・仕事をする上で、不当な慣習だと思っていることや、今後改善されてほしいこと」の2点について、意見・感想を自由記述で求めた。

### Q11. 最近の芸能界や報道業界における問題提起や検証報道について

見る限り、業界の体質改善には繋がらないと思いました(60代男性・メディア関係者)
「●●※事務所名」だけでなく、他の組織においても事例はあるはずで、問題提起が広がり、改善が進むと良い。(40代男性・メディア関係者)
マスコミはいつも流行を追いかけて正義がない。(80代男性・事務所関係者)
「●●※事務所名」から不当な理由で「干され」、圧力を受け続けていますが、それを相談してもどの媒体も「よくあること」と取り合ってくれませんでした。また、利益と天秤にかけて、それを報じるメリットはないとも言われました。そんな事態がよくあることというのが異常ですし、目先の利益追求が今のような状況を生んだのだと思います。 メディアは自己検証が必要です。(50代女性・メディア関係者)
テレビ各局による自前の検証報道だけでは不十分。第三者が入った形で調査を行い、旧来の慣行を改める具体的な方策をメディア横断的に打ち出し実施すべきだと考える。(50代男性・メディア関係者)
検証すると現在地位のある者が軒並み罪や責任を取る事になるのでやれないのが実情ではないか。第三者委員会か外部の調査でないと真相の究明は難しい。(40代男性・メディア関係者)
メディアの反省が足りない!(50代男性・事務所関係者)
検証したとはいえレベルものしか、まだ出ていないと感じる。自分も何か検証報道に貢献したい(40代女性・メディア関係者)
このような事例が一切なくなることを望み、自らもこれまで通りそういった行為は行わないようにする。指導であったとしても暴力に関しても二度と行わない。報道機関に関しては、芸能界の付度に留まらず、政財界に対しても清く正しい報道がなされることを切に望む。その一方で、不倫や恋愛のスクandalに対して加熱する週刊誌報道やネットによる個人攻撃にも断固反対します。(50代男性・その他)
犯罪史に残る重大な性犯罪について、マスコミの追求が甘すぎるのは、自ら天に唾する行為だからなのだろうか。この追求の甘さは、マスコミが共犯であることの証左だろう。(60代男性・事務所関係者)
「●●※事務所名」への過度な依存、共犯関係について検証不足。現実はずっと癒着している。そこをつまびらかにしていない。 金品の提供など。 嵐が過ぎ去るのを待っていて、「●●※事務所名」依存は変わっていない。(50代女性・イベント関係者)

芸能界の人は反省していない(50代女性・その他)
良い事だと思うが、「●●※事務所名」以上の権力にはまだ立ち向かえていない。(60代男性)
「●●※事務所名」への断罪だけではなく、メディア内部の問題を横断的な調査で明らかにする必要があると思っています。ただ日々の業務に追われてなかなか具体的な行動をおこせない中で、このような調査を開催してくれたことに感謝しています。(30代女性・メディア関係者)
甘い。特に「●●※テレビ局名」「●●※番組名」で一度やっただけでその後ニュースでの「スクープ」もあったが、自己検証はできていない。第三者をいれて検証を。(50代女性・メディア関係者)
芸能エンタメ番組と報道番組とが同じ放送局に存在する時点で無理があると、改めて感じた。  検証番組は横並び感が強かったが、それでも当事者から見ると、営業や編成の強い局、報道が強い局、などの濃淡はハッキリと見えた。(40代女性・出演者)
時代の変化に応じて、こういった問題が明るみに出て周知検証されていく事は、時代に即した社会的な“標準”を再構築するための“改善”として必然だと考える。  しかしその過程において、結果的に民衆に好都合な生贄を作り出す事になってしまい、社会の閉塞感や感情暴発快楽に基づいたガス抜きのターゲットを作り出してしまうことに留意しなければならない。  報道機関（ワイドショー含む）は、報道の名を借りた一方的なプライバシーの破壊行為について、思慮深く、高い志を持ち、社会的な道義に基づいた検証機関を設けるべきだと考える。報道には暴力の側面も深まれているのだということを担当者たちは今一度自覚すべきだと思う。(50代男性・出演者)
「●●※事務所名」に限らず大手の事務所がふるっている圧力まで切り込んでほしい。(40代男性・出演者)
「●●※事務所名」問題については、真偽疑わしい証言も数多く出てきている様に思うし、生々しい証言は、読み聞きして行くのが辛いと感じるようになった。  衝撃的な話として取り上げる事も、記事のアクセス数を延ばそうとする、商業的な思惑もあるように思います。  結局、「●●※事務所名」のタレントで数字を稼ごうとしてきたメディア（雑誌・ネットニュース含む）の意識は何も変わっていないと感じます。 (50代男性・メディア関係者)
とことんまで検証してほしい。有名女性アイドルグループも性接待を強要されていると聞くので、国としてしっかりしたガイドラインを作るまで追求してほしい(50代男性・出演者)
この機会にすべての膿を出したらいいと思います。明確な選定基準などがなく、人間関係だけで出演やオファーが成り立っているためです。(40代女性・メディア関係者)
テレビ局と新聞社の関係にメスを入れていない(60代男性・メディア関係者)
良くぞやってくれたと思う反面、ジャニーさんの死後に欠席裁判的にしかやれなかったことの問題点を噛み締めています。(50代女性・メディア関係者)
「●●※事務所名」に留まらず、自身のいる環境も含め様々問題はあると思う。「●●※事務所名」の検証を徹底的に行うことはもちろん良いことだが、そこばかりを深掘りするのではなく、裾野を

<p>広げて視野を広く、蔓延り続ける社会問題を解決に向かうために報道し続ける姿勢は常に重要と考える。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>報道機関の検証報道を見ても「もしそういう忖度があったとすれば遺憾」「一部で忖度するという空気が醸成されていた」など薄っぺらい内容で、「人権意識を高めていく」などという表面的な「反省」で終わっている。構造的な問題に踏み込んでいない。他の大手事務所や政権、大企業など「面倒くさい相手」の場合にはどうなのか、そこを問わないと同じことが繰り返されるし、実際何も変わっていないと思う。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>検証という名の自己防衛には限界がある。(70代男性・出演者)</p>
<p>週刊誌の記事をゴシップネタとして報道する必要がないと決めつけている点が非常に気になる。正直、●●※特定可能情報もマスメディアの沈黙ではないかと思っているが、かつての高市元総務相の発言などの影響で、マスコミ、特に地上波は萎縮しているのではないかと感じる。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>BBCが報じてくれて、社名までなくなったことは素晴らしいですが、大手マスコミが一斉になって報じたり、スポンサーが下りたりと、何で今ごろ躍起になってやっているんだろうと冷めた目で見てしまうところがあります。ジャニー喜多川はもうこの世にいないのでや、メディアもここぞとばかりにやっているように見えてしまいます。被害者への補償は必ずしなくてはなりません、メディアにはもっと追求すべき報道があるのではないのでしょうか。</p> <p>芸能の話でいえば、「●●※団体名」はどうなのでしょう。「●●※グループ名」だけでハラスメントが横行していたとは思えません。「●●※事務所名」のトップが判で押したような年輩男性ばかりなのはなぜなのでしょう。「●●※グループ名」などの女性アイドルは大丈夫なのでしょう。それこそ性的な搾取を押し出す売り方です。</p> <p>わたしの元上司は、テレビ誌の編集長をしていた人で、こんな話を聞いたことがあります。編集長に就任すると、ある事務所の人が若いタレントを連れてきて、「編集長、今日はこの子を預けますから」と言われたそうです。もう20年ほど前のことですが、事務所が堂々と枕営業させていたわけです。枕と引き換えにテレビに出して、うちのタレントを使って、という慣習は終了したのでしょうか。メディアは、今生きている人の巨悪を追ってほしいです。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>局によっては、あまりに不十分。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>報道の分野については各社ある程度検証が進んでいると思うが、起用についての検証が甘いと思う。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」の事案については、当時の事が明らかになるにつれて、とても苦しい気持ちになります。「●●※事務所名」に関しては被害者だけでなく関わったことのある方々全員がメンタル面でのケアを速やかに受けられるよう事務所側は整えるべきだと思います。一般の方達から「この人も本当は被害者なのでは」などと色んな目で見られることは被害者でなくともとても負担だと想像します。心無いネットへの書き込みの自粛を促す大きなムーブメントもあっていいと思います。(＃meetoのような)</p> <p>あらゆる暴力事件も同じですが、被害者が次なる加害者にならないよう、連鎖を断ち切る方法。暴力を受けたり振るってしまう方へのケア、また暴力とは何か、暴力に向かわないようにするアンガーマネジメントなどのメンタル面での学び、そういったことにメンタル的に現実的に巻き込まれな</p>

<p>いようにする回避の方法などの教育は国民全員に必要なのではないかと感じます。(家庭内に暴力がある中で育ちましたので、強く感じます)(50代女性・出演者)</p>
<p>「●●※個人名」の報道をどこまでやれるかがカギ(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>自社検証ではなく、BPOが検証すべきだ。(60代女性・その他)</p>
<p>「今さら」との批判は当然だが、問題提起や検証は不可欠。スポーツ紙の検証が足りない印象を受ける。また、振り返るだけでなく、現在や今後の取材に生かせるかどうかを注視したい。(自分の所属先は芸能界とほとんど関係ないので、他人事のような書き方ですが) (50代女性・メディア関係者)</p>
<p>過剰な“反省”ばかりで、未来への提言がない(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>性加害を黙認していた時点でメディアも同罪だと思うが、そもそも性加害を訴えている人がいたとして、一方的に特定の人間を加害者として報道できるかと言われると、ハードルが高い。本当に被害を受けた人間ならいいが、被害をでっち上げるような人間も存在するからだ。</p> <p>例えば「●●※地名」には、「●●※役職名」から性被害があったとうその申告をした「●●※個人名」という「●●※役職名」がいた。●●※特定可能情報</p> <p>また、性被害者に話をさせるのは非常に難しい。性被害にあった人間に土足で取材した場合、世間から批判を受けるのは間違いないだろう。正直週刊文春やBBCが性被害者に取材できたのは、良くも悪くも取材相手に気を遣わないからだと思う。仮に問題のある取材をしたり、一方的な記事を書いたりしても、世間から叩かれないことが報道につながったと考えている。</p> <p>性加害報道を持ち上げるのはいいが、なぜハードルが高いのかを世間はもう少し理解すべきだと思う。読者や視聴者は「●●※事務所名」に忖度しているという陰謀ばかり唱えるのではなく、メディアの本質についてももう少し勉強するべきだ。(20代男性・メディア関係者)</p>
<p>生ぬるい。●●※特定可能情報の番組は、「●●※事務所名」事案の第二弾を放送する際に、●●※特定可能情報の歌番組への影響を考慮してか、局内から放送中止のかなり大きな反発があった。芸能界はそんなものだ、という共犯だったウエが変わらないのでまるで反省をしていない。</p> <p>同様に2023年末に性犯罪や不同意性交で問題になっている●●※特定可能情報に関しては、以前からその疑惑があり、本人も自叙伝に書いていた。その「※肩書き名」が、「性」を扱う番組にメインキャスターとして出演する件で、局内外から相当な批判と中止を求める意見があったが、「オレたちは攻めているんだ！」(原文ママ)で押し通して放送し、4ヶ月後に不適切な人選として問題になっている。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」以外も含め芸能界の取材は難しい(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>過去の過ちについて、何も顧みないよりはマシかもしれない。しかし、業界の慣習とかしがらみとか古い報道慣習に責任転嫁し、己の責任と正面から向き合っていないように思う。当時の現場責任者、担当者だけに責めを負わずのではなく、それを防げなかった経営者も口を開くべきだ。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>新聞業界も「●●※事務所名」問題に関する検証が必要だと思い、自社内で働きかけましたが話を通じずに終わりました。その過程では、幹部が「●●※事務所名」問題をまったくの他人事と思っていることもよくわかりました。テレビ局の方が関係は濃いですが、新聞社はテレビ局が経験したようなそんなくや圧力はなかったにしても、なぜ報じることができなかつたのか、そこには問題が</p>

<p>隠れていますので十分な検証が必要なはずですが。一体どうしたらいいのか、途方に暮れています。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>不十分。刑事告発されるべき案件なのに各メディアの検証が甘いことにより政府や警察が動かない。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>みんなが知ってる噂だったのに、噂で留め続けた結果だと思った 海外から指摘されないと日本は動かないんだと思った(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>自己検証が不十分(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>例えば「●●※テレビ局名」では、「●●※事務所名」とやりとりできるのは一部の局幹部だけだった。喜多川氏の悪行はむしろ知っているが、「必要悪」「芸能界じゃ当たり前」として看過していた。甘い汁を吸い合った人たちが、何をいまさら、と思う。ただ、自分もそのカルチャーに染まっていたと思う。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>自分がきちんと取り組めておらず面目ない気持ちがある。地方紙に何ができるかを考えている。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>退職している上の年次の元社員にも調査を行ったことから見えてきたことの方が多かった。一方、現役世代から見えてきたことは限られ、その点に心配が残る。報道姿勢も形式的に見えた。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>大手メディアの取材能力が全体的に劣化しているなか、過去の取材を後追いの形で追うことがそもそも能力的に厳しいと感じている。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>まだまだ足りないし、組織内の意識改革は進んでいないと思う。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>国内大手メディアの多くが、この世界的に最も卑劣な児童虐待に間接的に関与していたことを隠し、まるで第三者としての見解を報道するかのように外側の立場からニュースを制作しているように見えた。その一方で、「●●※事務所名」の立場が弱くなった途端に叩き始める。矛盾した歪んだ動きが現在の日本の姿を現しているかのように感じることもあった。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>自分自身の働き方と、この問題に対する思いに乖離があり、ダブルスタンダードの中、日々を送っているようで苦しい。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」の問題が公になった今でも、今後「●●※事務所名」のタレントの取材ができなくなることを恐れて、配慮していると思わざるをえない場面がある。いわゆる社内の「ジャニ担」に過度な力が集まっていて意見がいくにくく、議論がしづらい。社内全体の空気として人権に対する感覚もにぶく、「●●※事務所名」問題取材している人は「頑張っている人」という扱い。本気で頑張っていると思っているわけではなく、冷笑的な態度。どこの社も検証しているが、本気でしているとは思えない。</p> <p>「●●※事務所名」問題を報じてこなかった主な理由を、「男性の性被害に思いが及ばず反応出来なかった」という反省をしているが、昨年来映画や演劇でも女性の性暴力の告発が相次いでいる。でもテレビ局はほとんど取り上げないし、新聞の反応も限定されている。</p>
<p>今回の問題も時間が経ち、皆が忘れるのを待っていると思う。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>検証が甘い。ほかの事務所も同じ。テレビに「●●※事務所名」、「●●※事務所名」だらけ。歌番組に「●●※企業名」メドレーが必ず入る意味がわからない。(50代女性・その他)</p>



<p>今年、テレビ報道への信頼が回復不能なまでに損なわれた、と感じている。</p> <p>内部にいと、おかしいとは思っていても、自分で何かを変えられるとは思えない巨大な空気がある。組織が大きすぎて、この空気がどこから出てくるのかも分からない。働く一人一人は優秀で、問題意識も持っているのに、集団になるとなぜか当事者意識が薄まってしまう。目の前にある問題をどう扱っていいか分からず、スキャンダルとして消費してしまっているのではないか。それによってメディアへの信頼度が下がり、メディアの自信やプライドが下がり、ますます質が落ちる、という悪循環が生まれている。自浄能力があるとは思えないので、第三者機関の検証は必要だ。</p> <p>テレビの体質・姿勢の改善は、おそらくテレビだけでは頑張れない。視聴者からも、「質の高いものを見せろ」と尻を叩いて欲しい。(20代・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」における性暴力について大きく問題視されるようになったのは良い事だと思います。事務所の対応から世間よりハラスメントや性暴力に対する意識の低さとそれを許してきた環境などを感じて暗澹たる気持ちになります。報道に関しては被害者の方に誹謗中傷が向くような報道の仕方は避けられないのかと思ってしまいます。(30代女性・出演者)</p>
<p>芸能の世界もコンプラに則ったクリーンな世界になれば良いと思う。反面クリエイティブで実力主義な世界なので100%クリーンになることはないのかなとも思う。(30代女性・出演者)</p>
<p>日本の文化を潰そうとしている(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>報道機関の構造から課題を解決しないと、「●●※事務所名」だけトカゲの尻尾切りをしても意味がないと思う。他にも問題のある芸能事務所は沢山あると具体的な話を耳にする。だが、そちらの人々はお咎めなしになっている。(30代男性・その他)</p>
<p>ジャニー喜多川氏による性犯罪の特異性はあるにせよ、広範な意味でのハラスメント、忬度等は他の場にも極めて広く存在していると思う。「●●※事務所名」問題だけを「精算」した気になって、結果的に他の事例が蓋をされるようなことはあってはならない。(40代男性・その他)</p>
<p>男へハラスメントは報道されにくかったのだろうがLGBT時代になり、普通に人権侵害と捉える人が増えて良い方に解決の流れがあると思う(40代女性・出演者)</p>
<p>既得権益に守られすぎて、人権に対しての感覚が麻痺してるように思います。(30代女性・ファン)</p>
<p>報道も、当事者へのケアも、「●●※事務所名」の事象を顧みたま自省も、あらゆる面で不十分だと感じています。多くの方が、何十年も放置していたことが、最大の悲劇だと思います。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>問題を明るみにし、検証されてくのは望ましいことだが、メディアは視聴率確保のためにスキャンダラスに報道しているようにも見え、問題を食べ物にした商業主義であるように感じる。(30代女性・出演者)</p>
<p>報道機関、特にTVの隠蔽工作がひどすぎる。検証が全く足りない。特にグルーミングに関して日本人は無知すぎると感じる。(60代女性・出演者)</p>
<p>やっと業界の闇が明るみに出た印象(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>ジャニー喜多川氏の性加害は許されないことで、事務所にも責任があると思います。「●●※団体名」の自死にも衝撃を受け胸が痛いです。「●●※団体名」の責任は大きく追求が必要です。しかし、メディアの報道の仕方には疑問が多くあります。閲覧数を伸ばしたい為の、刺激的で奇異な事例をあげて悪認定するだけでは、問題の本質がかき消えてしまうような気がします。</p>

消費してきた者、重用してきた業界も時間をかけて問い続けていかななくてはいけないと思います。 (50代女性・出演者)
ウミを出し切って欲しい(40代女性・メディア関係者)
性加害が明るみに出て、今までの闇が少しでも無くなれば良いし、これをきっかけに日本も声を上げることができる世の中が変わって行って欲しい。(50代女性・事務所関係者)
業界内では当たり前だと思っていたことが一般にはそれほど知られていないのだということに驚いたものの、まずは知ってもらうこと、そして業界内の常識は歪んでいるのだと業界内で認識することが大事だと思っている。ただ過度に読者の目線でセンセーショナルに書き立てる報道の姿勢には疑問がある。ジャーナリズムとは異なるのではないか。(40代・出演者)
やっと明るみに出始めたか。 音楽業界と芸能界は隣接してるが、芸能界のほうが不健全で闇が濃いと感じてた。特にテレビタレント。(50代女性・その他)
広く知ってもらう必要があると思う。ただ、表面をなぞるだけでわかりづらいものや、タレントコメンテーターに頼りすぎる部分も多い印象。報道している側にも問題があったかと思うが、その点についての報道がないように思う。(50代女性・メディア関係者)
公人はどこまで公人でなければいけないのか。報道される側も報道する側も境界が曖昧になってきている気がします。 演者は、ファンに近づき過ぎている(会いに行けるアイドル辺りから距離感が変わっている気がする)と思うし、ありのままの自分を見せることが、商品になっている気もします。それに乗じて報道側もどんどん踏み込んでいる。 プロはプロとしてあるべきだと思うし、それを報道側も尊重すべきだと思います。(40代女性・その他)
あまりにも根が深いので、正直、伝える側(アナウンサーやキャスター)も非常につらいだろうと思う。自分たちも決して無縁ではないと分かっているからこそ、どんな態度で伝えればいいのか深く懊悩しているだろうと思います。(50代女性・その他)
理念の問題よりも、単純な人手不足がある気がする。(20代男性・メディア関係者)
「●●※事務所名」だけではない、芸能界全体、社会全体の問題だと思っている。資本主義でもものづくりよりも、より大きなお金が動く方へと偏ってしまう。(30代女性・事務所関係者)
私は現在公認心理師として、相談福祉分野でも働いている。  性暴力根絶のプロセスにおいて、報じることは大切であるとは思う。  しかしスキャンダラスな内容を報じたあと、相談はこちらまで…とリファー先を垂れ流すだけの報道スタイルは、本当に報道と言えるのだろうか？  報道に触れただけで、フラッシュバックに曝される人もいる、報道する側にも被害者・加害者がいる可能性等、メンタルヘルスにおける専門家の指導を受けていない「想像力の欠如」「バイアスに気づかないままの発信」の典型例と感じる。

<p>センシティブな内容だからこそ、タレントのコメント受けではなく、専門家を交えた心理教育を含む報道を願いたい。(40代女性・出演者)</p>
<p>私は、「●●※グループ名」のメンバーオーディション合宿(2022年実施・「●●※番組名」で放送)にスタッフとして約1ヶ月帯同していましたが、合宿期間中休みは1日もなく、早朝から深夜まで労務管理がなされない状況での撮影を強いられました。オーディション応募者に対しても、スマホを没収して一日一時間しか使用を許さなかったり、不眠に悩む子が体調を崩したりと7年間メディア業界で働いてきて最も問題が多かった現場でした。</p> <p>彼らを頻繁に怒鳴っていた、運営側の「●●※個人名」という人が、雑談の中で、昔のパワハラ自慢をしていたことが忘れられません。審査の日にスポットでやってきたヘアメイクさんや、帯同していた女性スタッフさんと「この現場おかしいよね」と話したことも覚えています。「●●※事務所名」の事案が明るみになったことで「●●※グループ名」の露出は増えたように思いますが、彼らを見るたびに複雑な気持ちと、あの合宿撮影時のしんどさが思い出されます。(20代男性・メディア関係者)</p>
<p>芸能界はみんな隠す文化が根強いと思うので、もっと掘れば細かくいろいろなことが判明するのではないかと考えています。(20代女性・出演者)</p>
<p>生ぬるい。独裁オーナーによる大量レイプ事件なのに。(60代男性・イベント関係者)</p>
<p>テレビ局内幹部はいかに鎮静化させるか?というベクトルに努力しているようです。問題の根本を解決させるようには動いていないように思えます。「●●※テレビ局名」と「●●※事務所名」の関係性が顕著かと。また「●●※事務所名」とメディアの力関係は2000年以降がより堅固になったようなのでそのあたりも自ら調査報道してほしいところです。(30代男性・事務所関係者)</p>
<p>古い体制が払拭されて生まれ変われば良いと思う。30年ほど前にとある業界のお偉いさんが集まるパーティーで「今ここにミサイルかなんか撃ち込まれてここにいる人がいなくなったら業界も少しはまともになるんじゃない」と自分に耳打ちした方がいましたが、その感じは今も変わっていません。(50代男性・その他)</p>
<p>業界の常識がアップデートされることを願います。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」は突き抜けてるけど、ほかでもありますよね。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>内容が事実であってもあまりにも無責任な報道が多い。煽るだけ煽ってあとは知らねみたいな。(50代男性・出演者)</p>
<p>これがきっかけで果たしてメディアが変わるかという疑念。もっと風とおしのいい業界になるといいと強く思う。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」事務所に関しては、明るみに出てよかったが、みんな知っていたことを、ジャーニー喜多川の死とBBCの報道がなければここまで大きな問題にできなかったのが恐ろしい。</p> <p>しばらく「●●※国名」に住んでいたのですが、「●●※事務所名」のタレントや10代の女性タレントが遊んでる様子を延々映すような、日本のバラエティ番組は異常だと思うようになりました。被害者が傷を癒すのは何年も何十年もかかる。大変なことだという認識が共有できていない。</p> <p>同時に海外に住んで初めて、自分の受けた出版界や演劇業界のハラスメントを自覚できるようになった。日本では何を言っても二次加害をされるだけだったので、麻痺していた。</p> <p>(40代女性・メディア関係者)</p>

<p>ようやく問題が明るみに出て業界が変わる一步を踏み出す手前まで来た。この問題に端を発する業界の悪しき慣習や契約制度、業務体系などを長期にわたって見直すべきだし、そうしなければ業界の未来はないと思う(40代女性・出演者)</p>
<p>素晴らしいと思う。根絶されるまで他の事案も炙り出すべきだと思う。(40代男性・その他)</p>
<p>「●●※事務所名」以外の芸能事務所を業界全体の問題にメスが入るのか、「●●※事務所名」だけの問題に終わるのかに注目している。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>暗黙の了解だったことはやはり異常であったと改めて感じた。関わったことはないが自分自身もその暗黙に加担していたのだと反省した。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」問題等は、芸の世界では昔は当たり前であったという見方も多く、業界全体が早急に解決させ、時が経つのを待っているような向きがあるように感じる。(40代女性・出演者)</p>
<p>自浄作用が働いてくれば、としか思わない。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>証拠の無い、憶測を元にした報道が多すぎるように感じます 一方で、いわゆる「コンプライアンスを守る」ことと、芸事のクオリティをあげることの両立ができるのかという疑問もあります ハラスメントはなくすべきですが、労働過多とは分けて考えるべきかと思います。稽古の時間＝労働時間というカウントは違う気がします…漫画家さんなど、製作をする職業の方にも通じるものがあると思いました。「●●※事務所名」も「●●※団体名」も、ほかの映画やテレビの業界も、20年・30年前とは少しずつ変わってきているとは感じています。特に今年は転換期でしたね。とりとめなくてすみません。(40代女性・その他)</p>
<p>個人的には振り返りや検証が足りないように思っています。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>被害者への配慮に欠けた報道があり、被害者が二次被害、3次被害に巻き込まれている。(30代男性・出演者)</p>
<p>被害者・加害者の知名度やジェンダーによらず、すべての加害者が罰され、すべての被害者が救われるべきだと思います。性被害者の声を無視する、性加害者を起用する、性加害者を擁護するなどの二次加害は深刻に被害者の命を奪います。性加害・二次加害が根絶されてほしいです。(30代・出演者)</p>
<p>不十分。過去の検証は膨大になるため組織的な調査機関が必要だがそのような機関がない。過去の事例への救済に反対する声も聞こえてきてつらい。「●●※事務所名」や「●●※団体名」など有名な事例が優先されて報道されているようで、報道自体を見るのも辛い。(30代女性・出演者)</p>
<p>気持ちが悪い 検証不足 真っ当に生きている人にまっとうに報酬が払われてほしい(50代男性・その他)</p>
<p>こんなに大きな問題になっているが、まだ対岸の火事だと思って活動している人が大勢いる。問題を自分ごとと考えると、先手を打って自らカウンセリングに行く人がいてもいいはずだが、加害者は自分の加害を無視している。 二次加害もたくさん目にしているので、正直まだ声をあげにくい。(30代女性・出演者)</p>
<p>今更、という感じ。今に始まったことではないけど、まだやってんのか、とも思う。芸能界が腐っていたのは昔から。本当にひどい世界。その裏側は表からは見えないけど、本当は視聴者側も裏の腐敗には気づいていて、それでも見て見ぬふりをしてきたのだと思う。表の煌びやかな面だけ楽しんできた視聴者側にもそれなりの責任はあると思う。(40代・出演者)</p>

<p>良い傾向で、これを機に大きく変わってほしい。(50代男性・その他)</p>
<p>知名度の高い所属者が何も意見を述べないのは2次加害を恐れてのことで理解できるが、ワインスタイン事件があったハリウッドでは知名度がある被害者が声を上げたので日本という社会の幼稚さ、未熟さを感じた。また伊藤詩織さんのような人は所属者にはいないんだあと実感。これから「●●※事務所名」の俳優がどんなにかっこいい役を演じて薄っぺらく感じてしまうと思う。(40代女性・出演者)</p>
<p>「●●※事務所名」だけではない。平等な報道してほしい。加害者はあらゆる手で自分の都合なら良いようにシステルス復帰している。(30代男性・出演者)</p>
<p>「●●※事務所名」についてはやっと明るみに出たと思い、ホッとしている。ただ、告発者の負担が大きく（自殺者も出てしまった）この構造はどうにかならないかと思っている。自分自身も告発をした経験があるが、この一連の告発ブーム（ここではあえてブームと呼ばせてもらう）に関しても、特にそれを持って企業側・加害者側が大きく変わったという進捗を聞かない。SNSで大きく取り上げられなければセーフという企業側・映像業界側の姿勢が見える。問題提起をされた場合、多くのファンを抱えるコンテンツ・芸能人などの紐づくことになる。私は親元がおかしければそこに所属するタレントや、そこが作るコンテンツも問題があると思うが（実際に問題がある中で作られたものだと知っているから）、SNS等では「タレントには非がない」「告発者がおかしい」というバッシングを受けることもあり困惑している。(20代女性)</p>
<p>BBCが報じるまで、(ジャニー喜多川の性加害のことは知ってたくせに)何も言わずにいて、今は反省してますとか、殊勝なポーズを取りつつ報道特集などで言ってるのを見ると、複雑な気持ちになります。それでも何もしないよりは良いと思いますが…。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>当時、ジャニー喜多川氏が少年タレントに対して特異な才能を持っているという認識はあったが、残念ながら昨今報道されるような人権侵害があったとは思いが至らなかった。ワイドショーの現場にも長く関わったが、「●●※事務所名」にせよ、「●●※事務所名」にせよ、「●●※事務所名」にせよ、「●●※事務所名」にせよ、それなり大きな力を背景に色んなことをしていたと思う。「●●※団体名」も「●●※団体名」も、「●●※団体名」も、「●●※団体名」も、もちろん「●●※政党名」も、そんな事例は星の数ほどある。</p> <p>今回のジャニー喜多川氏のセクハラ問題は確かに糾弾されるべきことだとは思いますが、ことさらにこれだけを取り上げ、あたかも自分だけが正義のジャーナリスト気取りの一部のネット記者は、長く情報報道系に関わった者としては腹立ちを覚えている。(その他の彼らの報道に関しては評価してただけに残念)当初の彼らの行動は明らかにセカンドレイプで有ったと思っている。なお、各局の検証番組に関しては、自分も他人事ではないので客観的に評価できないが、実際「検証できない」ことはその通りだと思う。また、ジャニー氏に反論の機会のないところでの一方的な旧悪の告白は、例え事実であったとしても、検証できない限り新聞テレビが報道に慎重にならざるを得ないのは当然で有ると思う。ジャニー氏の昔の交通事故報道にしても、今報じるのは「犯罪者の償いの終わった犯歴については報じない」という人権報道の常識のイロハのイでもある。これらは「へりくつ」に思えるかもしれない。そんな話を超えた「世紀の犯罪」だ、と言うのかもしれない。しかし、かといってそれらの常識を簡単に無視するのもいかがかとは思う。ワイドショーにおいては長い間、タレントとリポーターの友好関係（彼らは利益供与という）が築かれ、照る日曇る日、リポーターたちは日本のエンタテインメント報道を支えてきた。その彼らの「醜悪」とよぶ「正統派」</p>

ジャーナリストこそ私に言わせれば醜悪である。ちょっと書きすぎた。(60代男性・メディア関係者)
健全化してほしい。また、被害者に寄り添う体制をとってほしい。(出演者)
ただのガス抜きとアリバイ作りに終始していて、それ以外には何の意味もない。(40代男性・メディア関係者)
力のある企業が、どんな行動をしても許される(誰も問題としない)と苦しむ人が多く生まれる。 メディアは、それを追及し正していく役割があるはずなのに、まったく機能していないのが恐ろしい。 私もメディアのはしくれにいた人間として、力に屈してしまったことを未だに後悔している。私が経験したことは、そんな大問題でもないのかもしれないが、声をあげないと、それが当たり前という空気になってどんどん事態が悪化すると思う(50代女性・メディア関係者)
時代の変化を感じられない閉鎖社会で起こった事例で、この体質が業界全体に蔓延っている(50代男性・メディア関係者)
「●●※事務所名」については検証報道が遅すぎたし昔に告発した人が居たことも隠されていたのがショックでした。 現在活動中の所属経験のある人が今も何事もなかったかのように仕事をしているのが不自然すぎて不気味です。そして、タレントたちのメンタルを安心して守れる環境が構築されてないことに苛立ちを覚えます。(30代女性・その他)
日本国に住んでいると感じます。(30代・その他)
検証が不十分、関連する近い業界への影響がないままで根本的な刷新ができていない。(20代女性・出演者)
やっとなき声が少しだけ届き始めているのかと思います。しかし、酷いことをしていた連中は既に引退している人も多いので、悔しさが強く残ります。(40代男性・メディア関係者)
出稿する側、される側 起用する側、される側 のみで構成された業界内の村社会が大きな原因のひとつだとおもう。  各番組やプロジェクト内に第三者的な立場で、 契約や出演内容の妥当性をチェックする役割が必要なのではと思う。(30代女性・メディア関係者)
やっとなき表に出てきた 自分も含めてみんな知っているのに口をつぐんでいる。私は音楽が大好きだったが慣習にあまりにも違和感があり続けることができなかつた。異常だった。義務教育とは正反対の世界であり是正して欲しい。「●●※事務所名」のことなんてみんな知ってたはず。(40代女性・事務所関係者)
検証報道は、甘いと思います。当時の担当者がよそ行きの話をしているようで違和感を感じました。(40代男性・出演者)

<p>公然の秘密とタブー視されていたものに光が当てられ、これまで理不尽な立場に置かれていた人たちがようやく声を上げることができるようになってきたことは大きな前進と思う。(40代女性・出演者)</p>
<p>類似した構造の問題はまだまだ数多く潜んでいるように思えるし、こうした問題が発生しないような構造、体制の構築がもっと重視されるべきだと感じる。またメディア側では制作部署を横断しての批判や検証が常に行われ続けるべきで、その緊張関係が保たれるべきだと思う。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」は子どもが被害者でももちろん絶対に許せない事です。ですが未成年に限らず女性芸能人への性的搾取、性暴力など、とにかく全て無くなってほしい。卑劣極まりない行為。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>事実は追及するべき(50代男性)</p>
<p>「●●※事務所名」だけではない。私は2019年まで芸能、演劇の業界にいたが演劇業界もひどく今もあまり改善されていない。 特に、今も「●●※個人名」氏は存命中ジャニー氏と似たような噂が多く、パワハラもひどかった。作品の素晴らしさとは別に、そうした面をメディア検証してほしいと感じている。演劇業界に自浄作用がないので、外の目が必要と思う。(30代女性・その他)</p>
<p>事務所の体制変更などのたびに、事務所の近くにいるファンなどに対してインタビューをし、そのリアクションを報じたりする番組がある。 そういうテレビを見るたびに、元々の問題の本質を見失ってるのではないかと思ったりすることもある。 ファンの想いのようなものも大切だと思うのでこういう映像を流すのだろうが、被害者に対して、配慮が足りてないようにも感じてしまう。 もう少し被害者の立場に寄り添った報じ方してもいい気もする。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」の起用については全く話に上がらなくなりました。その一方で、何故そのような対応が必要なのかの議論がされている制作現場は身近で見たことがありません。みんな「なんとなくヤバそうだから」という理由で起用を控えてる感じです。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>事務所の忖度がある場面は、知っていたので公になるのは必然と思う。(50代女性・その他)</p>
<p>膿が出ていると感じています。「●●※事務所名」の件については最初から弁護士と心理士しか触ってはない案件だと思っていました。結果まったく別方向に振れましたが、仕方がないのだろうかとも思っています。まだ結論はわかりません。(50代女性)</p>
<p>外圧がないと報道できなかったこと、恥ずかしいと思います(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>こういう事案は大手だけでなくあらゆる場所で発生している根深い因習だと感じる。マスコミに携わる人には少なからず特権意識がある。 問題提起や報道によってそれらが明るみになることで、様々なバックラッシュが起こっているがこれを機に少しずつでも健全化へ向かってほしい。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>これまで忖度していたのを黙っていた理由を何も反省も対策もしないのはなぜか(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>自分もこの業界にすぎで、あるという事実は知っていながらも、何もアクションを取れなかったなと思っています。それは現在も続いていて、どうしても何かを発言したりすることによって仕事</p>

<p>を無くしてしまうのではないかと。交わしているけいやくしょに違反してしまうのではないかと、自分だけではなく周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかとという恐れがあります。ただ、そういった空気感自体がこういった問題を引き起こしていると思うので、世間にさらされない方法で声を上げる場所などが作られたらいいなと思っています。また、各個人に責任を押し付けるというよりは、組織的や慣習的な観点から物事を見つめて、追放するだけではなく、構造自体を批判することが大切だと思います。また、なかなかやり玉にあがらない広告代理店など、さらに大きな力を有している人たちへの報道が少ないのが残念です。(20代・出演者)</p>
<p>テレビは取材に行かなくなって久しい ネタをネットで探し週刊誌やスポーツ紙発のネタとして責任を放棄 それは芸能に限ったことではない。</p> <p>他局との差別化より一体化？ 同じタレントに同じ内容 「●●※事務所名」が不在で成立するの かと案じたが時が解決したような虚しさを感じる</p> <p>テレビを見るとバカになると言われて育った全員集合世代からすれば半世紀前の親の小言がジワリと腹に効いてきた(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>明るみになって改善してほしい(40代男性・出演者)</p>
<p>2000年から「●●※国名」在住でクラシック業界に身をおいています。日本国内での報道がどのようになされているかほとんどわかりませんが、オンラインの世界では、ジャーナリズムでの問題提起や報道の姿勢はある程度評価できるものもあると思います。私たちは自分自身が加害側と被害側両方になり得る事を常に考えなければいけないと思います。パワハラやセクハラの被害にあった私も、当時、友人や後輩の被害を聞いて、そういう時代であったとはいえ、ああ大変だったね、というリアクションしか起こせなかった私は加害側に加担していなかったと言えるのでしょうか。他人事として捉えてはいけませんし、それは社会的活動をしている個人や団体が主体的に引き受けていかなければいけないはず。</p> <p>曖昧な言葉、例えばイタズラやわいせつ行為などゆるやかな言い方ではなく、被害の幅はあるにせよ、性的ハラスメントや性的暴力はれっきとした重大犯罪として明言、表現するべきだと感じます。(50代女性・出演者)</p>
<p>とにかくどんな方法でも良いので改善してほしいです。(30代男性・イベント関係者)</p>
<p>明るみを出して、創作の場であってもハラスメントは良くないという気風を高めてほしい。(50代男性・出演者)</p>
<p>偉い人に言われたら断れない(40代女性・出演者)</p>
<p>現実の0.1%程しか問題提起も報道もされていない。現実はその100倍以上に悪質。(20代女性・出演者)</p>
<p>不十分。構造的にべったりすぎて無理があるようにしかみえない。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>組織そのものの環境を変えることは困難であり、個人が正当に声をあげたとしても潰されると感じている。(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>組織内で起きていることを揉み消すのは簡単。しかし外部から解決を促すのは難しい。従業員の権利もそうだが、従業員自体がどう権利を主張したらいいかのリテラシーがない。セクハラ、パワハラの境界も曖昧。コミュニケーション、労働時間が重要な業界だから。(20代女性・メディア関係者)</p>



手ぬるいと思う。また、実名で被害を告発しバッシングなどにさらされている人を守る報道の仕方や、社会的な雰囲気醸成する報道の在り方があるのではないかと思う。ネット民や加害を軽視するファンの声などを、「ファンの声」、「ネットの声」などと安直に紹介するのは、それらの無知な声が一理あるかのような印象を与えて危険だと思う。

「●●※事務所名」、「●●※団体名」だけでなく、歌舞伎界（「●●※個人名」のパワハラ、セクハラ疑惑）も詳しく後追い報道してほしい。被害者の側に立つ、という毅然とした態度が足りない。「●●※事務所名」の二次加害を助長・放置する姿勢も厳しく問うべき。強者の側を応援するというのが、（前代未聞の性加害が放置されていた件、人生を狂わされたり、死者が出ることもある深刻な問題であること）ハラスメントにおいていかに問題であるか、という基本的な構図の理解が日本社会に浸透していないので、そういった基本的かつ本質的なことも報じていく必要があると思う。

昨今の「両論併記」とか「多様な意見」「誰も傷つけない語り」が実質的に加害の軽視、二次加害につながる雰囲気を醸成しているように思う意味で、ぬるい報道姿勢、ぬるい無責任なコメントーターのコメントなどはこうした問題の場合、加害側を擁護・加害を助長する要素たりえると思う。弱者の側に立つという、断固とした報道姿勢が大事だと思う。(30代女性・その他)

もっとやってほしいし今回のこともすでに労基が動いているのにあれこれ理由をつけて支払いを逃れようとしている。

「●●※行政機関名」補助金の不正受給もたくさんしている。社会的評価と乖離がありすぎる。不当な過重労働で音楽的キャリアのチャンスを何度も逃したが今思えば意図的だった可能性もある。

他の若い子が同じ被害に遭わないためにこれも調べて明るみに出して欲しいです。切実に。(30代女性・その他)

ネットや海外メディアがなかったらどうなっていたのだろうと思う。利害関係でがちり固まった世界を崩し、正すことの方法を常に考えて行きたい。(60代女性・出演者)

海外が報じなければ日本のメディアは変わらなかった。日本の教育研究界はぜったいに変わらないと思う。男性社会だし研究界でのアカハラセクハラなど関心も持たれないだろうから。(50代女性・その他)

もっと膿を出すべき。女性被害者は「●●※事務所名」の比ではない数があるだろう。より暴力的な雄が偉いという男性社会の価値観がそもそもの原因。性加害はおもしろネタではないということすら理解しようとしなない男達は一体何なのか？(30代女性・出演者)

ハラスメントが表面に出てきたことが喜ばしいことだと思います。せっかく勇気を持って告発した被害者が報われるような対策をお願いしたいです。(50代女性・その他)

いくらでもそういう事例はあるので全然足りないくらい(40代男性・出演者)

もっと厳しく追及すべき。特にメディアの対応について検証が足りない。甘いと思う。私は一時期、数字をとれる「●●※事務所名」をキャストイングできないバカと言われていた。「●●※事務所名」をキャストイングする必要を感じていなかったただけだが。楽に数字を取れる存在として安易に使っていたはず。(40代女性・メディア関係者)

報道しないより良いけど、ジャーニー喜多川氏のことは20世紀から噂はよく聞いていたので、マスコミ、特に放送局社員が知らなかったというのは絶対保身のための嘘だと思う。(50代男性・メディア関係者)
やっと問題になって表に出てよかった(50代女性・出演者)
他人事とは思えず、アニメ業界の事務職であった私ですら上司のハラスメントを受けて体調を崩し抑うつ症状となり、退職した。 アニメに関わる声優や俳優のハラスメントがどうなっているのかは詳しくはわからないが、私の上司は声優や俳優に深く関わる人物であったため、現場でどのような発言が行われていたかは不安が残った。これ以上、力のある人間が従属する人間を人間として扱わないような事例は起きてほしくない。(30代・その他)
お茶を濁した感じで終わっているのがほとんど。根本的に変わらないだろう。「●●※コイン名」の件はどうなるか。(40代男性・メディア関係者)
遅すぎる。もっと早く広く報じるべき。(30代男性・その他)
本当にひどい。でも強い事務所ってそうなんだろうなと思うし「●●※事務所名」以外にもたくさんあると思います。(50代女性・事務所関係者)
複数の報道機関で検証報道を行ったのは良いと思いますが、第三者機関による検証が行われていないことは問題だと思います。また、報道機関が今後も各種ハラスメント行為を防止できているかなど、継続的な検証と情報開示を求めたいです。(50代女性・メディア関係者)
未熟(40代女性・メディア関係者)
解決に時間や当事者への負担がかかりすぎている。報道を受容する側が当事者への中傷や無関心を問題視していない。(30代女性・イベント関係者)
つらい。生きにくい。(40代女性・事務所関係者)
令和時代に旧陸軍式が未だ生きているとは驚きました。(60代男性・その他)
昔から積もり積もった日本の因習が、やっと日の目を見た。「●●※団体名」や「●●※事務所名」に憧れる子どもや親が、本当に何がそこで行われているのか知らないまま、その馬鹿みたいな権威を妄信する、一定の層がそれらを温存してきたのだろう。今まで、●●※特定可能情報だって、激しいDVやセクハラ事案の震源地だった。そして、その家族も血縁であるという理由だけで、能力に比例しない高い地位を得ることができる。結局、地縁、血縁、縁故主義、権威主義の業界なのだ。他にも、平和団体や、●●※特定可能情報、宗教団体にも同じような構造が隠されている。(50代女性・その他)
闇は取りきれないと思いますが、できる限りクリーンになってほしいし、声をあげやすいような環境ができあがってほしい(30代女性・その他)
どんどん報道するべきだが、当事者のプライバシーにも配慮しつつ、検証はしっかり行うべき。根拠のない誹謗中傷はやめてもらいたい。(50代女性・イベント関係者)
正直、辛い。古い傷が痛むし膿んでいく感じがする。誰かを傷つけて誰かから様々なものを掠奪しているもの、人を、無批判に煌びやかに扱っている構造自体に毎日幻滅している。(40代・その他)
二次被害がひどく絶望する。日本の女性は「自分なんて」という思いが染み付いていて、被害に遭っても自分が悪いと責めすぎる。本当にどうにか女性たちが自分達の心と体の健康を大切にきちんと自分達の意見を言える世の中にしていきたいと強く感じる(30代女性・その他)

<p>前頁で答えてしまったかもしれませんが、問題提起も検証も「●●※事務所名」以外はほぼされていないと思う。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>旧「●●※事務所名」問題では大手事務所を敵に回すことになるので、追及が通り一辺倒で生ぬるい上に、こういういい方も何ですが、故人の上に男→男だから殊更騒がれているようにも感じます。</p> <p>干す・干される、いわゆる枕営業、パワハラやセクハラなど、掘ればいくらでも出てくると思います。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>必要なことであり、今歴史が変わろうとしている。妄信的になってしまっているファンの意識をしっかりと改めるような報道や特集番組などが作られることを期待する。(30代女性・出演者)</p>
<p>よく掘ってみると矛盾が多いものや、証言として信用に値しないような信憑性の低いものまで取り上げ、あまりにも被害者とされる側の言い分に立ちすぎだと感じる。証言に信憑性があるかどうかを判断することも求められると感じる。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>本当に健全化したらいいと願ってます(40代女性・出演者)</p>
<p>芸能界で枕営業などがあるという噂は聞いていました。報道業界の中でもセクハラやパワハラ、性被害はあるだろうなと思っていました。また日頃、「●●※事務所名」や別の界隈のセクハラや性被害、パワハラは強く断罪しているジャーナリストの方々が自分たちの身内の問題は見て見ぬふり、スルーしてしまう甘い姿勢に強い疑問を感じています。本当の正義とはいったいなんなのかと思います。(50代女性・その他)</p>
<p>他に大きな事件や政治的問題、世界情勢のトピックがあるにも関わらず芸能問題についてばかりに報道が偏りがち(40代女性・ファン)</p>
<p>明らかに付度が見える報道の仕方、BCCなど海外で騒がれないと問題にならないなど、日本のメディアの質の低下を感じます。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>芸能という村的、閉鎖的な業界構造によって、未成年者への大量の性的暴行・搾取が行われていたことが、これまで何ら問題として扱われてこなかったことこそが最も問題で、「●●※事務所名」や歌舞伎、「●●※団体名」などわかりやすく有名な企業・団体が抱える大きな問題解決は言うまでもないが、同時に社会全体の人権意識が向上されていかなければ意味がないと感じている。これらの問題に関する報道は、話題性があるから報じるという姿勢ではなく、社会からハラスメントを無くすためにはどうすれば良いのかという視点で、長期的かつ建設的な検証・提案・報告を期待する。報道を目にした業界内外の個人もまた、それらの報道を受け日々の行いや考え方を見直し、自らの意見をしっかり持ち行動できるようになればと思う。(20代女性・イベント関係者)</p>
<p>私自身、まだトラウマがとれないため、ニュースに触れると、呼吸がくるしくなったり、目のはれたりした。とにかく、芸能の世界が、良くなる替わり目なのだと信じたい。(40代女性・出演者)</p>
<p>今後、人権侵害は2度とあってはいけないということをきちんと明言していくとより良いです。(40代女性・その他)</p>
<p>早く改善されて欲しい。</p> <p>特定の現場や場所、会社のみならず芋蔓式にあらゆるところに問題があると感じる。</p> <p>日本社会の崩せなかった部分が崩れてきているとも感じる。</p> <p>被害者に寄り添った選択、報道、対応をするべき。またそれを行うに伴う勉強をするべき。(30代・イベント関係者)</p>

<p>加担しているメディア特にテレビ局の制作部門、広告会社のキャスティング部門の闇についても検証し報道すべき(50代女性・その他)</p>
<p>ありえない。「昔とは感覚が違う」のではなく、を昔の感覚が異常だった」のだと思う。みて見ぬふりは懲り懲りだと感じる。(30代女性・出演者)</p>
<p>「●●※事務所名」に限らず、「●●※個人名」さんの件など大手メディアは性暴力やハラスメントについて、自ら検証を行うべき。マスメディアが静観して、暴力を肯定化してしまっていると感じるし、「●●※個人名」さんを性教育の番組に起用してしまう意識の低さに同僚として危機感を覚える。個人が声をあげるのが難しいからこそ、メディアが向き合わなければならないと思う。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>もっと問題提起され早く膿を出しきるべき。テレビ局が特定の芸能事務所の株を保有するなど禁止したらいいのではないかと思います。よしもと然り、報道の妨げになる。(50代女性・その他)</p>
<p>言われたからやる感、まわりがやってるからやる感が強い。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>どこもが甘じがらめ。警察や法律などが動くとやっとなんと動くという現状。一部ネットで騒ぐだけ。どうかメディアはしっかりと報道してほしい(50代女性・出演者)</p>
<p>タレントに罪はないというけれど、圧倒的に有利な立場で出演していたのだから、不公平だと思うし、その点を自覚してほしい。報道は政治にも「●●※事務所名」にも忖度しすぎていて、見るべきニュース番組・新聞がない。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>特にエンタメ系の紙媒体は売上のために、芸能事務所の言いなりなので、そう変わらないだろうなと思います。もっときちんとした報道内容が増えるとよいのですが、ゴシップ系は信用度が低い記事も多いように感じますので、変わるほどの影響は与えられないだろうなと。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>これまでタブー視され、隠蔽されてきた事柄が、BBCや日本外国特派員協会で記者会見といった外圧によって、ようやく露見したという印象です。逆にいうと、日本メディアの無責任はその分、罪が深いと感じています。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>ようやくこうした事例が見え、罰されるようになってきたことは良かったと感じる一方、上の世代が完全に排除されるまではまだまだ強く残り続けるのではないかと感じます。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>芸能界においては、ルッキズムがある事に対してはある程度仕方ない事だと思う。しかし、過度なハラスメントについては、我慢してきた人、泣き寝入りしてきた人がいるのも事実。ただ、過去の話は今頃されても、ピンとこないし、正直お金が欲しいだけなのでは、とってしまうところもある。(40代男性・出演者)</p>
<p>良い動きだと思う、芸能界での性被害の話はたくさん聞くので、もっと取り扱われてほしい。二次加害がひどすぎる。職場でも家でも話題にされるので逃げ場がない(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>あらゆる不当な行いはどんどん明るみにされて、多くの人がそこに関心を持って声を上げて欲しい。そのために、勇気ある報道や問題提起をする人と連帯したい。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>減少する雑誌の売り上げをアップさせんと、タレント依存ともいえる状況が生まれていた。数字至上主義に走り、「見たくないものは見ない」という悪しき習慣がはびこっていたと思う。(50代女性・メディア関係者)</p>

<p>共犯関係であったはずのメディア自身の検証がまだまだ不十分だと感じます。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>とにかく、事件についての検証報道が遅いと感じます。グルメ番組や動物番組をやるよりも、ガッツリ、スピーディーに検証報道をしてほしいです。(30代女性・事務所関係者)</p>
<p>あの大きなマーケットの構造が芸能界の隅々まで浸透していて、演劇映画芸能界の「●●※個人名」さんたちが頑張ってくられたようなことが、小さな場末のジャズ業界にもはびこっていて、アメリカでもそれは同じで、性的同意なんか誰も知らなくて、自分みたいな情弱で家族も住まいも見るからにやり返す力がないものを世話すると美談にしながら無意識なのか選んで狙っていると感じます。「●●※個人名」さんは相談した弁護士にまで性的搾取をされていたのを知ってからもう絶望しています。「●●※個人名」さんとか「●●※個人名」さんと助けてと言える社会になるといいですよ！とか言ってるけど、助けてって言ったら弱い者にむらがるんだから。とか言っちゃいけないですよ。信じて信じて信じて生きなきゃいけないですよ。&lt;※不穩情報を削除&gt;</p> <p>(40代女性・出演者)</p>
<p>正直メディア自体で変わる事は難しいと感じている。国民が気づいて世論で動かして欲しい。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>問題点を追及する前に忖度が働くのが当たり前になっている「メディア」に身を置いていることを虚しく感じます。</p> <p>いつも会社で真っ先に話し合われるのは炎上回避のハウトゥであって、ジャーナリズムはそこに無いと感じます。</p> <p>コンプラが厳しい時代だから、自分はノンポリだから、というのが口癖で、信念を持つ人がほとんどいません。</p> <p>信念が無いので、いざ炎上した時に問題点を正しく説明できる人がおらず、対応が遅れたり、対応を誤ったりするのではないかと常に悲しく思っています。</p> <p>炎上、を恐れてばかりなので、信念を持って発言する人はあまり起用されず、無難で、毒にも薬にもならないことや人ばかりがフォーカスされます。</p> <p>だらだらと書き連ねてしまいましたが、どこでもこうした問題が渦巻いているのではないかと思います。(20代女性・イベント関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」はジャニー喜多川という強い人が亡くなったから明るみに出たんだと思います。他にも性的搾取をしている事務所は沢山ありますよね？どうして報道されないんだろう？全ての膿を出さないと意味がないと思っています。(50代女性・出演者)</p>
<p>報道のなされ方や扱われ方が杜撰だと感じています。一人一人がもう少し重く受け止めつつもセカンドレイプのような行為・発言は控え、被害者に寄り添うべき。起こったことが過去であることや数年経っていることは、問題をなあなあにする理由や免罪符には到底ならないかと。(30代女性・出演者)</p>
<p>1950年代から約60年以上、ジャニー喜多川氏（以下、ジャニー氏）の死まで続いたと思われる性加害問題で、最も大切なことのひとつは、ジャニー氏の性加害の被害者である（元）「●●※事務所名」タレントの心理的、医学的治療と支援と損害賠償だと考えています。そのためには、ジャニー氏の性加害を隠ぺいして知らないふりを、1960年代から2023年まで続けた「●●※事務所名」事務所に、倫理規定と行動規範がある第三者委員会を作らせ、性加害実態調査、報告、再発防止を行</p>

わせ、その結果外部の専門家による心理的、医学的治療と支援と損害賠償が行われることが大切です。このことは、TV、新聞の大手メディア、週刊文春（以下文春）、署名運動、インターネットメディア、SNS等でも語られています。

しかし、これだけでは、本当にジャーニー氏の性加害の被害者の心理的、医学的治療と支援が行われたいと思います。やはり心理的、医学的治療と支援には、国・自治体・性暴力被害者支援センター・性暴力被害者支援の専門家（たとえば、精神科医、臨床心理士、ソーシャルワーカー(SW)）による「男性性暴力被害者支援」制度が日本で充実している必要があります。日本の大手メディア、週刊誌、インターネットメディアも日本の国・自治体・性暴力被害者支援センター・性暴力被害者支援の専門家の男性性暴力被害者支援が充実するように報道する責任があると思います。

なぜならジャーニー氏の性加害の男性性暴力被害者は日本の男性性暴力被害者の氷山の一角だと思われるからです。

たとえば New Zealand 政府の Ministry of Social Development は Services for Male Survivors<sup>1</sup> というページで、「男性性暴力被害者の支援ガイドライン」や「効果的な男性性暴力被害者支援」に関する調査報告書を作成しています。これらの報告書の中で、Male Survivors Aotearoa<sup>2</sup> という男性性暴力被害者支援の全国組織があることや、効果的な心理療法（たとえば、持続エクスポージャー療法、EMDR、認知処理法、グループセラピー[support group]）が紹介され、どのように全国の男性性暴力被害者支援団体が効果的な支援ができるか、また男性性暴力被害者支援団体の支援をどう評価するか、どのように男性性暴力被害者の支援に関する意見を当事者に聞くかに関して詳細な科学的調査報告が行われています。

しかし日本では、国・自治体・性暴力被害者支援センター・性暴力被害者支援専門家のうちだれも効果的な支援も行っていないし、男性性暴力被害者の意見を証拠に基づいた調査によって聞いていないので、男性性暴力被害者中心の支援も、男性性暴力被害者のためのグループセラピー（集団療法）も、男性性暴力被害者支援団体と全国組織も、十分な数の男性性暴力被害者のための心理療法の専門家も無いのです。ちなみに日本の各県に1つある性暴力被害者支援センターの殆どが男性性暴力被害者には電話で10分程の簡単な相談のみして面接さえ行っていません。このことも全日本のメディアが適切に報道していません。日本のメディアは、日本には欧米のような実証的な国・自治体・性暴力被害者支援センター・性暴力被害者支援の専門家による男性性暴力被害者支援が無いことを報じていません。

カウアン・オカモト氏の記者会見の発言では「ジャーニー氏のマンションでは、毎晩3人のJrがジャーニー氏の性加害のために用意された寝室で眠らされた。」と言っていたので、60年間でジャーニー氏による男性性暴力被害者は少なくとも6万人以上いる可能性があります。「●●※事務所名」はメディアとスポンサーが追求すれば、性加害の包括的実態調査、被害者支援、再発防止、損害賠償を行う可能性はあると思います。しかし New Zealand を初め英語圏、ドイツ語圏、北欧諸国の多くの国が過去50年間発展させてきた国・自治体・性暴力被害者支援センター・性暴力被害者支援の専門家による男性性暴力被害者の意見を中心に置いた実証的な男性性暴力被害者支援と制度を日本は持っていないので、このままでは日本社会の男性性暴力被害者だけでなく、ジャーニー氏の性暴力被害者の支援も男性性暴力被害者支援制度を作らなければ、20年程度はほとんど行えない事態になると思われます。それゆえ日本のメディア（大手、インターネット）はたとえば New Zealand や英語圏の男性性暴力被害者支援先進国の男性性暴力被害者支援<sup>3</sup>を紹介して、日本の国・自治体・性暴力被

害者支援センター・性暴力被害者支援の専門家に実証的で回復支援的な支援を提供するように促進していくことが必要だと思います。

注：

1: <https://www.msd.govt.nz/about-msd-and-our-work/work-programmes/initiatives/family-and-sexual-violence/specialist-services/male-survivors.html>

2: <https://tautokotane.nz/>

3: イギリス・マンチェスターの男性性暴力被害者支援団体 We are Survivors. の HP。イギリスと英語圏の男性性暴力被害者支援団体の一覧が掲載されている。ちなみにこのような男性性暴力被害者支援団体は日本に存在しない。

<https://www.wearesurvivors.org.uk/support-services/online-support-apps/>

(50代男性・その他)

名前が変わるだけで何も変わらないと思う(40代)

なぜもっと早く動けなかったのか不思議で仕方ない。(20代女性・ファン)

もっと厳しく追求してほしい(30代女性・出演者)

正直、何よりも二次加害が溢れていることがつらい。

男性ジェンダーであることを被害の矮小化に使うような発言が溢れていることもつらい。

ようやく事態が動いて本当によかったとは思っている。

被害者がこれ以上苦しまないような社会であってほしい。

「●●※事務所名」事務所はちゃんと責任をとって、被害者のさまざまな回復までをもサポートしてほしい。

僕はメインの報道業界？よりは少しズレた位置にいるため、告発などがあまり効果的でない状態にある。

報道関係者が日々受けている圧力を、想像するだけでしんどくなる。(30代・メディア関係者)

被害者は沈黙する人間が必ずいます。そのために被害者は悲しい思いに囚われます。また、元を正せば周囲が知っていたなど、誰かしらハラスメントに関与していると思います。「人のこと言えるのか？」です。次々ハラスメント被害が起き続ける現実には重大さを感じます。そうならないよう、相談窓口を早期に設置すべきです。(30代男性・その他)

もっとやってほしい。一般の人たちの意識の向上に役立つと思う。(50代男性・出演者)

けっきょく加害者側のゴネ得、逃げ得です。(30代女性・出演者)

どんどん明らかになることで、それまで当たり前だったことが異常であることをもっと一般社会レベルで意識づけしていき、変化に繋げていくことが大切だと思う。(40代女性・出演者)

Q12. 芸能・報道分野で活動・仕事をする上で、不当な慣習だと思っていることや、今後改善されてほしいこと

昭和の人権感覚(60代男性・メディア関係者)
無駄な日付特ダネは業界全体として止めたい。「●●省は×日、■の方針を固めた」「白書の内容がわかった」とか。ばかばかしい。
検察リークに基づく偏向報道の是正(40代男性・メディア関係者)
取材対象に過度に近づく取材。(40代男性・メディア関係者)
番組制作能力があるから、偉い人のオトモダチだから、このタレント・芸人は数字を持っているから、として性加害や犯罪を隠蔽、不問に付す体質がいまだにある。 できる人間はハラスメントなどしないし、社会が見えてないという事に他ならないのではないか。そして一度性加害で処分されても数年後には高待遇の地位に戻ってくる事も多く、被害者はその後に仕返しともいえる人事を行われている。 ここで書いた事は団体名は言えないが、すべて●●※特定可能情報で起きた事である。(40代男性・メディア関係者)
政権与党への過渡の忖度。自分も含めて。(50代男性・事務所関係者)
無意味に「中立的」であることにとられる思考習慣。(40代女性・メディア関係者)
大手芸能プロダクションや大手メディアの圧力が演者や作り手に及ばず、その人たちの尊厳が守られる社会になることを祈ります。(50代男性・その他)
明らかに放送局側が優越的地位にあり、その地位を濫用している。(60代男性・事務所関係者)
ライターは常に自由なく、抑圧されている(50代女性・その他)
ネットや大衆の意見に左右されず、いい作品を作るための人選ができるメディアになればいい。(20代女性・出演者)
大事務所の横暴やそれに対する忖度、弱小事務所に対する圧力。(60代男性)
芸能人が大手事務所独立後1年間はオファーしない、という慣習ははっきり言われていないのにウワサのように広がってテレビ界の常識のようになってしまっている。おかしいと思う。(30代女性・メディア関係者)
あまり詳しく知らないので、わからない。(50代女性・メディア関係者)
芸能事務所が、番組に影響力を及ぼすことを許さないで欲しい。現状は、報道・放送局の自律性が脅かされているのだと気づいて、商習慣を変えて欲しい。(40代女性・出演者)
・街の声と称した印象操作 ・情報番組における、話題のアイドルや俳優の新作CM紹介と称した、特定の事務所や企業との癒着による不当な喧伝行為。 ・番組制作における一般参加者(素人)への一方的な編集と不当な扱い。 (50代男性・出演者)
不当というか、監督や演出、脚本などの制作側が、主演俳優より立場が弱いこと。作品が主演俳優そのものの人気だけになってしまってることと、パーティーなどのキャスティングの悪習によって事務所に逆らえない構造に。



これは実は「●●※事務所名」を始めとした大手事務所による圧力で手先になった番組やドラマがコンテンツとしての価値を落としていったことによる側面もあると思う。(40代男性・出演者)
男尊女卑や不当な性的要求は数多くあり、誰もが言えないまま墓まで持っていく。これらは根深い問題だと感じます。少しでも報われることを願います。(40代女性)
「●●※事務所名」と「●●※グループ名」関連アーティストに曲を提供する場合、作詞作曲の印税分から1/3を必ず取られてしまう件。(知り合いの作家のマネージャーがその件を交渉しに「●●※事務所名」に行ったらその後出禁になった)(50代男性・出演者)
バーター(事務所からの要求)、主演俳優の同じ事務所内アーティストの主題歌決定など、強要がすぎると感じます。(40代女性・メディア関係者)
記者クラブ制度(60代男性・メディア関係者)
罰に対する加害者側の恐れが、真相究明や被害者救済を難しくしていると感じます。ただ暴いて処罰すれば良いというものではないと考えています。米国や西欧のアカデミアのハラスメント対応に学ぶべき点が多くあると思います。(50代女性・メディア関係者)
どこの分野も同じだろうが風通しが悪く、「良い環境作り・会社作りのアイデアは立場が高い人ほどよく思い付く」という考えを改善するべき。もちろん経験の蓄積によってより現実的なところを突く能力は高まるかもしれないが、その答えが果たして本当に唯一の答えか?そこに様々な立場から湧き出たアイデアが突破口となる可能性も充分ある、むしろそちらの方が想定を超えた成長の可能性が高いと考える。個々の力を最大限に結集するため、できることをより効率的に実現できるサイクル作りが必要で、迅速な発展につながる。(20代女性・メディア関係者)
「夜討ち朝駆け」「記者クラブ偏重」「若手女性記者を警察幹部や政権幹部の担当にして接待状態で情報をもらう手法」(50代女性・メディア関係者)
正規の社員と、制作会社所属のスタッフの待遇格差。完全に同一労働にはなっていないのを良いことに(敢えてそうしないだけだろうが)、不当なまでの賃金など待遇の格差がある。社内での上下関係以上に、圧倒的にもの申しにくい構造になっている気がする。(30代男性・メディア関係者)
大手プロダクション支配、記者クラブなどの旧態依然とした慣習。(60代男性・メディア関係者)
特定の事務所の優遇やバーター。(50代女性・メディア関係者)
一部の人が出演や番組の制作に大きく影響力を持ちすぎないように、対策が必要だと思います。そして、それがキー局から地方へもしっかりと広がりマスコミ全体のイメージがクリアになり、働く人達が自由な発言や表現が出来るよう望みます。(40代女性・出演者)
「うちの局の番組に出演させてあげる」というトーンがある中で、新番組出演の打診が先に伝えられ、本格的に調整がつき、出演をお願いしますとなって、色んな内容やスケジュールやもろもろ話したあと、もう戻れない状況で最後にギャラが提示される…その額に交渉の余地はなく、交渉しなければならぬなら、他に当たるよ、という雰囲気や実際にそう言われる、そのパワーバランスにいつも一抹の悔しさを感じています。また何年番組を続けても額が上がることはなく、上げる交渉もこちらからはした事はありません。本来ならしてもいいはずなのですが…
まず、圧倒的に権力のある局側が個人に出演のオファーをする際のルールが作られることが望ましいと思います。例えば、スケジュールやスポンサー、出演料などを最初に提示しなければならない、とか、そのルールを守らないと罰則がある、とか何年続いたら、ギャラを上げていくというめ

<p>ども提示していただきたい。同じ立場で交渉して決められたらと願います。  そのためには局側で理念やルール作りが必要かと思います。(50代女性・出演者)</p>
<p>付度、自己規制が問題。(60代女性・その他)</p>
<p>いつまでも変わらない男社会、男尊女卑、むだな飲み会など(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>地方支局における幹事社業務。幹事社が記事にならないような広報文まで電話するのは無駄な作業。(20代男性・メディア関係者)</p>
<p>人材が滞留し、新しい発想をするよりウエに媚びていた方が評価されるので、20代30代でも平成中期的な倫理観・価値観を変えられない。世代交代しても悪しき慣習や芸能界とはこういうものという感覚こそが「大人」という思考が変わっていない。  ウエに媚びるだけで制作能力のない人材が増えてしまったことで、「●●※団体名」や「●●※事務所名」に制作まで依存するようになったことが緊張関係を築けなくなってしまっている原因だ。  さらに批判精神やジャーナリズム精神のない派手好きな素人しかいないテレビ局の知識・知能的な再構築も求められる。安倍晋三がいなくなり、自民党が弱体化する今が大きな転機ではあるが、これで失敗するともうテレビは減ぶしかない。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>セクハラには相当敏感になったが、パワハラは昔ながらの指導との境目が難しく訴えにくい(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>人間関係の潤滑剤や、取材手段として取材対象との会食を一律に否定するべきではないと思う。ただし、それが「接待」と呼ばれるような片方向ではいけない。費用分担を明確にして、後ろ指を指されない形でやるべきだと思う。そのためには、会社が経費削減一辺倒ではなく、必要があるものにはきちんと経費を支払うという姿勢を取らなければいけない。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>芸能ネタは新聞社が報じるべきことではないという感覚や言い分。それにより、文春が報じるような、社会的影響力の大きな性暴力事件も、報じなくて当然という空気がある。一方で、実際は芸能人の結婚離婚や活動休止など事務所の発表は報じているし、学芸欄などで芸能人のインタビューも豊富に載せているので「芸能ネタは報じない」なんてことはない。単にいいわけではないのかと感じる。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>枕営業、パーティー、過度な旧「●●※事務所名」依存。報道と芸能の分離。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>取引先や芸能事務所など強いところが牛耳るのはなにも変わっていないと思う(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>局の正社員と、プロダクションスタッフやフリーランスの人間の、力の不均衡。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>制作会社など雇用先、体系による賃金格差。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>タレント個人の自由と尊厳を守ってほしい。例え大手事務所を辞めたとしても、なんの弊害もなく活躍できるようになってほしい。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>芸能取材は取材先に配慮をして当たり前という風潮。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>実力主義に戻してほしい。(50代女性・その他)</p>
<p>ありすぎて書ききれない。第一に、一緒に働く人や取材先を尊重できる環境であってほしい。ハラスメント被害者になりたくないし、加害者にもなりたくない。何がハラスメントかをちゃんと教えてほしい。とはいえ教えられる人は周りにおらず、自分もこの空気の中で生きてきてしまっている</p>

<p>る。この体質を変えるためには、ハラスメントは許さない、次世代に引き継がないということを外部から教育して、内部の世代交代を待つしかないのではないか。</p> <p>また、低予算と人員不足が過密スケジュールと過剰残業を生んで、上から下まで心の余裕を失わせている。辛い環境にある人同士で、辛さの比べ合いをしている。合理的に働くことを大切にして、無意味に帰れない食べれない眠れないを、無くして欲しい。(20代・メディア関係者)</p>
<p>芸能の分野では急な出演依頼に即答で応じるのが良いとされています。制作側は助かるでしょうが、そうしなければ次の仕事が回ってこないと言われていた出演者側にとってはバイトや他の予定を急遽調整するなど負担が大きいです。転職などする時は面接時にそういった話を最初におこななければならないのですが、難色を示されます。職場の側にしてみれば当然です。芸能側の現場も急遽欠員が出ることはあるでしょうが、出演依頼を断ったら次はないというのは替しのようなので無くなってほしいです。(30代女性・出演者)</p>
<p>特定の分野（時代劇、殺陣、声優業界など）上の立場の先輩やディレクター、脚本演出家に絶対服従な部分があり理不尽な扱いや発言をされる。(30代女性・出演者)</p>
<p>やりがい搾取で賃金が安い(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>芸能事務所が力を持つ構造が良くない。あと、報道機関が映画やテレビなどのエンターテインメント業界に出資するケースが多く、報道機関としての独立性を保てていない。エンタメ業界に対して、批判したり、ジャーナリズムとして切り込むという立場ではなく、宣伝マシーンと化している。働いている記者レベルでは、問題意識が人それぞれだが、構造が良くないから、真つ当なジャーナリズム精神を持った人材ほど、業界を去ってしまう。この構造は、業界内自治では解決されず、世論が高まり、行政がメスを入れなければ、変わらないと思う。(30代男性・その他)</p>
<p>「●●※アワード名」、密室的な審議によって決定されるパワープレイ制度、「やりがい搾取」体制(40代男性・その他)</p>
<p>チケットノルマ? あと団体のカルト化、コンプライアンスの無さ。(40代女性・出演者)</p>
<p>肩書のある人ほど、自分を守ることを優先して行動し、誰かを傷つけていたとしても反省をしないことです。ご自分がやられたことを、そのまま下の世代にやり返すのが当たり前になっている負の連鎖を、断たなければなりません。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>テレビドラマにしても商業映画にしても、出演者のオーディションは幅広く事務所に声をかけ、俳優の職能をきちんと審査できる場を設けるべきだと感じる。(30代女性・出演者)</p>
<p>権力を持っている上層部がほぼ男性であり、セクハラに近いことは当然で何も悪気がないことに困る。注意してもそれがセクハラと理解していない(60代男性に多い)。猥褻な冗談からお茶汲みの暗黙義務まで幅広い。(60代女性・出演者)</p>
<p>発注側は何をしても許されるという風潮は改善されてほしい。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>90年代から現在まで、仕事の環境は大きく変わってきて、改善されたと感じることはたくさんあります。しかしまだ必要です。過重労働を無くしながら作品の質を落とさない為に必要なものはどういった事か。個人が認識をアップデートすることも大切ですが、現場の環境が良くなる為には余裕が必要で、仕事量に対して時間的・金銭的な余裕が無くなるとハラスメントが起きやすくなると思います。</p> <p>個人的な経験からは、誰もが子どもを産み育てても仕事を続けられる環境作りをお願いしたいです。</p>

(50代女性・出演者)
ギャラの不提示。(40代女性・メディア関係者)
<p>休憩を取る暇があれば稽古や練習、準備をすることが良しとされるあまり、休憩時間が殆どないこと。</p> <p>できなければ寝ないでやれと疑問もなく指示され、受け入れなければならないこと（無茶なスケジュールで習得しなければならないことが多い）。</p> <p>不当なことに対して不当だと言うと仕事がなくなること。</p> <p>出演そのものが報酬と見做されて、ただ働きが「勉強」などの名目で当たり前になっていること。</p> <p>出演者が出演以外の裏方の仕事をするのが当たり前であること（主に演劇やアイドル）。</p> <p>事務所外の人と個人的に連絡を取ってはいけない、など人間関係をコントロールされること。</p> <p>オーディションや収録の日時が直前で変更されたり、急に連絡されることが当たり前になっていること（それに対応することが当たり前とされること）。</p> <p>冠婚葬祭、特に身内の不幸が軽んじられ、親の死に目に遭えないのが当然のプロ意識だとされていること（プライベートを削ることが一人前）。(40代・出演者)</p>
映画業界の長時間労働とスタッフの人件費の安さ、男性優位。記者クラブの存在、フリーランス排除は不当(50代女性・その他)
<p>年長者の仕事の仕方に引きずられる事が多く、上司がやらなかった事を当然の如く聞いてくるなど、個人にもよるのかもしれませんが、その悩みに対処するための相談、解決する人、部署がない。業務が多すぎて、相談する時間もなく、ひたすら、我慢する職場。(50代女性・メディア関係者)</p>
行政が述べた≒真実と捉え、行政ばかり追いかける(20代男性・メディア関係者)
<p>以前から言われていることだが、メンタルヘルスに関する相談を出来る先を、メディアに関わる人すべてがアクセスしやすいシステムの構築が必要に思う。</p> <p>過去に私のクライアントの中にもメディア業界の方がいたが、いわゆる一般的な医療に繋がっても、メディア業界独特のしきたりやニュアンスが理解されず、専門家との信頼関係が構築されていないのを感じた。</p> <p>メディア業界に特化した産業医やカウンセラーの存在が、確実に求められていると思う。</p> <p>(そういった場面で支援できる存在になりたい！と公認心理師を取得するも、メディア業界に心理士として入ってゆく難しさを感じています。</p> <p>メディア業界において、メンタル病むのは当たり前 or 向いていない人、のバイアスが未だ強く、予算を割く発想がないようですね…)(40代女性・出演者)</p>
本番前の怒号、罵声。あんなの当たり前じゃない。まともな人間が働く環境じゃない。(30代女性・出演者)

<p>仕事場の人全員に挨拶しなければならない、オーケストラ振り下ろしの1時間前にいなくてはならない、飲み会1次会は必ず参加の空気、低い賃金、先生同士が悪いことをしたときに公にせず内側で処理している。全て改善されてほしいです。(20代女性・出演者)</p>
<p>労働基準法など微塵も無い世界。なんとかしてほしい。(60代男性・イベント関係者)</p>
<p>労働環境はもちろんなのですが、根本的に日本の経済が良くないのでギャランティが下がる一方で、環境はよくなるのは目に見えている。国からの補助がない限り韓国のように正当な労働スキームは担保されない。報道の分野でいうとキャスターやコメンテーターは一切のCMに出演しないことをルールとすべき。利害関係があれば本当の意味での報道はできないかと。(30代男性・事務所関係者)</p>
<p>市民にもっと文化的になって欲しい。年配者(中年)ももっと自分の趣味趣向を反映した生活を送って欲しい。なにもかもが子供中心なのは子供の成熟にとっても良くないのではないかと質問にも答えずば、子供もいないのに書いてみました。</p> <p>結局、人が集まる(人気がある、数字が取れる)ところに人と金が集まり、そこに過度な付度やインモラルな行為が蔓延るようになるわけですが、それをどこまで行き過ぎなのか不当なのか判断するのは難しい。ただ、数字がとれるタレントの出演の見返りに同じ事務所のタレントで脇を固めるようなことをやっている、レベルはあがらないので業界の未来は暗いのではないのでしょうか。YouTuberのような素人に席卷されてプロがバタバタしているのはその象徴のように思います。(50代男性・その他)</p>
<p>特にバラエティの現場では差別が横行している。会議などでもセクハラや人種差別的な発言をする人はまだまだ多い。報道番組ではディレクターやキャスターの意見を上層部が勝手な付度で制限することが多い。スポーツ番組でもアスリートをタレント扱いしすぎていて、取材対象者の意向とは離れても、きれいな物語ばかり作られる。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>男性グループの事務所関係者による「●●※団体名」への付度(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>パワハラやセクハラが日常茶飯事だった業界なので、特に立場が上の方々がハラスメントをしっかり理解して意識を変えて欲しい。(50代男性・出演者)</p>
<p>大手メディア、特にテレビにおいては情報提供を求められても、その情報提供料が発生しない。フリーの書き手だけではなく周辺の学者からも多くの不満の声が上がっている(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>何も変わっていない。</p> <p>ハラスメントで演劇や文筆業を続けることが困難になっても、なんとか付き合いを保って細々仕事をしてきた。私のアーティストとしての20年は、作家エージェント社長の年配男性に手を握られた瞬間に終わったと思う。</p> <p>もっと前の項目で書くべきでしたが、</p> <p>同時期2000年代、アート寄りの演劇の劇団に所属してしばらく活動していたが、その劇団でも何度もヌードになるシーンがあった。海外公演などもしている女性演出家の作品で、脱がなきゃ気合が足りないという雰囲気を作りあげられ、まだ20代前半なのによく裸で演技していた。芸術だところちは思っている、舞台を見に来るのは男性ファンばかりだった。芸術なので、ギャラはほぼなし。今思えば、あれも立派な性加害だった。気丈に振る舞っていたが、あれ以来どこかで人の視線</p>

<p>が怖くなった。</p> <p>業界が長くなったので今はなんとか知り合いの編集者などと仕事をしているが、若者の境遇は変わらないのではないかと思う。</p> <p>なんとか変わって欲しいが、テレビなど見ていると、男性司会者の横にいる女性タレントが常に笑顔を強いられているのを目の当たりにして、絶望する。</p> <p>日本はまだ江戸時代みたいなもんだと思う。日本人の意識を変えるのは至難の業だと思う。</p> <p>(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>長時間労働／業務過多／上下関係の強さ／昔は（自分達が）できたんだからという押し付け。多忙すぎて現状がおかしいことに声を上げられない。職場の同僚を見ても思考停止に陥っていると感じる。(40代女性・出演者)</p>
<p>事務所の所属者にたいする(40代男性・その他)</p>
<p>企業としてのメリットがないのに、担当者間の関係性だけで様々なことが決まっている。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>フリーランスに仕事をする際にギャラの明示をしない放送局があること。異常なことだと気づいてほしい(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>人事決定権のある者が、その権利を利用して、自身の性的な好みにより、特定のタレントに優先的に仕事を与えることは改善されてほしい。(40代女性・出演者)</p>
<p>特にない(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>特定の代理店や事務所に配慮して仕事をするのが前提となっている部分は今後少しずつでも改善していかなければいけないことと思います。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>強面代理店の影響力。</p> <p>「●●※事務所名」と周辺の代理店は「タレントを使わないとパワハラで訴える」などの暴論を振りかざしていると聞く。</p> <p>局と代理店の関係が難しい。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>性暴力、男女二元論、シス・ヘテロ・アロセクシュアル至上主義、男尊女卑、ノンバイナリー差別(30代・出演者)</p>
<p>タレントは意見を言うこと自体よろしくないという風潮。セクハラパワハラがあたりまえだった昭和的価値観。人間をモノとして取り扱う芸能分野での人権感覚の異常さ。声を上げる側が特殊だという現状。「枕営業」という言葉がいまだに使われゴシップ扱いされる現実。などなど、まだまだたくさんあると思います。すべて改善されてほしいです。(30代女性・出演者)</p>
<p>契約のない仕事の禁止(50代男性・その他)</p>
<p>社会問題を扱う作品で、作り手側がマイノリティを悲劇的な物語の材料の一つにしか思っていない。</p> <p>依頼の連絡に出演料の記載がない。(30代女性・出演者)</p>
<p>セクハラ、パワハラ、性的暴力をはたらいたやつが平気な顔をして業界で仕事をし続けているのが全く理解できない。実名で加害が明らかになっているやつは追放されるべき。(40代・出演者)</p>
<p>スタッフのギャラの低さ。(50代男性・その他)</p>

<p>いわゆる知名度がある売れっ子だけ、特別扱い。演技レッスンを好き勝手に見学に来たりする。下積みをしている者が売れっ子のレッスンは見に行けない。先生も事務所から言われているのか売れっ子にはダメ出ししない。韓国のような高等教育(大学)などで演技を学べるような体制がなければますますお遊戯会になると思う。(40代女性・出演者)</p>
<p>最低給料の保証。時給が上がったというが芸能においては皆無。(30代男性・出演者)</p>
<p>・ドラマのギャラ交渉は、すべて撮り終わった後で交渉することが多い。私は「今回は3日で7万円しか出ません!!」というおかしな額で交渉する仕事をしていた。ストレスでした</p> <p>・助監督は、ファースト・セカンド・サードがいるが、サード助監督が一番忙しい。やることが多すぎる。サード助監督がバタバタと倒れ、飛んで行くから(無言退社)、ファーストセカンドが育たない。</p> <p>・寝る時間がないのでみんながイライラしてハラスメントをする。これも全部製作費が安いから</p> <p>・全体的な「映像業界をよくしよう」という報道は大きくされるが、バイネームの報道にはややテレビ・メディアは慎重になっていると感じる。忖度をしているのだと思う(20代女性)</p>
<p>プロデューサーが手前より年長のディレクターや演者を使うのを避けようとするのはやめてほしいです。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>「あの人がハラスメントをしているらしい」という噂が仲間内で回っていても、何もできなかった。</p> <p>「●●※個人名」さんのハラスメントは有名で、多くの同業者は知っており(私も知っていました)、だが通報したり報告する先がなかったため、誰も止めることができなかった。(30代女性・出演者)</p>
<p>何よりも、日本のトップの政治が、特にこの10年の安倍政治によって日本の「正義」が、粉みじんになっている。ウソとごまかしはどの世界にもあるが、こんな世の中だとそれを大手を振ってやる風潮が涵養される気がする。改善するのはまずそこからじゃないかな。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>政治的な話題に極端に敏感で自由な発言が許されない空気感がある。</p> <p>メディアの役員や意思決定の場のジェンダーバランスが極端に悪い。</p> <p>男女二元論的な文化が根強く、またステレオタイプが蔓延しており、少数派をは可視化するような台本(セリフや質問など)が多い。</p> <p>もっとインクルーシブなコンテンツ作りをしてほしい。(出演者)</p>
<p>自社タレントの起用を盾に、記事内容やスペース量に介入してくること。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>上に同じです(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>※時間を掛ければ良いものが出来ると云う考え方</p> <p>※自分達がと云う上から目線的な考え方</p> <p>※時間を気にしない(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>業務時間のまばらさ。移動や食費などの膨大な費用の立替。人権意識のない人や企業の多さ。労働法の遵守。コネクションでの印象などの操作。専門性のなさ。表現の自由が守られること。(30代女性・その他)</p>

<p>賃上げを何十年間もしていない上に編集者や同業者への「接待」が多すぎて仕事もできない。家にもゲームで接待はうんざりする。また、原稿料がとにかく安すぎる。食っていけない。契約書も本を出すときだけ結ぶし、出版社が負う責任が少なすぎる。(30代・その他)</p>
<p>どんな経験をする/させられることも芸の肥やしという言葉で矮小化される慣習は無くなってほしい。(20代女性・出演者)</p>
<p>・女性の取り扱い方</p> <p>飲み会や接待の場で、発言権を持つ年配の男性が性について軽く冗談まかして扱う・女性の容姿についてコメントすることで、その考え方や話題が、まるでそのぼのアイスブレイクの材料や、良い話題の振り方であるかのように下の世代にも浸透し、業界全体の女性蔑視・性のやじりの軽視に繋がってしまっていると思う。</p> <p>放送業に身を置く以上、入社時やマネジメント職に就く際に、ハラスメントやジェンダーに関する講習や指導を受けるなどはやってほしい。</p> <p>個人の興味の範囲や形ばかりの講習ですませるのではなく、必須で意識しなければいけない内容であり、きちんと処罰の対象になる問題であると、会社組織が指定することが大事だとおもう。</p> <p>・テレビ局は、総務省から認可をうけた公共性の高い事業であるはずなのに、特に地方民法は放送基準法以外の独自の会社ビジョンや倫理規範、メディアルールなどを設けていないことが多い。自分たちが何を遵守しなければいけないのか、何に価値をおいて放送を行うのか、各局が自立性をも出していないことが問題だと思う(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>ハラスメントが普通にあることはおかしいと気づかないと、みんな離れていく。(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>長時間労働、夢を売る仕事といわれて様々な制限をかけられる生活を強いられる、こういったことが少しずつでも改善されることを願っています。(40代女性・出演者)</p>
<p>現場レベルで問題だと感じたことを、上長だけではなく、第三者的な立場への通報できるようなシステムの構築が必須だと感じる。</p> <p>(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>休めない、長時間勤務が正義とされてる。</p> <p>テレビ局員による高圧的な態度、逆らうと突然他の理由をつけ仕事を切られるなど。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>他所での個人面談(50代男性)</p>
<p>普段は、民放のテレビ局のグループ会社で勤務しています。</p> <p>主にテレビを含むエンタメ分野のIT・Webサービスを提供する会社となります。</p> <p>芸能業界ともIT業界とも言えるどっちつかずな立場のため、今回のアンケートの対象者ではなかったらごめんなさい。</p> <p>私の会社では「●●※事務所名」タレントがレギュラー出演している番組などを『「●●※事務所名」案件』と言っていました。</p> <p>「●●※事務所名」タレントが出演している番組では、Webサイトや動画配信サービスの業務をす</p>



る場合、「●●※事務所名」案件の特別なマニュアルに添った方法で作業をしていました。  
(2年ぐらい前から自分は「●●※事務所名」タレントが出演している番組の担当ではなくなったため、このマニュアルが今もあるかは不明です。そのため、この件は過去形の書き方をしています)

「●●※事務所名」タレントは、他の事務所タレントと違って、画像や動画使用ひとつにも強い配慮があったように感じます。

テレビ番組の宣伝のためのPR映像を動画プラットフォームに流す際も、この人は「●●※事務所名」だからカットしよう、映っているのはダメだとかそんな配慮だったと記憶しています。  
私は下っ端労働者ということもあって、実際に事務所側と細かな約束事でこんな慣習があったのかは謎です。

働き始めた当初からとても気持ち悪いと思っていました。

「●●※事務所名」タレントが関わっていない番組と関わっている番組には、何が変な特別感があったからです。

自分の印象でしかないですが、周りで働いている人たちも『「●●※事務所名」案件は厄介』といったような認識をおそらく持っていたと思います。みんな気を遣っている感じでした。

(30代男性・メディア関係者)

回答してみましたが、このアンケートで定義する「芸能」の範囲がせまく、私は対象外なんだろうなと思いました。チキラボのアンケートなのに、設問設定が恣意的なのではないかと感じて残念です。(40代男性)

年功序列(50代女性・その他)

前の回答に同じ。とくに男性俳優の女性ファンへの搾取の横行に危機を感じています。(50代女性)

韓国の制作現場のようにしっかりとお休みを取れて体を酷使しなくていい環境作りをもっと進めてほしい。そのためには政府の金銭的援助が必要だと思います。(40代女性・メディア関係者)

芸能・報道分野に限らず、女性の人権が尊重されていない。

「●●※事務所名」の件も、明るみになるまで何十年も見逃されてきたことではあるが、被害者が男性で男性たちが「これをスルーすると不利になる」と自分ごととして捉えたことでここまで一気に問題が整理されることになったのではないか。

女性の被害はもっと数が多く日常茶飯事に発生している、すべての被害者の救済と、再発防止が徹底されることを期待する。(40代女性・メディア関係者)

ハラスメントに対して公的に対応する機関がほしい。労基は使えない(30代女性・メディア関係者)

クラブ制度の撤廃ですかね 理想は独自で自由に

タレント側も音楽事業連盟から抜けるべき (60代男性・メディア関係者)

事務所のあり方が、ビジネスの組織と根強く関係しているため、労働組合(俳優、アーティスト、ダンサー、振付家など)を機能させて、権利や対価を主張し、守る機関が必要である。(40代男性・出演者)

<p>隠さない、正直な報道。人権問題提起と考察。人権問題は教育と密接に関わっているの、やはり、特定の分野というよりは社会全体における問題提起と議論です。(50代女性・出演者)</p>
<p>どこを切り取っても時代遅れさを感じます。 自分も含めてですが。 絶対に参加しなくては行けない勉強会などをそれぞれの教会や連盟が行って知識の底上げをしてもらいたいのと 個々の人が勉強できるだけの時間的余裕を作る仕事の拘束時間の改善が一番重要な気がします。(30代男性・イベント関係者)</p>
<p>演出家なり先輩なりがハラスメントの可能性について自覚して行ってほしい。(50代男性・出演者)</p>
<p>セクハラ、パワハラ、薄給、無給、この業界には思いつく限りの全ての不当な慣習しかない。(20代女性・出演者)</p>
<p>コメンテーターというのはいつから必要になったのかな。リポーターとリサーチャーは分かるけれど。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>劇場において舞台スタッフが優位であること、演出家の意向に制作スタッフが従うこと、個人が正当に声をあげても組織内では穏便な形で処理されるだけで根本的な解決にはならないこと(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>制作期間が短いことが1番の問題だと思う。 十分に時間をかけられる体制の仕事を発注する/受けるようにしなければ色々なことが解決しない。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」や「●●※団体名」のようなメジャーな領域の人間ではないが、回答させてもらった。 自分は小劇場に所属しているが、小劇場におけるパワハラやセクハラは、大きく報道されない。報道されても裁判などの後追い記事がない。狭い業界なので、被害者のプライバシーは尊重されるべきだが、問題が有耶無耶なままに加害者が活動を再開したり、継続していたりする。被害者が告発しても有力者のサポート（被害者側に立つ声明）などがなければ、加害者擁護に走る人もいて、長いものに巻かれろ、話題性のある演出家なら起用したいなど、権威主義的な土壌があると思う。  加害者を加害的な地位に引き上げてしまった業界風土や関係者の責任の追及や検証が不足しているように思う。これでは、再発防止にならないし、加害者の更生につながらないと思う。特に加害者にも人権や自由があるが、創作現場に関わるべきではない水準の常習的、加害的な人物については、業界全体で厳格に対応しないといけないが、今の業界風土では難しいのではないかと思う。小劇場という非商業的な業界なので、組織的な調査などは難しいと思う。  ひと昔前まで、若手では悩める男の子風の演出家、あるいは「しっかり者女子」「烈女」が受ける雰囲気があった。作品内容としては、「若い男の子のモヤモヤ/それを支える癒し女子」「狂った女」「みだらな女」が受けるなどの風潮があったように思う。ホモソーシャル的な人事でそれらの演出家たちが可愛がられて出世した節がある。特に悩める男の子風演出家というのは、年長者からの受けはいいが他人に依存的で、結成当時の仲間が離れていくなど、ハラスメントの芽となる部分があったと思う。実際退団時の経緯が原因でPTSDのようなになったという話をきいたりもした。妬み嫉みでうがった見方をしている部分もあるかもしれないが、作品に参加した人の話や、接し</p>

みてあまりいい印象のない人間、距離を置こうと思った人が、それなりに小劇場界で社会的な評価を受けている現状に失望している。

今後改善されてほしいこと。

昨今のさまざまな告発を受け、舞台の小劇場関連の団体でも相談窓口ができた。

狭い業界で、人柄が信用できなかつたり、口が軽い印象の知人が所属している団体という印象。窓口を担当している人間が信用できるのか知識があるのか、プライバシーが確保されるかが不安。困ったことがあったとき、相談に行けなかった。事後に事例の報告をしたくてもやはり、プライバシーが守られるのか心配で行っていない。団体で役職を得ている人、ハラスメント講座の講師をしているという人が心底は信用できない人（外面は良い人で、困ってないときに関わる分には害がないが、弱みを握られると嫌かもという印象の人）のケースがあり、そういった不信感のある人から実害があったわけではないので人にシェアしたりはしないが、自分が困った立場に置かれたときに相談の障壁だったし、信用に値する相談窓口だとは今でも思えない。困ってないときに関わる分にはいいが人として信用できないという人がちらほら主流なところに食い込んでいて、業界の風土全体に不信感がある。外面が良ければ出世できるという業界の風土そのものを改善してほしい。た折々の流行にのって「インタラクティブ」とか、「多様性」とか「ジェンダー」とか「ハラスメント予防」とかファッションのように言ってしまう人が評価される印象がある。まともな人も沢山いるし、誰が悪いということもないのかもしれないが、業界全体が軽薄。そのことが「暴力」を生み出し、見過ごしうると感じる。業界の人は、ポーズで満足するのではなく、「ハラスメント予防」に取り組んでほしいし、相談しやすい窓口を作ってほしい。

(30代女性・その他)

ありすぎて書けないがシンプルに実力ある人、人間的にまともな人が評価されて欲しい、(30代女性・その他)

大手事務所が制作に深く関わる、映画やドラマや舞台は、質が低下していかないか。男女格差もひどいと思う。(60代女性・出演者)

建前と実情が乖離しすぎている。内側にいる人間は「芸事なんだから」と保身をはかるが、芸事はハラスメントとセットで当然だと言い放つ人も公の場やネットではもちろんそうは言わない。公の場で言えないことはやらないということが当たり前になってほしい。(30代女性・出演者)

男性の権力者に対する忖度、女性差別、ハラスメントや不当な労働に対する問題意識のなさ(50代女性・その他)

女性が少ないこと。女子にだけある顔採用。コネ採用が多いこと。多様な人材が入ってきて欲しい。見て覚える社内文化。長時間労働。(40代女性・メディア関係者)

最近は何も出来ない若者を叱責するとパワハラと言われますが、何も出来ない方もその意識を改めてもう少し真面目に学ぶ姿勢を持ってほしいです。何度も同じ過ちを繰り返されては指導する方も疲弊しノイローゼ気味になります。(50代男性・メディア関係者)

大手事務所の力で下手なタレントをドラマに出したりテレビにだすことやデキレースのオーディションやること辞めて欲しいです。演出家やプロデューサーに媚びて仕事もらうこともやめて欲しいです(50代女性・出演者)

<p>声優や俳優を普段から揶揄するような会話が、アニメ業界のいち仕事場でもなされていたこと。一緒に作品をつくる人間としての認識が薄かったこと。(30代・その他)</p>
<p>「●●※個人名」さんのような、本名の使用も禁止されるのはどう考えてもおかしい。芸能人の育成とマネージメントはわけたほうがいい。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>有害な男らしさ、体育会系の体質、根性論、やりがい搾取(30代男性・その他)</p>
<p>出演者のバスター。実行委委員会という名の放送電波での過剰な宣伝、放送局が音楽出版社を持っていること。独禁法違反だと思わんですが変わりませんね。「●●※団体名」はそれでも変わりそうな気配もあり。注目しています。(50代女性・事務所関係者)</p>
<p>仕事が属人的過ぎることです。大物芸能人を呼ぶためにはこのプロデューサーでなければいけない、という暗黙の掟がまかり通っていました。ノウハウを積んだ人は誰々さんしかいないと本人も周囲も思いがちです。そのため、その方から仕事を覚えなければいけないときに（その方のやり方に合わせなければならないため）、過剰な付度をしなければならない上に、パワハラを受けなければならないようになります。</p> <p>従業員がパワハラに我慢して作られるコンテンツは、本当に多くの人を楽しませる内容になり得るのかと考えます。今一度、個々の仕事の分担から報道、芸能番組の意義を考えてほしいと思います。</p> <p>私は20年ほど前に報道にも関わる仕事を退職しました。今回、私で当てはまるかと迷って調査に参加しました。</p> <p>今回の調査で想定されている圧力と違うかもしれませんが、初めて政治側の介入についての経験を書くことが出来ました。小さな番組で、組織にしてみればよくある出来事の1つだったようです。私にとってはその後の某長期政権の一端を見た、恐怖の体験でした。機会を得られ、感謝しています。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>様々な立場の人間への多角的な理解(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>過重労働・労働法違反・偽装請負を許容する風潮(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>表に出る「大物」の機嫌を損ねないように無暗にぺこぺこしたりお世辞を並べたりしつつ、陰口を言うこと。台本や役の序列が変わることも多く、作品本来の魅力が損なわれる。それだと業界体質の改善にならない、芸能界自体がオワコン、ということに対する自覚が全体的にない。グッズやチケットの売り上げが演者の評価に直結しがちなのも変。(40代女性・事務所関係者)</p>
<p>芸能人の労働者性は定義づけが極最近である為か、未だ不明確と思われます。(60代男性・その他)</p>
<p>年齢差別、若い、古い様々な条件によって、公的助成などに制限がある。あらゆることが日本では権威主義的で、議員の口利きとかで、芸能分野でずるをしている人、●●※政党名系とか、そういうものが蔓延る限り、日本の芸能はガラパゴス的な存在であり続ける。(50代女性・その他)</p>
<p>歌舞伎界は付度だけで成り立っているようなものです。</p> <p>「●●※団体名」は役者を取りまとめるだけなので、強く口を出せない。</p> <p>若い人も入ってきていない。</p> <p>このままでは歌舞伎がなくなります。</p> <p>無駄な悩みや嫌な思いをせず、思いっきり舞台に全力をそそげるような業界になって欲しいです。(30代女性・その他)</p>

早朝深夜の張り込みなど(50代女性・イベント関係者)
前述のとおりです。全員淘汰されてほしいです。私は、当時のデスクにあだ名で犯罪者の名前をつけられてました。最悪です。「●●※テレビ局名」って。(30代男性・メディア関係者)
打ち上げ出席への圧力。(50代女性・出演者)
前例主義、権威主義、拝金主義に根ざした能力主義ファンタジー。それは本当に能力なのか？能力とはなんだ？と疑問を感じる機会が増えた。誰かの都合で空気が作られ、それに迎合することを求められる構造が芸能界も他の業界もとにかく強い。そこに利権が絡むし、だからこそ特権が生まれやすい。金、アテンションを稼ぐことを目的にしている、芸事そのものを良くするという観点がどんどん消えていってる気がする。だから似たようなものしか出てこないし、似たようなものしか残っていない。また差別を表現の自由だと勘違いしているせいで差別を再生産しやすい、延々無くない構造がひたすら続いているのが怖い。なんなら、芸事を通じて社会に刷り込んでいるように見えて怖い。ルッキズムや序列意識が新規性のあるものを排除してしまう…能力とはなんだ？金権政治の影響もあるのだろうが、芸事が金の心配から切り離され、生活の心配をせず、もっと自由にできるようになってほしい。人権が守られ、芸事に携わる人が尊重されるようになってほしい。その方が洗練された時代にあった芸が増えるのでは？と思っている。報道に関しては、強者に付度するのではなく、弱者の声を聞いて、権力の乱用を防止するという本来の役割をきちんと果たしてほしい。強者が上げ底している部分を無視して、強者と一緒に弱者を踏み躪るような姿勢をやめてほしい。言葉で人を殺さないでほしい。言葉も鈍器。痛いものは痛い。(40代・その他)
女性の地位向上、(30代女性・その他)
改善されてほしいのは、意思決定層の女性を増やすこと。また、40～60代への研修。若い世代は意識がアップデートされている人が増えているが、力を持つ40～60代は昔のままで、何が犯罪で何がハラスメントか理解していない人が多すぎる。社会運動をする作家やミュージシャンなどリベラルとされる層も、女性の被害については恐ろしく無知で無関心。(50代女性・メディア関係者)
身体的パワハラは減ったと思いますが、精神的パワハラは依然として続いていると思います。また、適性や能力ではなく学歴、美醜や縁故などといった前時代的な採用活動をしたり、いつでも局の都合で切ることができる、タレントを含めた出演者やフリーランスのスタッフに対して不利益が起らないようにして頂きたいです。(40代男性・メディア関係者)
オファーの際にギャランティの提示が無いことは不当だ 誰がいくらもらっているかが明示されない慣習もいらない(30代女性・出演者)
「●●※事務所名」が芸能界における絶対権力者かのように叫ばれていたが、本当に力を持っているところは批判すら許されない。 これを機に、きちんと公正公平に「小狡い事務所」も批判されるようになってほしい。(30代男性・メディア関係者)
被害者が守られないことの改善(50代女性・出演者)
タテ社会だと思います。そして、テレビ局は偉いと思っている人が多かったです。そのほかにも変わって欲しいと思うことがありすぎて…「ジャーナリズム」という言葉を思い出して欲しいです。社長から言われた国に対する付度の言葉が本当にショックでした。政府の広告塔になるのをやめてほしいです。(30代・メディア関係者)

<p>女性が圧倒的に弱く搾取されて当たり前風土がある、まだまだ注目されていないが、大学関係も沢山のセクシャル&amp;パワーハラスメントの話を書く(40代女性・出演者)</p>
<p>男女の格差がいまだに根強いと感じます。弊社は管理職に女性が1人しかいません。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>これまで美德とされてきた「察する文化」を向ける対象を、権力を持つ人間でなく、立場の弱い人間にこそ向けられるように、一人一人の考え方もあるが、組織や慣習に逆らっても個人の権利や仕事、安全が脅かされないという安心が必要。(20代女性・イベント関係者)</p>
<p>いわゆる伝統芸能は、演目以前に演者の人権をきちんと守るべきです。(40代女性・その他)</p>
<p>フリーランスの下請けの下請けなど、弱い立場から行動を起こすことに限界を感じる。大きな会社やメディアから変わってほしい。 独身男性やパワーがある人のみしか生き残れない構造事態を疑ってほしい。 (30代・イベント関係者)</p>
<p>女性アナウンサーを性的に搾取して欲しくない。全てが不当。これを書くのも疲れてしまうほど、窮屈な世界。このように発信する機会を設けさせていただき、誠にありがとうございます。心強いです。(30代女性・出演者)</p>
<p>撮影時、食事が取れない、トイレに行かせてもらえない、睡眠時間が3時間以下。睡眠が取れないにもかかわらず車の運転をしなければならないなど早急に改善してほしい。「●●※会社名」や「●●※会社名」などの外資ではほぼこのようなことがないが、在京テレビ局のドラマやバジェットの低い映画ではスタッフの扱いが非常に酷い。人権がない。早急に改善してほしい。二度と犠牲が出ないように。(50代女性・その他)</p>
<p>放送局による過度な権利主張。 独占的な思考が根付いているので、権利や利益を必要に応じて分配する気がない。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>とにかくコネの世界。会社員になれないからやってるような芸術の世界なのに、結局は政治がうまい人が得する。数字で実力が図れないので、一般企業よりも更にそれが濃いと思う。ホントの意味で実力主義になってほしい。(50代女性・出演者)</p>
<p>忖度やハラスメントが是正されてほしいけれど、なにから手をつけたらいいのかわからない。公共放送とその関連会社で仕事をしているフリーランスたちの合同組合ができたらいのと思う。公平・中立を謳うそれらの会社たちのいかに傲慢なことか。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>コンプライアンスや人権デューデリジェンスの観点が存在していなかった。ガバナンスが取れていないというより、悪のバガナンスが幅を聞かせていた。人権を尊重した業界にあらたまってほしいです。(50代男性・メディア関係者)</p>
<p>やりがい搾取、子会社スタッフへのパワハラ(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>芸能・報道には限りませんが、飲み会や接待によって人間の評価が決まる風習は早く廃れてほしいです。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>政治家からの報道規制はあってはならない。芸能は、その歴史を見るとある程度仕方ないところもあるが、過度なものに関しては止めるべき。(40代男性・出演者)</p>
<p>事前の契約書は全て立場の強いほうから提示される、出演側からの要求は通りにくい(30代女性・イベント関係者)</p>

<p>ニュース番組で進行役がバランスを取ることに、自分の意見を言わないこと。 どんな職についていても、一個人の意見を言うことに配慮しすぎなんじゃないだろうか。</p> <p>あと、スポンサーの意向を汲むことが大きい。そうするとコマーシャルとどう違うのか分からなくなることもある。</p> <p>改善してほしい。(30代女性・メディア関係者)</p>
<p>性暴力やセクハラに加害者を懲戒したり、社会的制裁を加えることは増えたと感じるが、二次被害にさらされる被害者へのケアは圧倒的に不足していると言わざるを得ない。</p> <p>また、加害者を安易にメディアに再登場させたり、復活させる悪癖も改善してほしい。被害者にとっては、それ自体が二次被害だ。</p> <p>ハラスメントによる休職者や離職者も少なくないが、たとえば復職にあたっては被害者だけをリワークに通わせるなど、被害者にばかり努力を要求する傾向がある。加害者こそ施設に通い、歪んだ認知を正すべきだが、現実には適切な施設がない。加害者更生は今後の課題だと思う。</p> <p>(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>報道記者として感じるのは、芸能取材はとにかく制限が激しすぎるということ。写真の確認を要求されたり、自社で撮った写真にも関わらず写真の使用に料金を要求されたり、事前に提示した質問以外を受け付けなかったりと、とにかく自由に取材がしにくい。芸能記者や芸能リポーターはそれらに特に違和感を感じることなく唯々諾々と従って取材を進めているので、とにかく気味が悪いですし、そういう唯々諾々とした姿勢が「●●※事務所名」の性加害問題に象徴されるような不都合な事実が見過ごされてきた遠因でもあると感じます。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>もう疲れた。ありがとうございました。&lt;※不穏情報を削除&gt;。(40代女性・出演者)</p>
<p>派遣会社の中抜きや大きな芸能事務所、政治家の圧力や忖度。(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>パワーハラスメントにあたるような発言も、「昔に比べたらまだだから」という理由で全てなあなあにされます。自分が受けた被害も、いまだに誰にも話せず燻ったままです。</p> <p>会社内のことで言えば、権力を傘に着るような大人が出世しやすいのは問題だと思っていますし、メディアと事務所、メディアとスポンサーの勾配が、ケースによってはあまりにもいびつであることも問題だと思っています。</p> <p>第三者機関にアクセスできる窓口が増えるべきなのではないかと思っています。(20代女性・イベント関係者)</p>
<p>演出家や作家を先生と呼ぶ習慣。(50代女性・出演者)</p>
<p>商品（もの）として、使い捨てにされたり、ボロボロにされたりする前に、まず一人の人間であることをもっと尊重されるべきだと思います。</p> <p>窓口をつくるだけでなく、そういった不当な習慣を作っている側の人を嚴重注意で野放しにするのではなく、罰する、排除する、くらい、きちんと一人一人が働く上で人間として守られてもいいような気がします。(30代女性・出演者)</p>
<p>私は演劇の制作、演出、俳優を行っています。日本では、演劇の俳優とスタッフの実演家を育成する体系的な教育カリキュラムを持った演劇大学と演劇学校がほとんど在りません。それゆえ東京だけでなく最低でも各都道府県に一つは公的な演劇大学と演劇学校を作る必要があると思います。も</p>

し演劇大学と演劇学校が各地にあれば、俳優とスタッフは自立した芸術家として、劇団、劇場、エージェント、事務所と契約交渉をすることができるようになるからです。

また日本は政府の文化に関する助成機関はありますが、多くの政府の助成金が首都圏の劇場と団体に落ちる結果となっているので、地方都市で演劇活動する団体にも公的助成がもっと行われれば、東京の劇場、劇団、事務所に権力が集中することが緩和されると思います。

(50代男性・その他)

劇評家の方が偉い、翻訳家の方が偉い。なんで？

助成金握られてたら何も言えません。あまりにアンフェアです。

演劇賞も選考理由が不透明過ぎます。

そろそろやめませんか。(40代)

仕事をもらえる、もらえないに関わらず、半ば騙し討ちのような形で性被害に遭うこと(30代女性・出演者)

もっと自覚のある仕事を一人一人がしてほしいです。

どいつもこいつも、「●●※個人名」さんのように、他人をほめそやして気持ちよくさせることによって自分の評判もよくなり、お互いの仕事の幅が広がるような関西人独特の商売の仕方がなぜか在京局ではびこった末に、「●●※個人名」とか「●●※グループ名」とかとんでもない化け物を生み出したのではないか。

金にものを言わせて犯罪まがいのことをしても、黙らせてきたその暴力性そのものみたいな番組を撮影して公共の電波を使って放送して、笑いとして消費してきた品性の下劣さには言葉もありません！テレビ局も明らかに共犯でしょう。

社長は責任をとりましょうよ。

「●●※個人名」さんや「●●※個人名」さん、お笑いの女芸人さんが明かなセクハラ、ハパワハラ、モラハラを受けても、黙って我慢さえすれば、次のチャンスを与えられ、人気も出てきて収入も増える。つまりは彼女たちの不安定な立場を承知した上での集団リンチのようなものですよ、最近Xによく流れてくる動画は。

最近「●●※テレビ局名」であった「●●※個人名」を司会にした性教育番組の放映に対する反対意見も書いて「●●※テレビ局名」に送付しましたが、それみたことかの現場の意識の低さが一体どこからくるのか信じられません。

「※●●※特定可能情報」、あの事件が報じられる以前から姿をテレビで目にするだけで、薄ら寒いものを感じて消していましたが、あの事件が明るみに出て納得した次第です。

「●●※個人名」なんて、もうあの容姿、言動を少し観察すればいかにペラッペラッの人間かなぜ分からないのか。

子どもよりもお金が大切な大人のさもしい心が本当に悔しいです。(50代女性・ファン)

権力勾配、それに基づくあらゆる暴力の横行、労働時間や労働内容、報酬……etc(30代・メディア関係者)

二度と起こしては

ならない(30代男性・その他)



”上納”(という言い方は全く好きではありませんが)システムについては、本当によくあることで、友人も、「●●※個人情報名」氏ではありませんが、被害に遭っています。

彼らが「それをしてもよい」と思える理由は、古い慣習を引きずっていることと、現代に至っても罰が軽い、かつメディアが味方サイドにいることによって揉み消される安心感が根本にあり、事務所とメディア自体の関係性から改善されてほしいと願います。(30代女性)

事務所に入っていないと受けられないオーディションがある事。(30代女性・出演者)